

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

1	調査の概要	132
2	回答者の属性	133
3	歴史文化への関心	135
	(1) 文化財・文化遺産への関心	135
	(2) 関心のある文化財・文化遺産	136
	(3) 瀬戸の歴史文化の魅力	137
	(4) 文化財・文化遺産の保存・活用の重要性	138
	(5) 文化財・文化遺産の保存・活用の方向性	140
	(6) 文化財・文化遺産の保存・活用で協力できること	141
	(7) 文化財・文化遺産の認知度	142
	(8) 瀬戸らしい文化財・文化遺産として人にPRしたいもの	159
4	歴史文化ストーリー	161
	(1) ストーリーの魅力度	161
	(2) 市外の人へPRしたいと思うもの	170
	(3) 瀬戸の魅力を市外の人にPRするための有効な方法	171
5	自由回答	172
	■ストーリーへの意見	173
	■おすすめの歴史文化	176
	■歴史文化に関する意見	178
	■その他	185
6	調査票	187

1 調査の概要

(1) 調査の目的

「歴史文化基本構想」の策定にあたり、瀬戸市民の文化財をはじめとした歴史文化に関する意向を把握し、構想策定や歴史文化行政に反映させていくとともに、現在瀬戸市が「歴史文化基本構想」の策定を進めていることや、日本遺産への認定を目指していることを市民へPRすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

(2) 調査の対象

瀬戸市在住の16歳以上の方から無作為に選んだ3,000人の方。

(3) 調査の方法

依頼文、調査票、関連資料（瀬戸市における歴史文化ストーリーの素材）、瀬戸市文化財マップ、返信用封筒を同封し、7月1日にゆうメールにて発送。調査票の投函締切を7月19日に設定し、集計には7月26日到着分までを含めました。

※7月27日以降に到着した分（15通）については自由回答部分のみ集計。

(4) 配布・回収状況

配布数	3,000	未着数 ^{※1}	7	有効配布数	2,993
回収数	1,112	有効回収数 ^{※2}	1,112	有効回収率	37.2% ^{※3}

※1 転居先不明で返送されたもの

※2 白票を除く（今回は無し）

※3 7月27日以降到着の15通を加えると37.7%

(5) 集計・分析方法

・1つだけ選択する設問に対し、複数選択された場合は以下のように集計しました。

アンケート設問番号	対応内容
1 (3)、3 (3) ③	無回答扱い。
1 (6)	・1～3で複数選択⇒数値の低い方で集計。 ・4を含む複数選択⇒無回答扱い。
2 (1)	・1と2を選択⇒2、3と4を選択⇒3、でそれぞれ集計。 ・1と4など離れた番号を選択⇒無回答扱い。
3 (1)	数値の小さい方で集計。

・複数選択する設問に対し、設定した選択数以上選択された場合は、全て集計しました。

・分析をするにあたり属性とのクロス集計を実施しました。その際属性の「年齢」「居住年数」については、サンプル数が少ないものは以下のように選択肢をまとめています。

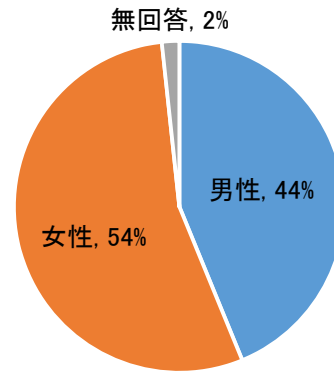
① 10歳代+20歳代 ⇒ 30歳未満

② 4年以下+5～9年 ⇒ 10年未満

2 回答者の属性

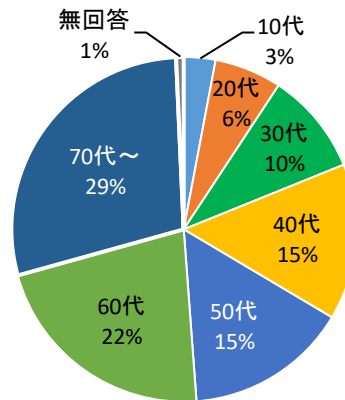
(1) 性別

- ・女性回答が 54%となり、男性を 10%上回る結果となりました。



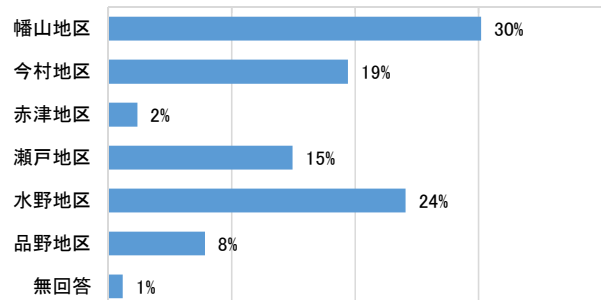
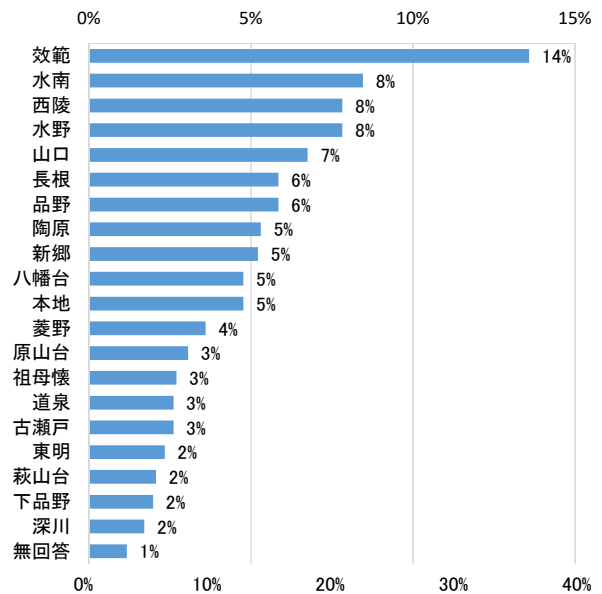
(2) 年齢

- ・60歳以上を合計すると 51%になり全体の半数を占め、若い世代である 30歳未満の年齢層の合計はわずか 9%にとどまりました。年齢層が高い世代から多く回答をいただきました。



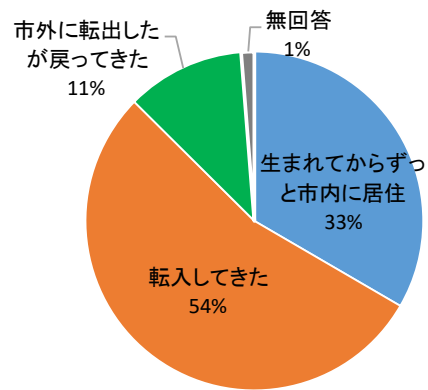
(3) 住まいの連区、歴史地区

- ・效範連区にお住まいの方が一番多く、2位の 水南連区のおよそ 2 倍近くの回答数となりました。
- ・集計の際に地区数が多すぎると項目が増え過ぎて分かりづらくなるため、20 の連区を 6 つの歴史地区（掛川地区は品野地区に含む）に振り分けました。



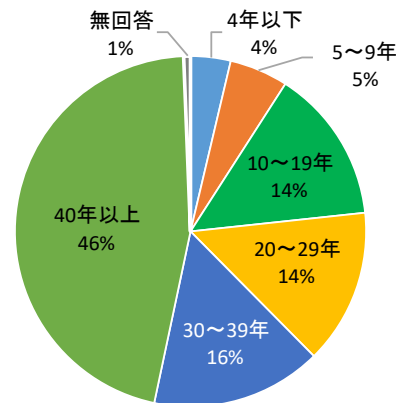
(4) 居住歴

- ・転入してきた人が54%になり、およそ半数でした。
- ・市外に一度転出された後戻った人がおよそ1割います。



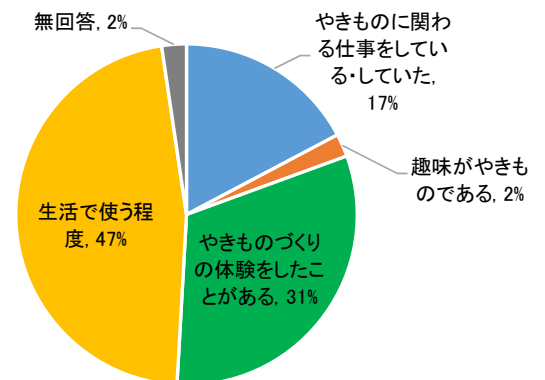
(5) 居住年数（通算）

- ・40年以上住んでいる人は全体の46%を占め、半数近くの人が非常に長期間住み続けていることが分かりました。
- また、10年以下の人の割合は全体の10%に満たないことから居住年数が少ない人の割合は比較的少ないといえます。



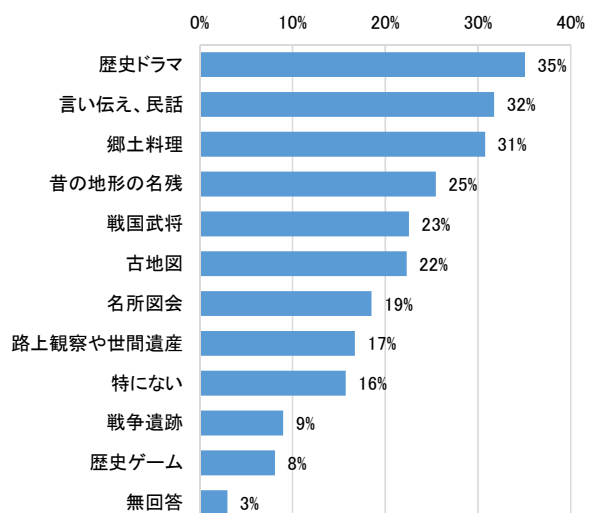
(6) “やきもの”との関わり

- ・やきものに関わる仕事をしている人の割合は17%にとどまりました。また、生活で使う程度と回答した人がおよそ半数を占めます。



(7) 関心を持っているもの

- ・1位の歴史ドラマや2位の言い伝え、民話などが、ともに30%を超え、物語・ストーリーに関する内容に関心を持つ人が多いようです。

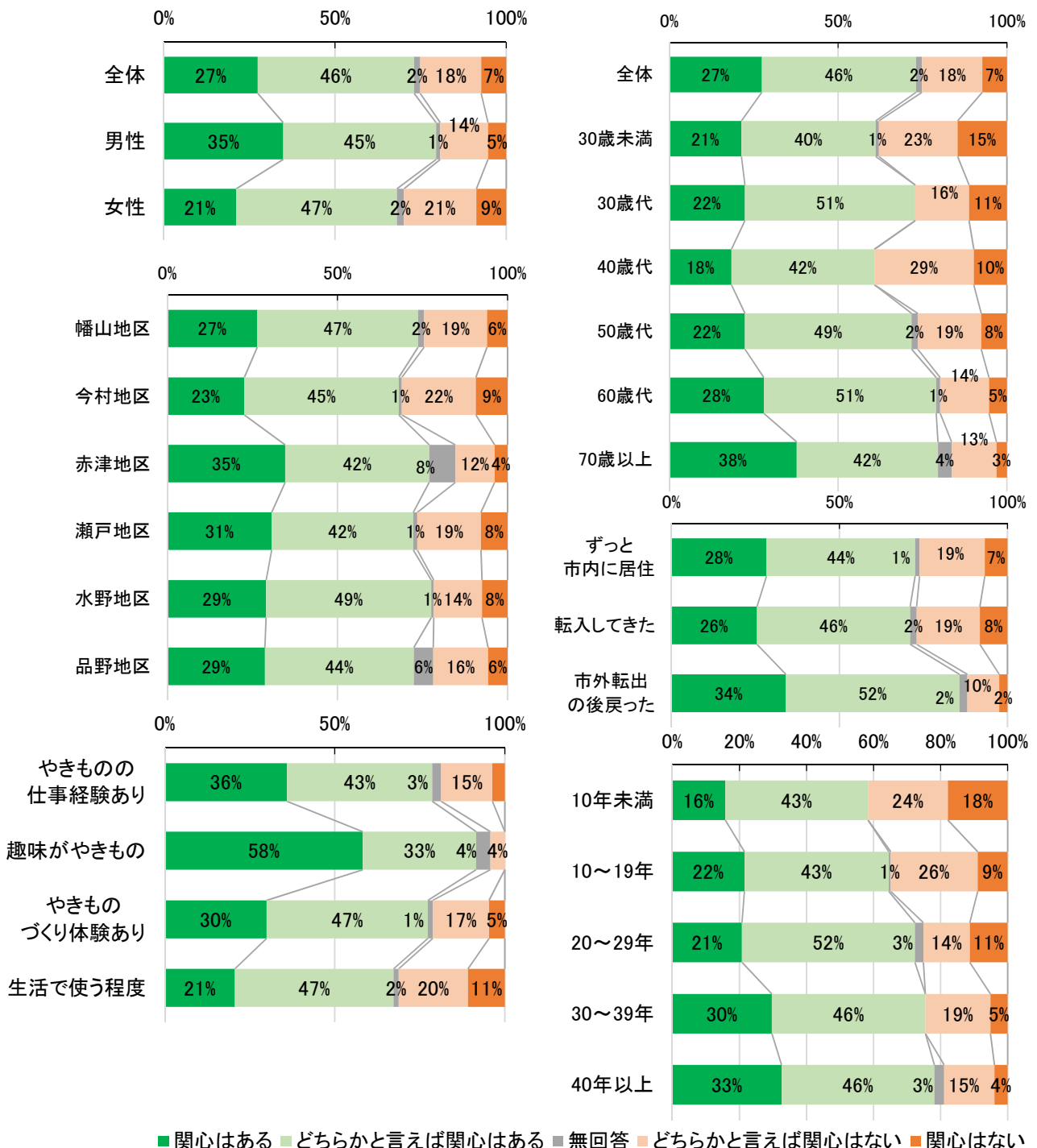


3 歴史文化への関心

(1) 文化財・文化遺産への関心

文化財・文化遺産に関心はありますか。【1つに〇】

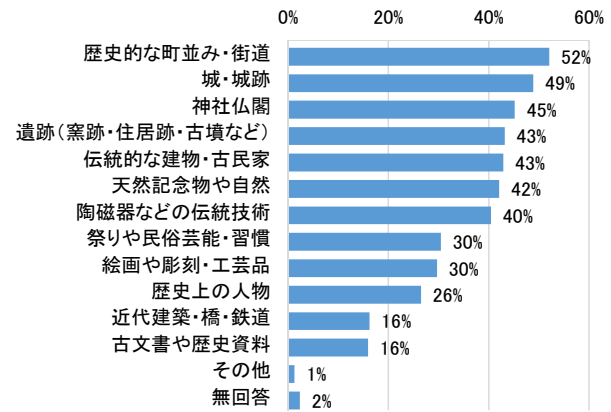
- ・「どちらかといえば関心はある」が46%と最も多く、「関心はある」を含めると73%が関心を持っています。「どちらかと言えば関心はない」と「関心はない」の合計25%を48ポイント上回っており、市民の歴史文化に対する関心は高いといえます。
- ・年代別では70歳以上が「関心はある」と回答した割合が最も高く38%となり、40歳代が18%にとどまり最も低い状況です。また、女性よりも男性の方が関心は高くなっています。



(2) 関心のある文化財・文化遺産

関心のある文化財・文化遺産はどのようなものですか。【当てはまるもの全てに○】

- ・最も関心の高かった文化財は「歴史的町並み・街道」でした。男女の差で見ると、比較的女性から高い支持を得ていましたが、「遺跡」「城・城跡」「古文書や歴史資料」「歴史上の人物」など歴史に関係が深いものについては逆に男性からの支持が高い結果となっています。
- ・その他（13人）の内容は、「瀬戸川」「廃線、廃駅」「産業遺産」「食物文化」「衣装」「民話」「町内行事」「教育」などでした。



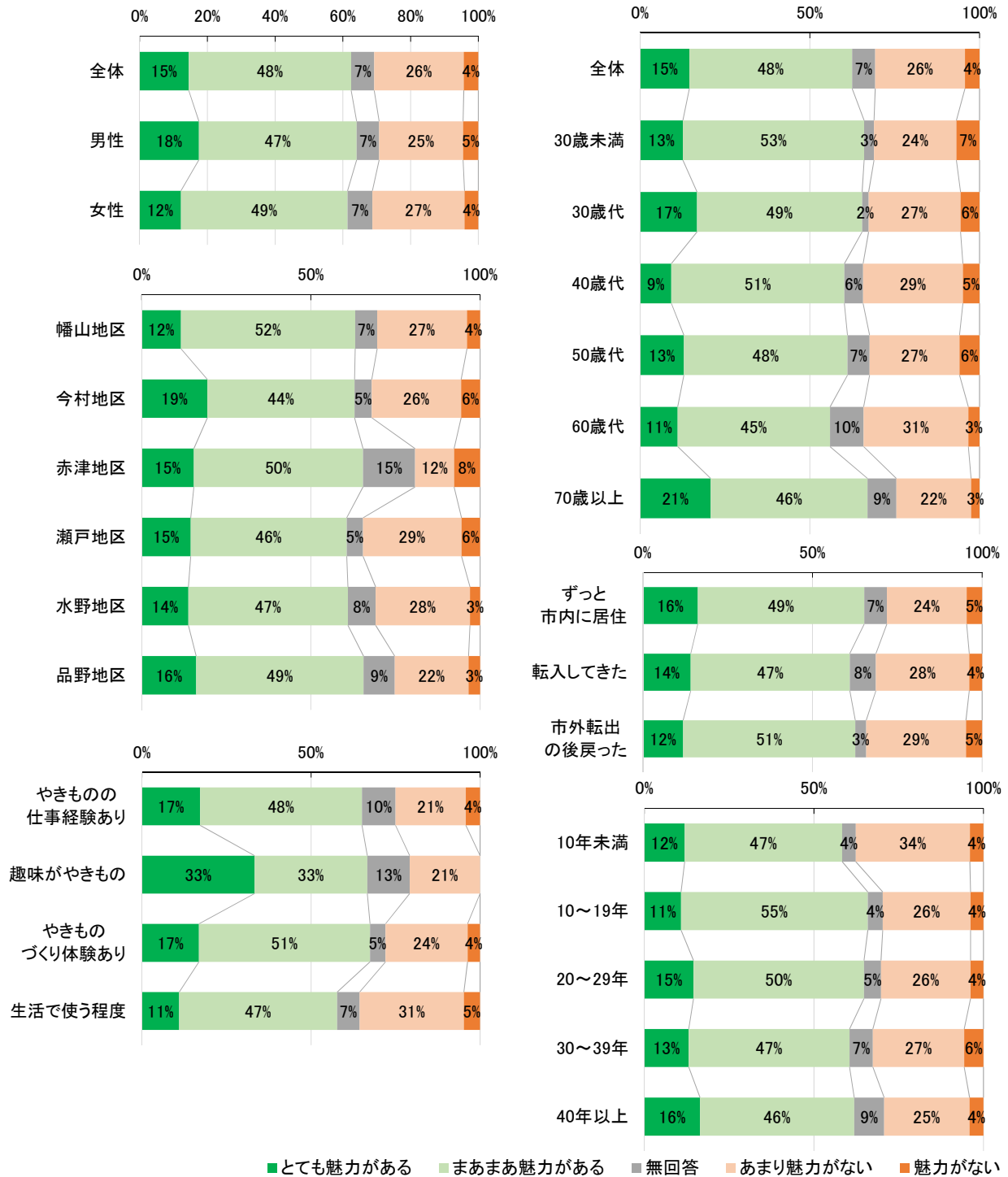
度数(%)		1 (2) 関心のある文化財・文化遺産はどのようなものですか。													合計	無回答
		合計	遺跡(窯跡・住居跡・古墳など)	城・城跡	神社仏閣	伝統的な建物・古民家	近代建築・橋・鉄道	歴史的な町並み・街道	絵画や彫刻・工芸品	陶磁器などの伝統技術	祭りや民俗芸能・習慣	古文書や歴史資料	歴史上の人物	天然記念物や自然		
3 (3) ①性別	合計	1014(100)	437(43)	438(43)	460(45)	437(43)	167(16)	532(52)	300(30)	407(40)	309(30)	163(16)	271(27)	432(43)	13(1)	23(2)
	男性	461(100)	230(50)	249(54)	219(48)	184(40)	83(18)	227(49)	116(25)	186(40)	153(33)	100(22)	143(31)	197(43)	7(2)	10(2)
	女性	553(100)	207(37)	249(45)	241(44)	253(46)	84(15)	305(55)	184(33)	221(40)	156(28)	63(11)	128(23)	235(42)	6(1)	13(2)
3 (3) ②年齢	合計	1025(100)	444(43)	501(49)	483(45)	440(43)	167(16)	534(52)	301(29)	413(40)	311(30)	164(16)	271(26)	433(42)	13(1)	24(2)
	30歳未満	88(100)	30(34)	44(50)	34(39)	32(36)	24(27)	46(52)	24(27)	26(30)	29(33)	14(16)	23(26)	41(47)	3(3)	1(1)
	30歳代	95(100)	37(39)	51(54)	40(42)	35(37)	20(21)	56(59)	24(25)	28(29)	27(28)	9(9)	28(29)	36(38)	1(1)	-(-)
	40歳代	147(100)	54(37)	81(55)	64(44)	62(42)	25(17)	77(52)	39(27)	40(27)	49(29)	21(14)	37(25)	80(41)	2(1)	6(4)
	50歳代	157(100)	57(36)	78(50)	74(47)	66(42)	24(15)	81(52)	44(28)	54(34)	35(22)	13(8)	37(24)	61(39)	1(1)	2(1)
	60歳代	230(100)	105(46)	115(50)	102(44)	115(50)	31(13)	129(56)	73(32)	98(43)	74(32)	37(16)	49(21)	110(48)	3(1)	1(0)
	70歳以上	308(100)	181(52)	132(43)	149(48)	130(42)	48(14)	145(47)	97(31)	167(54)	103(33)	70(23)	97(31)	125(41)	3(1)	14(5)
3 (3) ③住まいの歴史地区	合計	1020(100)	439(43)	500(49)	483(45)	436(43)	166(16)	532(52)	303(30)	414(41)	311(30)	164(16)	273(27)	433(42)	13(1)	24(2)
	檜山地区	316(100)	138(44)	151(48)	138(44)	127(40)	40(13)	157(50)	96(30)	131(41)	102(32)	50(16)	84(30)	135(43)	4(1)	8(3)
	今村地区	196(100)	86(44)	98(50)	85(43)	87(44)	31(16)	104(53)	50(26)	75(38)	59(30)	31(16)	57(29)	84(43)	2(1)	7(4)
	赤津地区	25(100)	9(36)	8(32)	11(44)	14(56)	1(4)	17(68)	5(20)	13(52)	10(40)	5(20)	3(12)	11(44)	-(-)	2(8)
	瀬戸地区	152(100)	72(47)	65(43)	70(46)	75(49)	31(20)	84(55)	48(32)	70(46)	45(30)	23(15)	35(23)	50(33)	3(2)	3(2)
	水野地区	249(100)	101(41)	141(57)	123(49)	98(39)	49(20)	125(50)	86(35)	98(39)	72(29)	43(17)	70(28)	110(44)	4(2)	1(0)
3 (3) ④居住歴	合計	1021(100)	441(43)	493(49)	483(45)	436(43)	166(16)	531(52)	303(30)	413(40)	311(30)	163(16)	270(26)	432(42)	13(1)	24(2)
	生まれてからずっと市内に居住	346(100)	160(46)	184(47)	160(46)	149(43)	58(17)	171(49)	102(29)	149(43)	117(34)	60(17)	92(27)	146(42)	6(2)	8(3)
	転入してきた	552(100)	222(40)	278(50)	248(45)	232(42)	85(15)	298(54)	165(30)	214(39)	160(29)	77(14)	147(27)	230(42)	7(1)	13(2)
	市外に転出したが戻ってきた	123(100)	53(43)	56(46)	57(46)	55(45)	22(18)	62(50)	36(29)	50(41)	34(28)	26(21)	31(25)	56(46)	-(-)	2(2)
3 (1) ⑤好きなやまものについて	合計	1007(100)	435(43)	493(49)	480(48)	435(43)	166(16)	528(52)	298(30)	409(41)	309(31)	162(16)	266(26)	426(42)	12(1)	21(2)
	やまものに關わる仕事をしている・していた	185(100)	88(53)	76(41)	80(43)	82(44)	26(14)	88(48)	62(34)	111(60)	55(30)	38(21)	45(24)	77(42)	1(1)	4(2)
	趣味がやまものである	24(100)	17(71)	13(54)	14(58)	13(54)	6(25)	18(75)	13(54)	16(67)	11(46)	11(46)	8(33)	13(54)	-(-)	-(-)
	やまものづくりの経験をしたことがある	334(100)	142(43)	170(51)	158(47)	157(47)	78(22)	131(57)	121(36)	139(42)	110(33)	45(13)	83(25)	142(43)	8(2)	5(1)
3 (3) ⑥居住年数	合計	1026(100)	443(43)	502(49)	483(45)	438(43)	167(16)	534(52)	304(30)	413(40)	313(31)	163(16)	273(27)	434(42)	13(1)	24(2)
	10年未満	83(100)	20(24)	45(54)	31(37)	28(34)	18(16)	46(55)	21(25)	24(29)	23(28)	5(6)	18(22)	32(39)	-(-)	-(-)
	10～19年	144(100)	57(40)	74(51)	63(44)	60(42)	34(24)	80(56)	42(29)	49(34)	42(29)	25(17)	41(28)	62(43)	2(1)	3(2)
	20～29年	141(100)	59(42)	77(55)	58(40)	61(43)	28(20)	78(55)	44(31)	39(28)	37(26)	10(7)	31(22)	63(45)	5(4)	3(2)
	30～39年	166(100)	79(48)	76(46)	82(49)	75(45)	18(11)	91(55)	39(23)	61(37)	51(31)	25(15)	48(29)	71(43)	1(1)	2(1)
40年以上	492(100)	228(46)	230(47)	231(47)	214(43)	74(15)	233(49)	158(32)	240(49)	160(33)	98(20)	135(27)	206(42)	5(1)	16(3)	

注：文化財・文化遺産に「関心はない」と回答した人を除く。
合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

(3) 瀬戸の歴史文化の魅力

瀬戸市の自然を含めた歴史文化は魅力があると思いますか。【1つに〇】

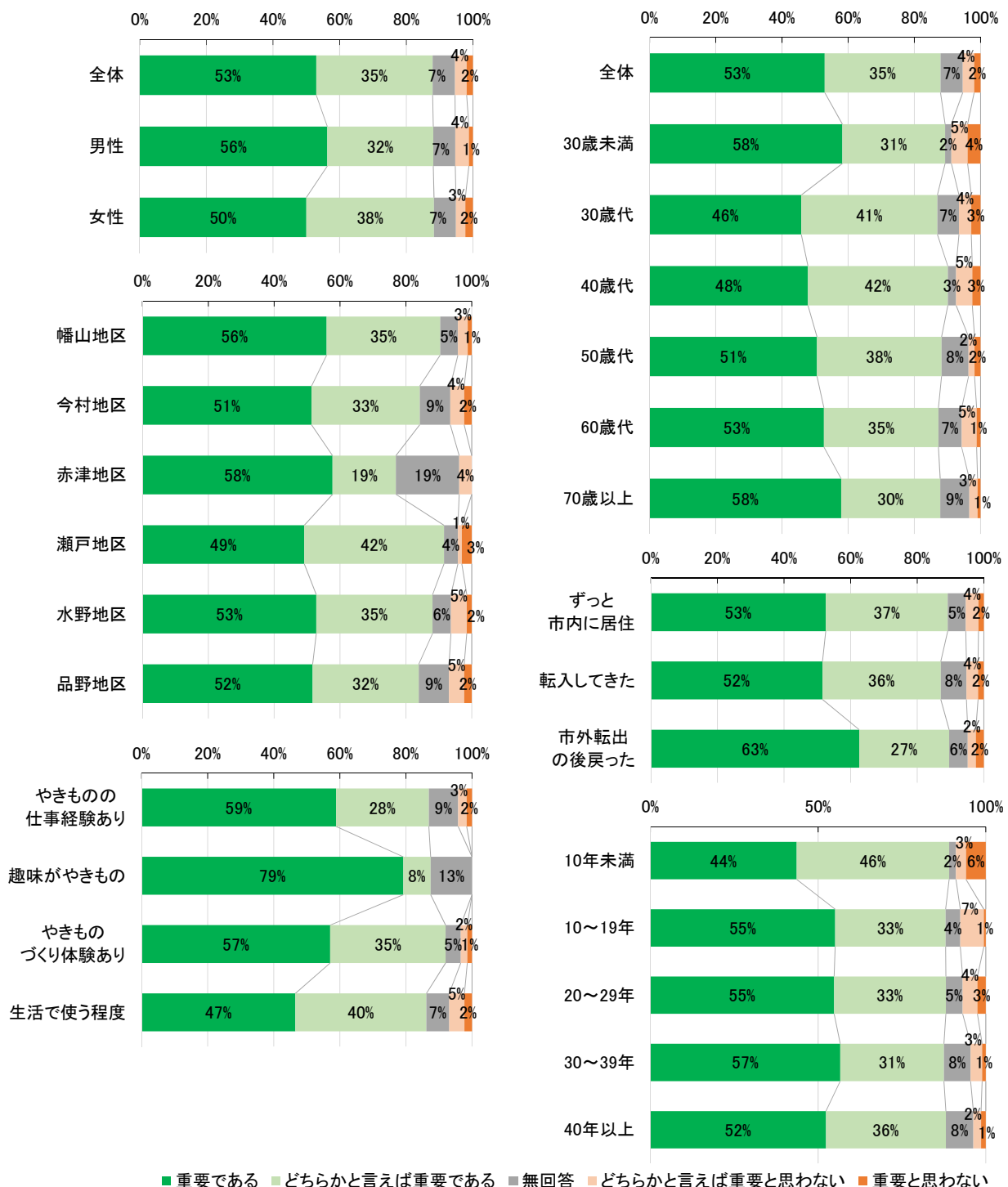
- ・全体では63%の人が「とても魅力がある」「まあまあ魅力がある」のいずれかに回答していました。また、70歳以上の人の67%の方が同様の選択肢を選択しており、高い数値となっています。
- ・性別でみると、「とても魅力がある」と回答したのは、女性より男性の方が6ポイント高く、18%になりました。



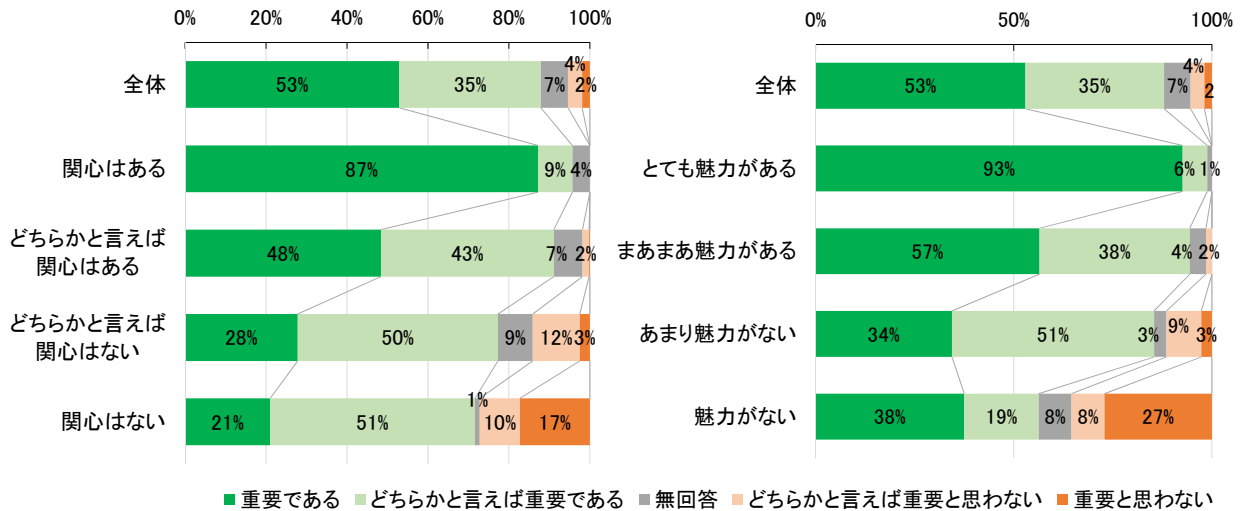
(4) 文化財・文化遺産の保存・活用の重要性

文化財・文化遺産の保存・活用は重要だと思いますか。【1つに〇】

- ・全体では88%の人が「重要である」「どちらかと言えば重要である」を選択しており、とても高い割合となりました。対して「重要と思わない」「どちらかと言えば重要と思わない」と回答した人の合計は全体のわずか6%でした。
- ・性別でみると男性の方が「重要である」と回答した割合が女性と比べ6ポイント高く、56%という結果でした。
- ・年齢別にみると、「重要である」と回答した割合が一番高かったのは30歳未満と70歳以上で、ともに58%で、一番低いのは30歳代の46%でした。



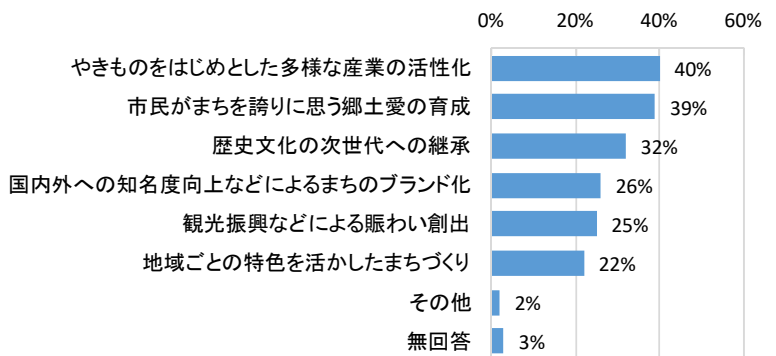
- ・文化財等への関心度別にみると、「関心はない」と回答した人であっても保存・活用が「重要である」「どちらかと言えば重要である」と考える人が72%という高い割合を占める結果であったことから、文化財等に関心を持っていない人でも保存・活用の重要性を感じている人が多いことがわかりました。
- ・瀬戸の歴史文化への魅力度別にみると、「魅力がない」と回答した人で保存・活用が「重要である」「どちらかと言えば重要である」と考える人は57%にとどまったので、文化財等の保存・活用を進めるためにも、多くの市民に魅力を感じてもらうことが重要であるといえます。



(5) 文化財・文化遺産の保存・活用の方向性

瀬戸市の文化財・文化遺産の保存・活用の方向性について、重要だと思うものは何ですか。【2つに〇】

- ・重要だと思うものについては、「やきものをはじめとした多様な産業の活性化」をあげた人が40%、「市民がまちを誇りに思う郷土愛の育成」をあげた人が39%あります。
- ・男女別をみると、「やきものをはじめとした多様な産業の活性化」を選択した割合は女性の方が男性を9ポイント上回っています。
- ・居住歴別にみると、市外へ転出後戻って来た人が「市民がまちを誇りに思う郷土愛の育成」を選択する人の割合が、平均値を上回る44%いることがわかりました。
- ・その他(18人)の内容は、「歴史を重んじる」「自然を残す」「広報に文化財の情報をのせて市民に知ってもらう」「やきものを中心とした地場産業の再活性化」「街をきれいにする」「陶芸技術とは別の陶器産業の産業技術を残す行政の意志」などでした。



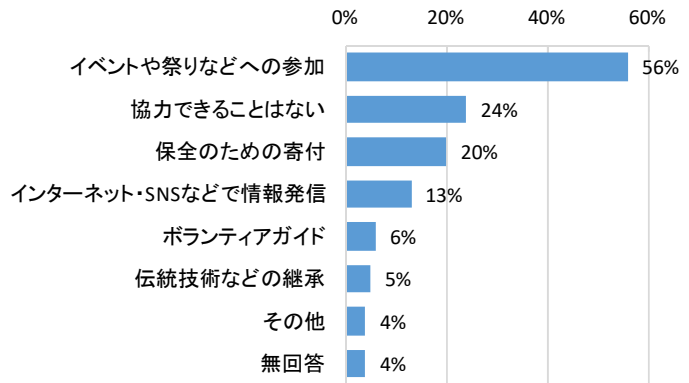
度数(%)	1(4) 瀬戸市の文化財・文化遺産の保存・活用の方向性について、重要だと思うものは何ですか。									
	合計	市民がまちを誇りに思う郷土愛の育成	やきものをはじめとした多様な産業の活性化	国内外への知名度向上などによるまちのブランド化	観光振興などによる賑わい創出	地域ごとの特色を活かしたまちづくり	歴史文化の次世代への継承	その他	無回答	
3(3) ①性別	合計	1073(100)	423(39)	428(40)	278(26)	263(25)	234(22)	340(32)	19(2)	32(3)
	男性	481(100)	187(39)	168(35)	135(28)	121(25)	114(24)	156(32)	11(2)	16(3)
	女性	592(100)	236(40)	260(44)	143(24)	142(24)	120(20)	184(31)	8(1)	16(3)
3(3) ②年齢	合計	1084(100)	429(40)	431(40)	280(26)	265(24)	235(22)	343(32)	19(2)	32(3)
	30歳未満	93(100)	35(35)	38(38)	37(37)	24(24)	23(23)	26(26)	2(2)	1(1)
	30歳代	104(100)	27(26)	42(40)	38(37)	32(31)	25(24)	31(30)	2(2)	-(-)
	40歳代	159(100)	60(38)	56(35)	49(31)	53(33)	28(18)	47(30)	4(3)	2(1)
	50歳代	167(100)	62(37)	61(37)	44(26)	40(24)	40(24)	57(34)	3(2)	6(4)
	60歳代	240(100)	102(43)	85(35)	57(24)	58(24)	57(24)	76(32)	5(2)	9(4)
	70歳以上	315(100)	143(45)	149(47)	55(17)	58(18)	62(20)	106(34)	3(1)	14(4)
3(3) ③住まいる地域の歴史地区	合計	1073(100)	426(39)	431(40)	281(26)	263(24)	234(22)	341(32)	19(2)	31(3)
	備前地区	332(100)	127(38)	121(36)	84(25)	75(23)	65(20)	121(36)	6(2)	10(3)
	今村地区	211(100)	81(38)	96(45)	63(30)	52(25)	39(18)	68(32)	3(1)	4(2)
	赤津地区	26(100)	8(31)	12(46)	8(31)	1(4)	7(27)	7(27)	1(4)	4(15)
	瀬戸地区	160(100)	63(39)	69(43)	40(25)	43(27)	47(29)	28(18)	4(3)	5(3)
	水野地区	265(100)	116(44)	102(38)	68(26)	66(25)	51(19)	93(35)	4(2)	5(2)
	品野地区	85(100)	31(36)	31(36)	18(21)	26(31)	25(29)	23(27)	1(1)	3(4)
3(3) ④居住歴	合計	1073(100)	430(40)	423(40)	279(26)	260(24)	235(22)	342(32)	19(2)	31(3)
	生まれてからずっと市内に居住	365(100)	132(36)	151(41)	91(25)	90(25)	91(25)	118(32)	9(2)	10(3)
	転入してきた	531(100)	244(46)	235(44)	152(29)	146(27)	112(21)	182(34)	10(2)	19(3)
	市外へ転出したが戻ってきた	123(100)	54(44)	43(35)	36(29)	24(20)	32(26)	42(34)	-(-)	2(2)
3(1) ⑤あなたや子どもの関わりを教えてください。	合計	1066(100)	424(40)	425(40)	276(26)	264(25)	230(22)	340(32)	18(2)	28(3)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	189(100)	89(47)	85(45)	43(23)	40(21)	39(21)	54(29)	6(3)	5(3)
	趣味がやきものである	24(100)	12(50)	15(63)	4(17)	3(13)	4(17)	8(33)	-(-)	-(-)
	やきものづくりの体験をしたことがある	345(100)	144(42)	129(37)	100(29)	87(25)	78(23)	112(32)	6(2)	4(1)
	生活で使う程度	508(100)	179(35)	196(39)	129(25)	134(26)	109(21)	166(33)	6(1)	19(4)
3(3) ⑥居住年数	合計	1085(100)	430(40)	431(40)	279(26)	265(24)	237(22)	343(32)	19(2)	32(3)
	10年未満	95(100)	31(33)	31(33)	29(31)	32(34)	12(13)	26(27)	1(1)	3(3)
	10～19年	157(100)	56(36)	52(33)	47(30)	41(26)	35(22)	59(38)	4(3)	1(1)
	20～29年	155(100)	62(40)	63(41)	43(28)	40(26)	35(23)	37(24)	3(2)	5(3)
	30～39年	173(100)	59(34)	65(38)	48(28)	50(29)	48(28)	53(31)	4(2)	4(2)
	40年以上	505(100)	222(44)	208(41)	112(22)	102(20)	107(21)	168(33)	7(1)	19(4)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

(6) 文化財・文化遺産の保存・活用で協力できること

文化財・文化遺産の保存・活用のために、あなたが協力できることはありますか。【当てはまるもの全てに○】

- ・全体では、「イベントや祭りなどへの参加」を選択している割合が56%となり、他の選択肢と比べ高い数値となっています。一方で「協力できることはない」という回答が24%となり、比較的高い数値となりました。
- ・「インターネット・SNSなどで情報発信」の割合は全体で13%であり決して高い数値ではありませんが、30歳未満の若い世代は41%もの人が選択しています。若い世代になるほど比例して割合が高くなり、30歳未満と70歳以上の割合の差が37ポイントにもなります。
- ・その他(46人)の内容は、「文化財・文化遺産の勉強」「知人に伝える」「ロコミ」「清掃などのボランティア活動」などでした。



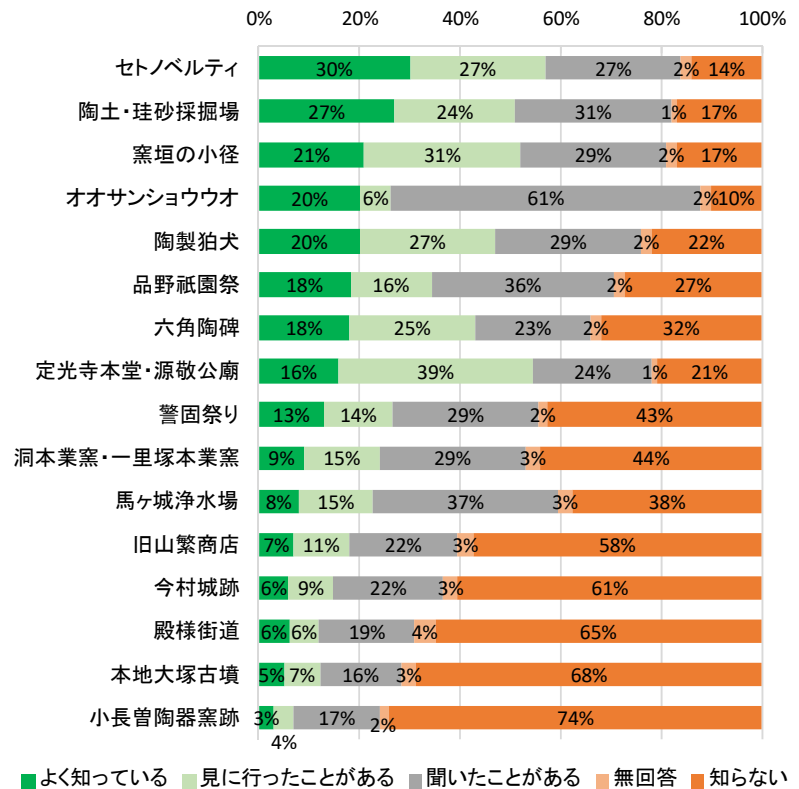
度数(%)		1 (8) 文化財・文化遺産の保存・活用のために、あなたが協力できることはありますか。								
		合計	イベントや祭りなどへの参加	ボランティアガイド	インターネット・SNSなどで情報発信	伝統技術などの継承	保全のための寄付	その他	協力できることはない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1099(100)	608(55)	64(6)	147(13)	60(5)	222(20)	46(4)	268(24)	39(4)
	男性	487(100)	253(52)	24(5)	69(14)	33(7)	115(24)	23(5)	117(24)	19(4)
	女性	606(100)	355(59)	40(7)	78(13)	27(4)	107(18)	23(4)	146(24)	20(3)
3 (3) ②年齢	合計	1104(100)	610(55)	64(6)	147(13)	62(6)	222(20)	45(4)	268(24)	42(4)
	30歳未満	103(100)	61(59)	7(7)	42(41)	2(2)	21(20)	-(-)	14(14)	2(2)
	30歳代	107(100)	71(66)	4(4)	23(21)	5(5)	18(17)	3(3)	19(18)	1(1)
	40歳代	163(100)	106(65)	13(8)	30(18)	13(8)	31(19)	9(6)	31(19)	2(1)
	50歳代	170(100)	94(55)	8(5)	14(8)	8(5)	31(18)	6(4)	45(26)	3(2)
	60歳代	243(100)	146(60)	16(7)	20(8)	9(4)	55(23)	4(2)	53(22)	9(4)
	70歳以上	318(100)	132(42)	16(5)	12(4)	25(8)	66(21)	23(7)	106(33)	25(8)
3 (3) ③住まいの歴史地区	合計	1099(100)	608(55)	64(6)	147(13)	62(6)	219(20)	46(4)	268(24)	42(4)
	備前地区	336(100)	185(55)	21(6)	41(12)	19(6)	65(19)	15(4)	85(25)	13(4)
	今村地区	216(100)	127(59)	12(6)	25(12)	9(4)	35(16)	10(5)	57(26)	6(3)
	赤津地区	26(100)	12(46)	1(4)	8(31)	5(19)	5(19)	1(4)	6(23)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	85(52)	9(5)	19(12)	10(6)	35(21)	8(5)	43(26)	6(4)
	水野地区	269(100)	151(56)	17(6)	46(17)	12(4)	63(23)	10(4)	52(19)	12(4)
	品野地区	87(100)	48(55)	4(5)	8(9)	8(9)	16(18)	2(2)	23(26)	4(5)
3 (3) ④居住歴	合計	1099(100)	608(55)	64(6)	147(13)	62(6)	221(20)	45(4)	264(24)	41(4)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	204(55)	26(7)	48(13)	30(8)	75(20)	18(5)	78(21)	16(4)
	転入してきた	601(100)	339(56)	31(5)	74(12)	29(5)	117(19)	21(3)	157(26)	19(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	65(52)	7(6)	25(20)	3(2)	29(23)	6(5)	29(23)	6(5)
3 (1) あなたやきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	603(56)	63(6)	146(13)	61(6)	218(20)	44(4)	261(24)	39(4)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	84(44)	10(5)	20(10)	26(14)	31(16)	10(5)	56(29)	15(8)
	趣味がやきものである	24(100)	19(79)	3(13)	5(21)	3(13)	3(13)	1(4)	2(8)	-(-)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	245(70)	21(6)	70(20)	17(5)	87(25)	12(3)	46(13)	7(2)
生活で使う程度	520(100)	255(49)	23(6)	51(10)	15(3)	97(19)	21(4)	157(30)	17(3)	
3 (3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	611(55)	64(6)	146(13)	62(6)	222(20)	47(4)	268(24)	41(4)
	10年未満	101(100)	59(58)	3(3)	22(22)	4(4)	16(16)	2(2)	25(25)	-(-)
	10～19年	158(100)	97(61)	15(9)	36(23)	8(5)	25(16)	7(4)	31(20)	2(1)
	20～29年	159(100)	95(60)	7(4)	34(21)	7(4)	29(18)	1(1)	41(26)	1(1)
	30～39年	175(100)	100(57)	9(5)	20(11)	8(5)	40(23)	13(7)	38(22)	10(6)
	40年以上	512(100)	260(51)	30(6)	34(7)	35(7)	112(22)	24(5)	133(26)	28(5)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

(7) 文化財・文化遺産の認知度

市内にある次の文化財・文化遺産をどの程度知っていますか。【それぞれ1つに○】

- ・市民の文化財・文化遺産に対する認知度を「よく知っている」の割合の高い順番から示したものが右図です。「瀬戸ノベルティ」は30%の方がよく知っていると回答しており、次いで「陶土・珪砂採掘場」の27%です。
- ・一方、最も認知度の低かったのは「小長曾陶器窯跡」で74%が知らないと回答しています。そのほか、市民の半数以上が知らないものとして「本地大塚古墳」「殿様街道」「今村城跡」「旧山繁商店」があげられます。
- ・「定光寺本堂・源敬公廟」については「よく知っている」の割合は16%にとどまりましたが、「見に行ったことがある」は39%となり、対象とした文化財・文化遺産の中で最も高くなっています。
- ・「オオサンショウウオ」については「見に行ったことがある」はわずか6%と少ないものの「聞いたことがある」が61%もあることが特徴的です。
- ・「馬ヶ城浄水場」についても、「オオサンショウウオ」と似た特徴が見られ、「よく知っている」割合は8%にとどまるものの「聞いたことがある」は2番目に高い37%です。



① セトノベルティ

- ・「よく知っている」は 30%と最も高く、「よく知っている」「見に行ったことがある」「聞いたことがある」の合計（以下「認知度」という）は 84%です。
- ・年齢別でみると 60 歳以上の 4 割程度の方が「よく知っている」と回答しており、比較的年配の世代によく知られている一方で、40 歳未満になると、セトノベルティのことを「知らない」と回答する割合が増えるため、年齢によるギャップがあることがわかります。

度数(%)		1 (6) ⑩セトノベルティ					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	328(30)	296(27)	297(27)	153(14)	19(2)
	男性	487(100)	148(30)	128(26)	118(24)	85(17)	8(2)
	女性	606(100)	180(30)	168(28)	179(30)	68(11)	11(2)
3(3)②年 齢	合計	1104(100)	330(30)	299(27)	300(27)	154(14)	21(2)
	30歳未満	103(100)	16(16)	26(25)	31(30)	29(28)	1(1)
	30歳代	107(100)	22(21)	25(23)	30(28)	30(28)	-(-)
	40歳代	163(100)	33(20)	46(28)	59(36)	25(15)	-(-)
	50歳代	170(100)	46(27)	51(30)	52(31)	20(12)	1(1)
	60歳代	243(100)	89(37)	75(31)	52(21)	21(9)	6(2)
	70歳以上	318(100)	124(39)	76(24)	76(24)	29(9)	13(4)
3 (3) ③住まい の市区 （歴史地 区）	合計	1099(100)	329(30)	299(27)	297(27)	153(14)	21(2)
	幡山地区	336(100)	84(25)	86(26)	99(29)	61(18)	6(2)
	今村地区	216(100)	68(31)	63(29)	51(24)	28(13)	6(3)
	赤津地区	26(100)	12(46)	5(19)	9(35)	-(-)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	70(42)	54(33)	29(18)	10(6)	2(1)
	水野地区	269(100)	72(27)	68(25)	83(31)	40(15)	6(2)
	品野地区	87(100)	23(26)	23(26)	26(30)	14(16)	1(1)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	329(30)	298(27)	298(27)	153(14)	20(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	150(40)	87(23)	91(25)	36(10)	7(2)
	転入してきた	601(100)	130(22)	178(30)	182(30)	100(17)	11(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	49(39)	33(26)	25(20)	17(13)	2(2)
3 (1) あなた と、やき もの関わり を教えてください。	合計	1086(100)	326(30)	299(28)	297(27)	147(14)	17(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	106(55)	42(22)	30(16)	8(4)	6(3)
	趣味がやきものである	24(100)	10(42)	9(38)	3(13)	1(4)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	105(30)	99(28)	102(29)	42(12)	2(1)
生活で使う程度	520(100)	105(20)	149(29)	162(31)	96(18)	8(2)	
3(3)⑤居 住年数	合計	1105(100)	331(30)	300(27)	300(27)	154(14)	20(2)
	10年未満	101(100)	16(16)	19(19)	31(31)	35(35)	-(-)
	10～19年	158(100)	29(18)	50(32)	49(31)	28(18)	2(1)
	20～29年	159(100)	27(17)	50(31)	53(33)	27(17)	2(1)
	30～39年	175(100)	47(27)	56(32)	47(27)	23(13)	2(1)
	40年以上	512(100)	212(41)	125(24)	120(23)	41(8)	14(3)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

② 陶土・珪砂採掘場

- ・「よく知っている」は27%と2番目に高く、認知度は82%です。
- ・年齢別にみると、70歳以上の人々の4割が「よく知っている」と回答しているのに対し、50歳未満になると「知らない」と回答する人の割合が増えることがわかります。
- ・居住年数別にみると、短いほど「知らない」という人が多く、特に「10年未満」と回答した人の59%が「知らない」と回答しており、「10～19年」と回答した人の25%と34ポイントの差があります。

度数(%)		1 (6) 陶土・珪砂採掘場					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	297(27)	267(24)	340(31)	181(17)	8(1)
	男性	487(100)	156(32)	124(25)	144(30)	60(12)	3(1)
	女性	606(100)	141(23)	143(24)	196(32)	121(20)	5(1)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	300(27)	269(24)	344(31)	182(16)	9(1)
	30歳未満	103(100)	13(13)	20(19)	27(26)	42(41)	1(1)
	30歳代	107(100)	11(10)	19(18)	38(36)	39(36)	-(-)
	40歳代	163(100)	27(17)	23(14)	75(46)	38(23)	-(-)
	50歳代	170(100)	35(21)	54(32)	65(38)	16(9)	-(-)
	60歳代	243(100)	88(36)	65(27)	65(27)	24(10)	1(0)
	70歳以上	318(100)	126(40)	88(28)	74(23)	23(7)	7(2)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	299(27)	270(25)	341(31)	180(16)	9(1)
	幡山地区	336(100)	74(22)	90(27)	94(28)	75(22)	3(1)
	今村地区	216(100)	46(21)	54(25)	78(36)	36(17)	2(1)
	赤津地区	26(100)	9(35)	8(31)	7(27)	2(8)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	58(35)	49(28)	42(25)	22(13)	-(-)
	水野地区	269(100)	76(28)	59(22)	93(35)	37(14)	4(1)
	品野地区	87(100)	36(41)	16(18)	27(31)	8(9)	-(-)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	299(27)	270(25)	340(31)	180(16)	9(1)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	150(40)	77(21)	99(27)	41(11)	4(1)
	転入してきた	601(100)	107(18)	158(26)	209(35)	122(20)	5(1)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	42(33)	35(28)	32(25)	17(13)	-(-)
3 (1) あなたとやきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	295(27)	265(24)	340(31)	178(16)	8(1)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	92(48)	46(24)	45(23)	7(4)	2(1)
	趣味がやきものである	24(100)	10(42)	9(38)	4(17)	1(4)	-(-)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	84(24)	99(28)	101(29)	64(18)	2(1)
生活で使う程度	520(100)	109(21)	111(21)	190(37)	106(20)	4(1)	
3(3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	301(27)	270(24)	344(31)	181(16)	9(1)
	10年未満	101(100)	9(9)	7(7)	25(25)	60(59)	-(-)
	10～19年	158(100)	18(11)	30(19)	69(44)	40(25)	1(1)
	20～29年	159(100)	22(14)	41(26)	64(40)	32(20)	-(-)
	30～39年	175(100)	37(21)	69(39)	55(31)	12(7)	2(1)
	40年以上	512(100)	215(42)	123(24)	131(26)	37(7)	6(1)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

③ 窯垣の小径

- ・「見に行ったことがある」が 31%と「聞いたことがある」29%や「よく知っている」21%を上回っており、認知度は81%です。居住歴別でも「転入してきた」人の32%が「見に行ったことがある」と回答しており、多くの人にまずは現地に行って体験したい、と思わせる魅力があるようです。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるに比例して知っている割合が高くなる傾向がみられます。

度数(%)		1 (6) 窯垣の小径					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	227(21)	337(31)	312(29)	190(17)	27(2)
	男性	487(100)	105(22)	146(30)	123(25)	99(20)	14(3)
	女性	606(100)	122(20)	191(32)	189(31)	91(15)	13(2)
3(3)②年齢	合計	1104(100)	232(21)	342(31)	313(28)	190(17)	27(2)
	30歳未満	103(100)	14(14)	21(20)	30(29)	36(35)	2(2)
	30歳代	107(100)	12(11)	19(18)	39(36)	36(34)	1(1)
	40歳代	163(100)	20(12)	39(24)	57(35)	45(28)	2(1)
	50歳代	170(100)	25(15)	63(37)	58(34)	22(13)	2(1)
	60歳代	243(100)	63(26)	86(35)	63(26)	25(10)	6(2)
	70歳以上	318(100)	98(31)	114(36)	66(21)	26(8)	14(4)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	230(21)	339(31)	314(29)	189(17)	27(2)
	幡山地区	336(100)	60(18)	97(29)	97(29)	70(21)	12(4)
	今村地区	216(100)	34(16)	66(31)	70(32)	41(19)	5(2)
	赤津地区	26(100)	8(31)	10(38)	8(31)	-(-)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	59(36)	62(38)	29(18)	14(8)	1(1)
	水野地区	269(100)	51(19)	78(29)	81(30)	53(20)	6(2)
	品野地区	87(100)	18(21)	26(30)	29(33)	11(13)	3(3)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	231(21)	340(31)	312(28)	188(17)	27(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	102(27)	102(27)	106(29)	51(14)	10(3)
	転入してきた	601(100)	105(17)	193(32)	175(29)	114(19)	14(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	24(19)	45(36)	31(25)	23(18)	3(2)
3 (1) ⑤あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	227(21)	338(31)	308(28)	189(17)	24(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	61(32)	70(36)	40(21)	14(7)	7(4)
	趣味がやきものである	24(100)	8(33)	10(42)	5(21)	-(-)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	73(21)	118(34)	98(28)	56(16)	5(1)
生活で使う程度	520(100)	85(16)	140(27)	165(32)	119(23)	11(2)	
3(3)⑥居住年数	合計	1105(100)	231(21)	343(31)	314(28)	190(17)	27(2)
	10年未満	101(100)	7(7)	20(20)	31(31)	42(42)	1(1)
	10～19年	158(100)	24(15)	37(23)	55(35)	39(25)	3(2)
	20～29年	159(100)	17(11)	60(38)	44(28)	35(22)	3(2)
	30～39年	175(100)	35(20)	54(31)	59(34)	20(11)	7(4)
40年以上	512(100)	148(29)	172(34)	125(24)	54(11)	13(3)	

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

④ オオサンショウウオ

- ・「聞いたことがある」が61%と高く、認知度は89%と最も高くなっていますが、「見に行ったことがある」はわずか6%にすぎず、この点は他の文化財と比べて特徴的です。
- ・年齢別に見ると、唯一「30歳未満」という若い世代が「見に行ったことがある」と回答した人が10%を超えます。また、年齢が上がるにつれ「よく知っている」割合は上昇しますが、30歳代の割合については一番低く、8%にとどまります。
- ・やきものとの関わり別で見ると、オオサンショウウオは一見やきものとは関わりがないと思われそうですが、「やきものに関わる仕事をしている」人は「生活で使う程度」の人よりも15ポイントも割合が高い結果となりました。
- ・居住年数別にみると、「40年以上」になると「よく知っている」割合は大幅に増加し、28%となります。

度数(%)		1 (6) オオサンショウウオ					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	222(20)	65(6)	672(61)	110(10)	24(2)
	男性	487(100)	114(23)	26(5)	284(58)	50(10)	13(3)
	女性	606(100)	108(18)	39(6)	388(64)	60(10)	11(2)
3 (3) ②年齢	合計	1104(100)	226(20)	66(6)	676(61)	111(10)	25(2)
	30歳未満	103(100)	17(17)	11(11)	63(61)	10(10)	2(2)
	30歳代	107(100)	9(8)	8(7)	70(65)	20(19)	-(-)
	40歳代	163(100)	29(18)	7(4)	103(63)	21(13)	3(2)
	50歳代	170(100)	31(18)	8(5)	113(66)	17(10)	1(1)
	60歳代	243(100)	54(22)	14(6)	156(64)	12(5)	7(3)
	70歳以上	318(100)	86(27)	18(6)	171(54)	31(10)	12(4)
3 (3) ③住まいの 地区(歴史地区)	合計	1099(100)	225(20)	64(6)	675(61)	111(10)	24(2)
	榑山地区	336(100)	48(14)	19(6)	211(63)	47(14)	11(3)
	今村地区	216(100)	39(18)	16(7)	137(63)	20(9)	4(2)
	赤津地区	28(100)	7(27)	-(-)	17(65)	2(8)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	41(25)	5(3)	105(64)	12(7)	2(1)
	水野地区	269(100)	61(23)	19(7)	159(59)	23(9)	7(3)
	品野地区	87(100)	29(33)	5(6)	46(53)	7(8)	-(-)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	226(21)	66(6)	672(61)	110(10)	24(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	106(29)	26(7)	207(56)	23(6)	9(2)
	転入してきた	601(100)	94(16)	32(5)	390(65)	73(12)	12(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	26(21)	8(6)	75(60)	14(11)	3(2)
3 (1) あなたとやきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	225(21)	65(6)	688(62)	106(10)	22(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	61(32)	8(4)	98(51)	16(8)	9(5)
	趣味がやきものである	24(100)	5(21)	3(13)	15(63)	-(-)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	73(21)	32(9)	212(61)	30(9)	3(1)
生活で使う程度	520(100)	86(17)	22(4)	343(66)	60(12)	9(2)	
3 (3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	225(20)	66(6)	678(61)	111(10)	25(2)
	10年未満	101(100)	10(10)	5(5)	63(62)	23(23)	-(-)
	10～19年	158(100)	22(14)	13(8)	105(66)	15(9)	3(2)
	20～29年	159(100)	25(16)	10(6)	105(66)	18(11)	1(1)
	30～39年	175(100)	25(14)	8(5)	114(65)	20(11)	8(5)
	40年以上	512(100)	143(28)	30(6)	291(57)	35(7)	13(3)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑤ 陶製狛犬

- ・認知度は76%です。
- ・住まいの連区別にみると瀬戸地区では「よく知っている」「見に行ったことがある」と答えた人の割合が合計67%になり他の地区より高い割合となっています。
- ・年齢別に見ると、40歳代の「聞いたことがある」と答えた人の割合は他の年代よりも高い割合ですが、「よく知っている」「見に行ったことがある」については逆に低い割合となっていることが特徴的です。

度数(%)		1(6) 陶製狛犬					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	219(20)	294(27)	321(29)	238(22)	21(2)
	男性	487(100)	103(21)	131(27)	134(28)	109(22)	10(2)
	女性	606(100)	116(19)	163(27)	187(31)	129(21)	11(2)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	221(20)	299(27)	323(29)	239(22)	22(2)
	30歳未満	103(100)	11(11)	23(22)	33(32)	35(34)	1(1)
	30歳代	107(100)	12(11)	18(17)	29(27)	48(45)	-(-)
	40歳代	163(100)	14(9)	19(12)	69(42)	61(37)	-(-)
	50歳代	170(100)	25(15)	45(26)	64(38)	35(21)	1(1)
	60歳代	243(100)	61(25)	96(40)	59(24)	23(9)	4(2)
	70歳以上	318(100)	98(31)	98(31)	69(22)	37(12)	16(5)
3(3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	220(20)	299(27)	320(29)	238(22)	22(2)
	幡山地区	336(100)	61(18)	80(24)	100(30)	84(25)	11(3)
	今村地区	216(100)	35(16)	59(27)	65(30)	52(24)	5(2)
	赤津地区	26(100)	5(19)	8(31)	11(42)	2(8)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	50(30)	61(37)	31(19)	21(13)	2(1)
	水野地区	269(100)	49(18)	69(26)	87(32)	61(23)	3(1)
	品野地区	87(100)	20(23)	22(25)	26(30)	18(21)	1(1)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	221(20)	298(27)	321(29)	236(21)	22(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	115(31)	100(27)	100(27)	50(13)	6(2)
	転入してきた	601(100)	77(13)	161(27)	189(31)	159(26)	15(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	29(23)	37(29)	32(25)	27(21)	1(1)
3(1) ⑤あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	218(20)	295(27)	321(30)	232(21)	20(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	73(38)	58(30)	43(22)	11(6)	7(4)
	趣味がやきものである	24(100)	7(29)	8(33)	7(29)	1(4)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	64(18)	103(29)	103(29)	77(22)	3(1)
	生活で使う程度	520(100)	74(14)	126(24)	168(32)	143(28)	9(2)
3(3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	221(20)	300(27)	323(29)	239(22)	22(2)
	10年未満	101(100)	6(6)	7(7)	32(32)	56(55)	-(-)
	10～19年	158(100)	7(4)	30(19)	59(37)	57(36)	5(3)
	20～29年	159(100)	16(10)	41(26)	64(40)	37(23)	1(1)
	30～39年	175(100)	33(19)	62(35)	43(25)	32(18)	5(3)
	40年以上	512(100)	159(31)	160(31)	125(24)	57(11)	11(2)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑥ 品野祇園祭

- ・認知度は70%です。
- ・住まいの連区別にみると品野地区の人は「よく知っている」人が71%となる一方で、他の地区は大幅に割合が下がることから、特に地元の人にとっては愛着の強い祭りであるといえます。
- ・居住歴の「転入してきた」人の「聞いたことがある」と回答した人が41%と高いことも特徴的です。

度数(%)		1 (6) 品野祇園祭					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	202(18)	177(16)	394(36)	296(27)	24(2)
	男性	487(100)	99(20)	86(18)	163(33)	126(26)	13(3)
	女性	606(100)	103(17)	91(15)	231(38)	170(28)	11(2)
3 (3) ②年齢	合計	1104(100)	205(19)	177(16)	398(36)	298(27)	26(2)
	30歳未満	103(100)	13(13)	9(9)	36(35)	44(43)	1(1)
	30歳代	107(100)	15(14)	18(17)	37(35)	36(34)	1(1)
	40歳代	163(100)	20(12)	19(12)	62(38)	61(37)	1(1)
	50歳代	170(100)	26(15)	27(16)	58(34)	56(33)	3(2)
	60歳代	249(100)	46(19)	56(23)	95(39)	40(16)	6(2)
	70歳以上	318(100)	85(27)	48(15)	110(35)	61(19)	14(4)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	205(19)	180(16)	393(36)	295(27)	26(2)
	幡山地区	336(100)	39(12)	43(13)	145(43)	96(29)	13(4)
	今村地区	216(100)	24(11)	30(14)	86(40)	72(33)	4(2)
	赤津地区	28(100)	8(31)	8(31)	7(27)	3(12)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	29(18)	36(22)	62(38)	36(22)	2(1)
	水野地区	269(100)	43(16)	44(16)	91(34)	85(32)	6(2)
	品野地区	87(100)	62(71)	19(22)	2(2)	3(3)	1(1)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	204(19)	179(16)	395(36)	294(27)	26(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	106(29)	90(24)	105(28)	62(17)	8(2)
	転入してきた	601(100)	70(12)	70(12)	248(41)	198(33)	15(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	28(22)	19(15)	42(33)	34(27)	3(2)
3 (1) あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1088(100)	202(19)	179(16)	391(36)	291(27)	23(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	57(30)	42(22)	57(30)	26(14)	10(5)
	趣味がやきものである	24(100)	6(25)	5(21)	8(33)	4(17)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	64(18)	50(14)	144(41)	86(25)	6(2)
	生活で使う程度	520(100)	75(14)	82(16)	182(35)	175(34)	6(1)
3 (3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	205(19)	179(16)	397(36)	298(27)	26(2)
	10年未満	101(100)	6(6)	10(10)	41(41)	44(44)	-(-)
	10～19年	158(100)	17(11)	14(9)	59(37)	64(41)	4(3)
	20～29年	159(100)	14(9)	22(14)	58(36)	63(40)	2(1)
	30～39年	175(100)	28(16)	23(13)	69(39)	49(28)	6(3)
	40年以上	512(100)	140(27)	110(21)	170(33)	78(15)	14(3)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑦ 六角陶碑

- ・認知度は66%です。
- ・年齢別にみた場合、年齢が上がるにつれ比例して「よく知っている」割合が増えていきますが、特に60歳を境に「よく知っている」割合が大きく増加していきます。逆に、40歳代の人や30歳未満の「知らない」割合はそれぞれ50%、59%となり、若い世代の知名度が低いことがわかります。
- ・居住年数別にみると、10年未満の「知らない」が63%となるので、平均値の32%と比べても非常に高い割合といえます。

度数(%)		1(6) ⑥六角陶碑					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3(3) ①性別	合計	1099(100)	197(18)	270(25)	251(23)	350(32)	25(2)
	男性	487(100)	101(21)	120(25)	107(22)	147(30)	12(2)
	女性	608(100)	96(16)	150(25)	144(24)	203(33)	13(2)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	201(18)	272(25)	253(23)	351(32)	27(2)
	30歳未満	103(100)	5(5)	19(18)	18(17)	61(59)	-(-)
	30歳代	107(100)	6(6)	27(25)	26(24)	48(45)	-(-)
	40歳代	163(100)	13(8)	18(11)	50(31)	81(50)	1(1)
	50歳代	170(100)	18(11)	42(25)	53(31)	54(32)	3(2)
	60歳代	243(100)	54(22)	74(30)	56(23)	52(21)	7(3)
	70歳以上	318(100)	105(33)	92(29)	50(16)	55(17)	16(5)
3(3) ③住まいの市区(歴史地区)	合計	1099(100)	202(18)	271(25)	253(23)	346(31)	27(2)
	壱山地区	336(100)	51(15)	76(23)	76(23)	120(36)	13(4)
	今村地区	216(100)	31(14)	47(22)	58(27)	76(35)	4(2)
	赤津地区	26(100)	7(27)	8(31)	7(27)	4(15)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	49(30)	58(35)	25(15)	32(19)	1(1)
	水野地区	269(100)	45(17)	58(22)	70(26)	87(32)	9(3)
	品野地区	87(100)	19(22)	24(28)	17(20)	27(31)	-(-)
	品野地区	87(100)	19(22)	24(28)	17(20)	27(31)	-(-)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	202(18)	271(25)	253(23)	345(31)	27(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	102(27)	99(27)	74(20)	87(23)	9(2)
	転入してきた	601(100)	71(12)	144(24)	152(25)	219(36)	15(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	29(23)	28(22)	27(21)	39(31)	3(2)
3(1) ⑤あなたと、やきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	199(18)	267(25)	251(23)	344(32)	25(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	71(37)	57(30)	34(18)	18(9)	12(6)
	趣味がやきものである	24(100)	9(38)	9(38)	3(13)	2(8)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	56(16)	90(26)	80(23)	119(34)	5(1)
生活で使う程度	520(100)	63(12)	111(21)	134(26)	205(39)	7(1)	
3(3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	202(18)	272(25)	253(23)	351(32)	27(2)
	10年未満	101(100)	4(4)	12(12)	21(21)	64(63)	-(-)
	10～19年	158(100)	11(7)	25(16)	46(29)	73(46)	3(2)
	20～29年	159(100)	10(6)	39(25)	42(26)	65(41)	3(2)
	30～39年	175(100)	24(14)	50(29)	44(25)	51(29)	6(3)
	40年以上	512(100)	153(30)	146(29)	100(20)	98(19)	15(3)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑧ 定光寺本堂・源敬公廟

- ・「よく知っている」は16%と対象とした文化財の8番目でしたが、「見に行ったことがある」が39%と最も多く、認知度は79%となっています。
- ・年齢別にみると、「知らない」人の割合が40歳代では33%、30歳未満では32%となり、年配の人と比べ差が大きくなります。また、年齢が下がるにつれ「よく知っている」割合が下がっていく傾向ですが、30歳代よりも30歳未満の方が「よく知っている」割合がわずかに4ポイントですが高い結果となりました。

度数(%)		1(6) ①定光寺本堂・源敬公廟					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	176(16)	424(39)	258(24)	225(21)	10(1)
	男性	487(100)	106(22)	187(38)	107(22)	81(17)	6(1)
	女性	606(100)	70(12)	237(39)	151(25)	144(24)	4(1)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	179(16)	428(39)	261(24)	225(20)	11(1)
	30歳未満	103(100)	9(9)	26(25)	33(32)	33(32)	2(2)
	30歳代	107(100)	5(5)	39(36)	34(32)	29(27)	-(-)
	40歳代	163(100)	11(7)	44(27)	55(34)	53(33)	-(-)
	50歳代	170(100)	23(14)	64(38)	39(23)	42(25)	2(1)
	60歳代	243(100)	47(19)	108(44)	45(19)	42(17)	1(0)
	70歳以上	318(100)	84(26)	147(46)	55(17)	26(8)	6(2)
3(3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	177(16)	425(39)	262(24)	224(20)	11(1)
	幡山地区	336(100)	47(14)	126(38)	87(26)	72(21)	4(1)
	今村地区	216(100)	33(15)	88(41)	50(23)	44(20)	1(0)
	赤津地区	26(100)	3(12)	14(54)	5(19)	4(15)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	22(13)	62(38)	38(23)	42(25)	1(1)
	水野地区	269(100)	51(19)	107(40)	60(22)	46(17)	5(2)
	品野地区	87(100)	21(24)	28(32)	22(25)	16(18)	-(-)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	178(16)	427(39)	261(24)	221(20)	11(1)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	85(23)	136(37)	79(21)	65(18)	6(2)
	転入してきた	601(100)	71(12)	242(40)	147(24)	137(23)	4(1)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	22(17)	49(39)	35(28)	19(15)	1(1)
3(1) ⑤あなたや子どもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	174(16)	418(38)	261(24)	224(21)	9(1)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	44(23)	85(44)	38(20)	23(12)	2(1)
	趣味がやきものである	24(100)	12(50)	10(42)	1(4)	1(4)	-(-)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	46(13)	141(40)	88(25)	73(21)	2(1)
生活で使う程度	520(100)	72(14)	182(35)	134(26)	127(24)	5(1)	
3(3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	179(16)	429(39)	262(24)	224(20)	11(1)
	10年未満	101(100)	3(3)	25(25)	40(40)	33(33)	-(-)
	10～19年	158(100)	14(9)	46(29)	48(30)	48(30)	2(1)
	20～29年	159(100)	13(8)	59(37)	42(26)	44(28)	1(1)
	30～39年	175(100)	26(15)	75(43)	39(22)	34(19)	1(1)
	40年以上	512(100)	123(24)	224(44)	93(18)	65(13)	7(1)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑨ 警固祭り

- ・認知度は56%です。
- ・年齢別にみると、とりわけ40歳代の「知らない」と回答した人が64%となり高い割合となります。
- ・地域別にみると幡山地区の人に比較的好く知られています。

度数(%)		1 (6) ⑨警固祭り					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	139(13)	149(14)	314(29)	467(43)	24(2)
	男性	487(100)	81(17)	66(14)	147(30)	178(37)	15(3)
	女性	606(100)	58(10)	83(14)	167(28)	289(48)	9(1)
3(3)②年齢	合計	1104(100)	139(13)	149(13)	319(29)	471(43)	26(2)
	30歳未満	103(100)	5(5)	11(11)	21(20)	65(63)	1(1)
	30歳代	107(100)	6(6)	11(10)	28(26)	61(57)	1(1)
	40歳代	163(100)	12(7)	14(9)	32(20)	104(64)	1(1)
	50歳代	170(100)	23(14)	18(11)	46(27)	80(47)	3(2)
	60歳代	243(100)	30(12)	42(17)	86(35)	77(32)	8(3)
	70歳以上	318(100)	63(20)	53(17)	106(33)	84(26)	12(4)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	140(13)	148(13)	318(29)	468(43)	25(2)
	幡山地区	336(100)	82(24)	86(26)	78(23)	82(24)	8(2)
	今村地区	218(100)	20(9)	15(7)	60(28)	117(54)	4(2)
	赤津地区	26(100)	1(4)	4(15)	11(42)	10(38)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	21(13)	14(8)	64(39)	62(38)	4(2)
	水野地区	269(100)	10(4)	20(7)	83(31)	148(55)	8(3)
	品野地区	87(100)	6(7)	9(10)	22(25)	49(56)	1(1)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	141(13)	148(13)	317(29)	467(43)	25(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	68(18)	51(14)	120(32)	122(33)	10(3)
	転入してきた	601(100)	53(9)	75(12)	170(28)	291(48)	12(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	20(16)	22(17)	27(21)	54(43)	3(2)
3 (1) ⑤あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	136(13)	148(14)	316(29)	464(43)	22(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	30(16)	25(13)	77(40)	54(28)	6(3)
	趣味がやきものである	24(100)	4(17)	4(17)	9(38)	6(25)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	42(12)	52(15)	93(27)	156(45)	7(2)
	生活で使う程度	520(100)	60(12)	67(13)	137(26)	248(48)	8(2)
3(3)⑥居住年数	合計	1105(100)	141(13)	149(13)	318(29)	471(43)	26(2)
	10年未満	101(100)	4(4)	11(11)	21(21)	65(64)	-(-)
	10～19年	158(100)	9(6)	11(7)	30(19)	106(67)	2(1)
	20～29年	159(100)	15(9)	19(12)	38(24)	86(54)	1(1)
	30～39年	175(100)	24(14)	27(15)	47(27)	70(40)	7(4)
	40年以上	512(100)	89(17)	81(16)	182(36)	144(28)	16(3)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑩ 洞本業窯・一里塚本業窯

- ・認知度は53%です。
- ・性別でみると、女性よりも男性の方がよく知っている文化財となります。
- ・地域別にみると、実際に窯のある瀬戸地区と比べると、それ以外の地区の人は「知らない」と回答する人の割合がかなり高くなるとともに、「よく知っている」と回答する人の割合も赤津地区を除いた地区全てで、1割にも満たない数値となります。
- ・40歳代や、居住年数10年未満の人の「知らない」割合もそれぞれ60%、72%と、平均の43%と比べかなり低い数値となります。

度数(%)		1(6) ◎洞本業窯・一里塚本業窯					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	100(9)	163(15)	322(29)	476(44)	32(3)
	男性	487(100)	58(12)	68(14)	158(32)	186(38)	17(3)
	女性	606(100)	42(7)	95(16)	164(27)	290(48)	15(2)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	101(9)	165(15)	325(29)	479(43)	34(3)
	30歳未満	103(100)	4(4)	13(13)	26(25)	59(57)	1(1)
	30歳代	107(100)	4(4)	12(11)	32(30)	58(54)	1(1)
	40歳代	163(100)	3(2)	14(9)	48(29)	97(60)	1(1)
	50歳代	170(100)	10(6)	21(12)	61(36)	76(45)	2(1)
	60歳代	243(100)	29(12)	47(19)	69(28)	89(37)	9(4)
	70歳以上	318(100)	51(16)	58(18)	89(28)	100(31)	20(6)
3(3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	100(9)	165(15)	325(30)	476(43)	33(3)
	礪山地区	336(100)	26(8)	47(14)	96(29)	154(46)	13(4)
	今村地区	216(100)	15(7)	33(15)	67(31)	99(46)	2(1)
	赤津地区	26(100)	6(23)	7(27)	11(42)	2(8)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	27(16)	36(22)	54(33)	43(26)	5(3)
	水野地区	269(100)	19(7)	31(12)	72(27)	137(51)	10(4)
	品野地区	87(100)	7(8)	11(13)	25(29)	41(47)	3(3)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	101(9)	164(15)	325(30)	475(43)	33(3)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	55(15)	66(18)	119(32)	121(33)	10(3)
	転入してきた	601(100)	32(5)	82(14)	163(27)	304(51)	20(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	14(11)	16(13)	43(34)	50(40)	3(2)
3(1) あなたと、やきものとの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	97(9)	164(15)	322(30)	474(44)	29(3)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	37(19)	38(20)	60(31)	45(23)	12(6)
	趣味がやきものである	24(100)	6(25)	6(25)	6(25)	5(21)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	28(8)	60(17)	108(31)	148(42)	6(2)
	生活で使う程度	520(100)	26(5)	60(12)	148(28)	276(53)	10(2)
3(3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	101(9)	165(15)	327(30)	478(43)	34(3)
	10年未満	101(100)	5(5)	6(6)	17(17)	73(72)	-(-)
	10～19年	158(100)	4(3)	16(10)	47(30)	87(55)	4(3)
	20～29年	159(100)	4(3)	18(11)	52(33)	83(52)	2(1)
	30～39年	175(100)	15(9)	32(18)	48(27)	70(40)	10(6)
	40年以上	512(100)	73(14)	93(18)	163(32)	165(32)	18(4)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑪ 馬ヶ城浄水場

- ・認知度は60%です。
- ・男女別でみると、男性の方が「よく知っている」割合が高い結果となっています。
- ・年代別にみると50歳を境に年齢が下がるにつれて「知らない」と回答する割合が大幅に増加していきます。ただし30歳未満の人については、「見に行ったことがある」と回答した人の割合が全体平均の数値をわずかに1ポイントですが上回る数値（16%）となりました。

度数(%)		1 (6) ④馬ヶ城浄水場					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	85(8)	165(15)	401(37)	411(38)	31(3)
	男性	487(100)	54(11)	79(16)	186(38)	156(32)	12(2)
	女性	606(100)	31(5)	86(14)	215(35)	255(42)	19(3)
3(3)②年 齢	合計	1104(100)	86(8)	165(15)	408(37)	412(37)	33(3)
	30歳未満	103(100)	4(4)	16(16)	16(16)	65(63)	2(2)
	30歳代	107(100)	3(3)	9(8)	35(33)	60(56)	-(-)
	40歳代	163(100)	3(2)	13(8)	51(31)	96(59)	-(-)
	50歳代	170(100)	9(5)	25(15)	71(42)	62(36)	3(2)
	60歳代	243(100)	28(12)	39(16)	105(43)	85(27)	6(2)
	70歳以上	318(100)	39(12)	63(20)	130(41)	84(20)	22(7)
3 (3) ③住まい の連区(歴史 地区)	合計	1099(100)	85(8)	166(15)	408(37)	407(37)	33(3)
	権山地区	336(100)	26(8)	41(12)	114(34)	141(42)	14(4)
	今村地区	216(100)	12(6)	35(16)	78(36)	86(40)	5(2)
	赤津地区	26(100)	2(8)	5(19)	13(50)	6(23)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	16(10)	45(27)	65(39)	37(22)	2(1)
	水野地区	269(100)	22(8)	27(10)	102(38)	108(40)	10(4)
	品野地区	87(100)	7(8)	13(15)	36(41)	29(33)	2(2)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	85(8)	166(15)	407(37)	407(37)	33(3)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	48(13)	75(20)	140(38)	99(27)	9(2)
	転入してきた	601(100)	23(4)	66(11)	229(38)	263(44)	20(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	14(11)	25(20)	38(30)	45(36)	4(3)
3 (1) あなた と「やき もの」の 関わり を教えてください。	合計	1086(100)	83(8)	162(15)	405(37)	405(37)	31(3)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	32(17)	38(20)	68(35)	43(22)	11(6)
	趣味がやきものである	24(100)	3(13)	6(25)	12(50)	2(8)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	23(7)	61(17)	126(36)	134(38)	6(2)
生活で使う程度	520(100)	25(5)	57(11)	199(38)	226(43)	13(3)	
3(3)⑤居 住年数	合計	1105(100)	86(8)	165(15)	410(37)	411(37)	33(3)
	10年未満	101(100)	2(2)	-(-)	27(27)	71(70)	1(1)
	10～19年	158(100)	3(2)	16(10)	40(25)	95(60)	4(3)
	20～29年	159(100)	6(4)	16(10)	50(31)	85(53)	2(1)
	30～39年	175(100)	16(9)	29(17)	71(41)	53(30)	6(3)
	40年以上	512(100)	59(12)	104(20)	222(43)	107(21)	20(4)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑫ 旧山繁商店

- ・認知度は40%です。
- ・若い世代の、特に30・40歳代の人、いずれも8割に知られていないとともに、70歳以上の人も「よく知っている」と回答した人は唯一2桁の数値である11%にとどまります。あまり知名度が高いとはいえない結果となりました。

度数(%)		1 (6) ⑫旧山繁商店					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	75(7)	119(11)	240(22)	629(58)	30(3)
	男性	487(100)	41(8)	50(10)	128(26)	259(52)	15(3)
	女性	606(100)	34(6)	69(11)	112(18)	376(62)	15(2)
3(3)②年齢	合計	1104(100)	74(7)	122(11)	242(22)	632(57)	34(3)
	30歳未満	103(100)	1(1)	3(3)	19(18)	79(77)	1(1)
	30歳代	107(100)	1(1)	8(7)	12(11)	86(80)	-(-)
	40歳代	163(100)	3(2)	12(7)	20(12)	128(79)	-(-)
	50歳代	170(100)	11(6)	14(8)	34(20)	109(64)	3(2)
	60歳代	243(100)	22(9)	37(15)	62(26)	117(48)	5(2)
	70歳以上	318(100)	36(11)	48(15)	95(30)	114(36)	25(8)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	73(7)	122(11)	242(22)	628(57)	34(3)
	榑山地区	338(100)	22(7)	40(12)	62(18)	201(60)	11(3)
	今村地区	216(100)	10(5)	20(9)	49(23)	130(60)	7(3)
	赤津地区	28(100)	4(15)	1(4)	8(31)	13(50)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	18(11)	22(13)	45(27)	73(44)	7(4)
	水野地区	269(100)	15(6)	29(11)	57(21)	159(59)	9(3)
	品野地区	87(100)	4(5)	10(11)	21(24)	52(60)	-(-)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	74(7)	123(11)	241(22)	626(57)	34(3)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	45(12)	29(8)	97(26)	186(50)	14(4)
	転入してきた	601(100)	17(3)	76(13)	114(19)	375(62)	19(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	12(10)	18(14)	30(24)	65(52)	1(1)
3 (1) あなたがやきものに関わりを教えてください。	合計	1086(100)	70(6)	120(11)	240(22)	626(58)	30(3)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	28(15)	30(16)	60(31)	62(32)	12(6)
	趣味がやきものである	24(100)	2(8)	5(21)	8(33)	8(33)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	15(4)	41(12)	68(19)	219(63)	7(2)
	生活で使う程度	520(100)	25(5)	44(8)	104(20)	337(65)	10(2)
3(3)⑤居住年数	合計	1105(100)	75(7)	123(11)	242(22)	631(57)	34(3)
	10年未満	101(100)	2(2)	2(2)	11(11)	86(85)	-(-)
	10～19年	158(100)	3(2)	15(9)	23(15)	115(73)	2(1)
	20～29年	159(100)	6(4)	12(8)	30(19)	110(69)	1(1)
	30～39年	175(100)	7(4)	27(15)	28(16)	104(59)	9(5)
	40年以上	512(100)	57(11)	67(13)	150(29)	216(42)	22(4)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑬ 今村城跡

- ・認知度は37%です。
- ・年齢別でみると、70歳以上の「見に行ったことがある」人の割合が増加します。
- ・居住年数でみると、30年を超えた時点で「聞いたことがある」と答える人の割合がやや増加します。

度数(%)		1(6) 今村城跡					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	68(6)	96(9)	237(22)	663(61)	29(3)
	男性	487(100)	44(9)	51(10)	117(24)	264(54)	11(2)
	女性	606(100)	24(4)	45(7)	120(20)	399(66)	18(3)
3(3)②年齢	合計	1104(100)	70(6)	97(9)	242(22)	664(60)	31(3)
	30歳未満	103(100)	2(2)	4(4)	15(15)	81(79)	1(1)
	30歳代	107(100)	1(1)	8(7)	19(18)	79(74)	-(-)
	40歳代	163(100)	6(4)	8(5)	29(18)	120(74)	-(-)
	50歳代	170(100)	11(6)	14(8)	29(17)	115(68)	1(1)
	60歳代	243(100)	16(7)	15(6)	62(26)	142(58)	8(3)
	70歳以上	318(100)	34(11)	48(15)	88(28)	127(40)	21(7)
3(3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	70(6)	97(9)	238(22)	663(60)	31(3)
	幡山地区	336(100)	14(4)	25(7)	74(22)	208(62)	15(4)
	今村地区	216(100)	36(17)	37(17)	30(14)	111(51)	2(1)
	赤津地区	26(100)	-(-)	2(8)	7(27)	17(65)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	8(5)	8(5)	40(24)	104(63)	5(3)
	水野地区	269(100)	8(3)	19(7)	65(24)	168(62)	9(3)
	品野地区	87(100)	4(5)	6(7)	22(25)	55(63)	-(-)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	69(6)	96(9)	239(22)	663(60)	31(3)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	32(9)	37(10)	92(25)	200(54)	10(3)
	転入してきた	601(100)	25(4)	45(7)	118(20)	395(66)	18(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	12(10)	14(11)	29(23)	68(54)	3(2)
3(1) あなたとやきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	66(6)	94(9)	238(22)	659(61)	29(3)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	19(10)	23(12)	55(29)	81(42)	14(7)
	趣味がやきものである	24(100)	3(13)	3(13)	8(33)	9(38)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	15(4)	32(9)	80(23)	219(63)	4(1)
生活で使う程度	520(100)	29(6)	36(7)	95(18)	350(67)	10(2)	
3(3)⑤居住年数	合計	1105(100)	69(6)	96(9)	242(22)	667(60)	31(3)
	10年未満	101(100)	1(1)	4(4)	11(11)	85(84)	-(-)
	10～19年	158(100)	3(2)	13(8)	16(10)	122(77)	4(3)
	20～29年	159(100)	4(3)	6(4)	25(16)	123(77)	1(1)
	30～39年	175(100)	10(6)	16(9)	48(27)	94(54)	7(4)
	40年以上	512(100)	51(10)	57(11)	142(28)	243(47)	19(4)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑭ 殿様街道

- ・認知度は31%です。
- ・年齢別の60歳未満の7割以上の人、そして居住年数別の10年未満の9割の人が「知らない」と回答している点が特に特徴的です。最近10年以内に瀬戸に引っ越してきた人は殿様街道を知る機会がほとんどなかったようです。

度数(%)		1(6) ◎殿様街道					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	62(6)	61(6)	212(19)	713(65)	45(4)
	男性	487(100)	40(8)	26(5)	96(20)	305(63)	20(4)
	女性	606(100)	22(4)	35(6)	116(19)	408(67)	25(4)
3(3)◎年 齢	合計	1104(100)	63(6)	62(6)	215(19)	716(65)	48(4)
	30歳未満	103(100)	3(3)	1(1)	20(19)	77(75)	2(2)
	30歳代	107(100)	1(1)	2(2)	19(18)	85(79)	-(-)
	40歳代	163(100)	4(2)	5(3)	27(17)	126(77)	1(1)
	50歳代	170(100)	8(5)	7(4)	27(16)	127(75)	1(1)
	60歳代	243(100)	13(5)	15(6)	61(25)	142(58)	12(5)
	70歳以上	318(100)	34(11)	32(10)	61(19)	159(50)	32(10)
3(3) ◎住まい の連区(歴史 地区)	合計	1099(100)	63(6)	62(6)	214(19)	712(65)	48(4)
	幡山地区	336(100)	9(3)	12(4)	62(18)	232(69)	21(6)
	今村地区	216(100)	8(4)	15(7)	38(18)	152(70)	3(1)
	赤津地区	26(100)	1(4)	-(-)	7(27)	18(69)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	4(2)	7(4)	29(18)	119(72)	6(4)
	水野地区	269(100)	34(13)	24(9)	55(20)	144(54)	12(4)
	品野地区	87(100)	7(8)	4(5)	23(26)	47(54)	6(7)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	63(6)	61(6)	214(19)	712(65)	48(4)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	32(9)	20(5)	89(24)	212(57)	18(5)
	転入してきた	601(100)	22(4)	33(5)	98(16)	425(71)	23(4)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	9(7)	8(6)	27(21)	75(60)	7(6)
3(1) あなた と「やき もの」の 関わり を覚えて ください。	合計	1086(100)	61(6)	60(6)	212(20)	708(65)	45(4)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	17(9)	19(10)	39(20)	97(51)	20(10)
	趣味がやきものである	24(100)	2(8)	2(8)	6(25)	12(50)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	18(5)	14(4)	79(23)	230(66)	9(3)
生活で使う程度	520(100)	24(5)	25(5)	88(17)	369(71)	14(3)	
3(3)◎居 住年数	合計	1105(100)	63(6)	61(6)	215(19)	718(65)	48(4)
	10年未満	101(100)	-(-)	-(-)	10(10)	91(90)	-(-)
	10～19年	158(100)	5(3)	5(3)	21(13)	118(75)	9(6)
	20～29年	159(100)	5(3)	6(4)	25(16)	121(76)	2(1)
	30～39年	175(100)	3(2)	6(3)	39(22)	116(66)	11(6)
	40年以上	512(100)	50(10)	44(9)	120(23)	272(53)	26(5)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑮ 本地大塚古墳

- ・認知度は28%です。
- ・70歳以上の人や、40年以上居住年数がある人であっても「よく知っている」と答えた人は1桁の割合にとどまります。
- ・地区別にみると、幡山地区の人は相対的には「よく知っている」割合が高い結果ですが、それでもわずか11%という結果でした。

度数(%)		1 (6) ⑮本地大塚古墳					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	54(5)	74(7)	180(16)	748(68)	37(3)
	男性	487(100)	33(7)	41(8)	89(18)	307(63)	17(3)
	女性	606(100)	21(3)	33(5)	91(15)	441(73)	20(3)
3 (3) ②年齢	合計	1104(100)	55(5)	76(7)	184(17)	750(68)	39(4)
	30歳未満	103(100)	5(5)	10(10)	11(11)	75(73)	2(2)
	30歳代	107(100)	5(5)	6(6)	17(16)	79(74)	-(-)
	40歳代	163(100)	3(2)	11(7)	21(13)	127(78)	1(1)
	50歳代	170(100)	7(4)	11(6)	31(18)	119(70)	2(1)
	60歳代	243(100)	12(5)	14(6)	41(17)	169(70)	7(3)
	70歳以上	318(100)	23(7)	24(8)	63(20)	181(57)	27(8)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	55(5)	75(7)	184(17)	746(68)	39(4)
	幡山地区	336(100)	38(11)	36(11)	64(19)	182(54)	16(5)
	今村地区	216(100)	4(2)	22(10)	31(14)	152(70)	7(3)
	赤津地区	26(100)	1(4)	1(4)	2(8)	21(81)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	2(1)	5(3)	31(19)	122(74)	5(3)
	水野地区	269(100)	8(3)	9(3)	41(15)	201(75)	10(4)
	品野地区	87(100)	2(2)	2(2)	15(17)	68(78)	-(-)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	55(5)	76(7)	183(17)	745(68)	39(4)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	26(7)	23(6)	68(18)	235(63)	19(5)
	転入してきた	601(100)	20(3)	39(6)	93(15)	431(72)	18(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	9(7)	14(11)	22(17)	79(63)	2(2)
3 (1) ①あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	52(5)	75(7)	181(17)	743(68)	35(3)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	3(5)	11(6)	37(19)	115(60)	20(10)
	趣味がやきものである	24(100)	1(4)	3(13)	7(29)	11(46)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	17(5)	27(8)	66(19)	234(67)	6(2)
	生活で使う程度	520(100)	25(5)	34(7)	71(14)	383(74)	7(1)
3 (3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	55(5)	76(7)	184(17)	751(68)	39(4)
	10年未満	101(100)	4(4)	2(2)	11(11)	83(82)	1(1)
	10～19年	158(100)	5(3)	13(8)	18(11)	120(76)	2(1)
	20～29年	159(100)	5(3)	10(6)	21(13)	120(75)	3(2)
	30～39年	175(100)	12(7)	14(8)	31(18)	112(64)	6(3)
	40年以上	512(100)	29(6)	37(7)	103(20)	316(62)	27(5)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑬ 小長曾陶器窯跡

- ・認知度は24%と対象とした文化財の中で最も低くなっています。
- ・年齢別にみると、50歳未満の人に至っては、「よく知っている」人が全くおらず、特に40歳代は「知らない」人が9割になります。
- ・居住年数別にみると「10年未満」の92%の人が「知らない」と答えています。最近10年の間で転入してきた人には知る機会がほとんどないようです。

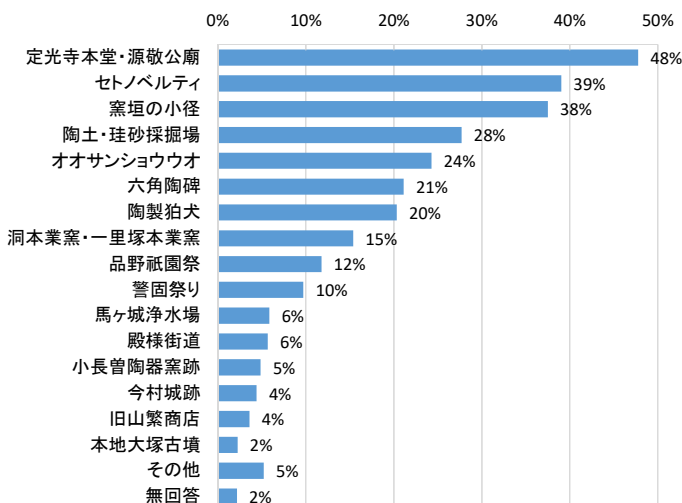
度数(%)		1 (6) ⑬小長曾陶器窯跡					
		合計	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	31(3)	42(4)	187(17)	806(74)	27(2)
	男性	487(100)	25(5)	24(5)	110(23)	315(65)	13(3)
	女性	606(100)	6(1)	18(3)	77(13)	491(81)	14(2)
3 (3) ②年齢	合計	1104(100)	34(3)	42(4)	191(17)	809(73)	28(3)
	30歳未満	103(100)	-(-)	5(5)	14(14)	83(81)	1(1)
	30歳代	107(100)	-(-)	2(2)	17(16)	88(82)	-(-)
	40歳代	163(100)	-(-)	1(1)	15(9)	146(90)	1(1)
	50歳代	170(100)	1(1)	3(2)	27(16)	138(81)	1(1)
	60歳代	243(100)	9(4)	8(3)	53(22)	169(70)	4(2)
	70歳以上	318(100)	24(8)	23(7)	65(20)	185(58)	21(7)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	34(3)	42(4)	190(17)	805(73)	28(3)
	幡山地区	336(100)	10(3)	10(3)	56(17)	245(73)	15(4)
	今村地区	216(100)	3(1)	15(7)	23(11)	172(80)	3(1)
	赤津地区	26(100)	3(12)	3(12)	9(35)	11(42)	-(-)
	瀬戸地区	165(100)	3(2)	8(5)	34(21)	116(70)	4(2)
	水野地区	269(100)	11(4)	6(2)	47(17)	199(74)	6(2)
	品野地区	87(100)	4(5)	-(-)	21(24)	62(71)	-(-)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	33(3)	41(4)	190(17)	806(73)	28(3)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	19(5)	17(5)	87(23)	238(64)	10(3)
	転入してきた	601(100)	9(1)	18(3)	80(13)	478(80)	16(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	5(4)	6(5)	23(18)	90(71)	2(2)
3 (1) ⑤あなたとやきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	32(3)	42(4)	187(17)	800(74)	25(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	13(7)	13(7)	48(25)	105(55)	13(7)
	趣味がやきものである	24(100)	1(4)	4(17)	6(25)	12(50)	1(4)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	5(1)	13(4)	67(19)	263(75)	2(1)
生活で使う程度	520(100)	13(3)	12(2)	66(13)	420(81)	9(2)	
3 (3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	33(3)	42(4)	190(17)	812(73)	28(3)
	10年未満	101(100)	1(1)	-(-)	7(7)	93(92)	-(-)
	10～19年	158(100)	-(-)	6(4)	17(11)	133(84)	2(1)
	20～29年	159(100)	-(-)	5(3)	26(16)	127(80)	1(1)
	30～39年	175(100)	7(4)	9(5)	21(12)	132(75)	6(3)
	40年以上	512(100)	25(5)	22(4)	119(23)	327(64)	18(4)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

(8) 瀬戸らしい文化財・文化遺産として人にPRしたいもの

瀬戸らしい文化財・文化遺産として、人にPRしたいものはどれですか。【3つに〇】

- ・瀬戸らしい文化財・文化遺産として人にPRしたいものとしては、「定光寺本堂・源敬公廟」が48%と最も高く、次いで「セトノベルティ」39%、「窯垣の小径」38%となっています。
- ・性別で比較すると、男性に比べ女性の方が「窯垣の小径」をPRしたいと回答する割合が12ポイント高くなりました。「陶製狛犬」「オオサンショウウオ」は30歳未満の若い世代から評価が高く、平均値を12ポイント程度上回っています。
- ・その他(58人)の内容は、「末広商店街」「駅前銀座商店街」「図書館」「陶壁」「瀬戸古墳群」「海上の森」「猿投山」「陶芸作家」「尾張瀬戸からの川沿いの風景」などでした。



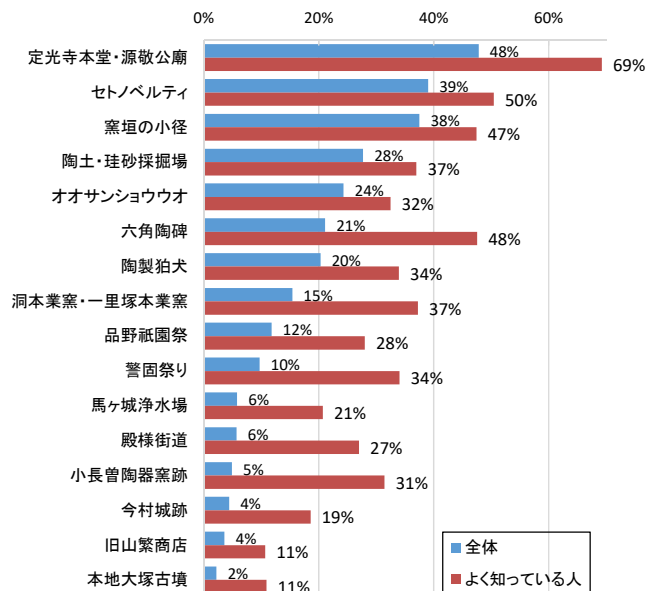
1 (7) 瀬戸らしい文化財・文化遺産として、人にPRしたいものほどれですか。

度数(%)		1 (7) 瀬戸らしい文化財・文化遺産として、人にPRしたいものほどれですか。																		
		合計	定光寺本堂・源敬公廟	旧山繁商店	洞本業窯・一里塚本業窯	馬ヶ城浄水場	小長曾陶器窯跡	本地大塚古墳	今村城跡	殿様街道	陶製狛犬	六角陶碑	セトノベルティ	警固祭り	品野祇園祭	窯垣の小径	オオサンショウウオ	陶土・珪砂採掘場	その他	無回答
3 (3) ①性別	合計	1089(100)	522(48)	39(4)	168(15)	64(6)	58(5)	24(2)	49(4)	62(6)	224(20)	229(21)	428(39)	105(10)	127(12)	412(38)	267(24)	306(28)	57(5)	23(2)
	男性	487(100)	252(52)	15(3)	81(17)	24(5)	38(8)	12(2)	31(6)	29(6)	92(19)	111(23)	171(35)	55(11)	60(12)	150(31)	125(26)	144(30)	28(6)	9(2)
	女性	606(100)	270(45)	24(4)	87(14)	40(7)	15(2)	12(2)	18(3)	33(5)	132(22)	118(19)	257(42)	50(8)	67(11)	262(43)	142(23)	162(27)	29(5)	14(2)
3 (3) ②年齢	合計	1104(100)	527(48)	40(4)	170(15)	65(6)	58(5)	25(2)	49(4)	63(6)	225(20)	234(21)	430(39)	106(10)	131(12)	414(38)	267(24)	306(28)	57(5)	24(2)
	30歳未満	103(100)	41(40)	2(2)	14(14)	3(3)	6(6)	5(5)	5(5)	3(3)	34(33)	9(9)	37(36)	7(7)	21(20)	35(34)	37(36)	21(20)	3(3)	4(4)
	30歳代	107(100)	40(37)	6(6)	14(13)	2(2)	5(5)	3(3)	4(4)	5(5)	23(21)	17(16)	44(41)	11(10)	19(18)	38(36)	18(17)	27(25)	11(10)	2(2)
	40歳代	163(100)	73(45)	5(3)	30(18)	7(4)	9(6)	6(4)	6(4)	8(5)	25(15)	20(12)	76(47)	12(7)	16(10)	61(37)	50(31)	48(29)	10(6)	2(1)
	50歳代	170(100)	75(44)	4(2)	23(14)	8(5)	5(3)	2(1)	5(3)	8(5)	30(18)	28(16)	71(42)	22(13)	14(8)	64(38)	43(25)	57(34)	15(9)	3(2)
	60歳代	243(100)	123(51)	11(5)	39(16)	15(6)	8(3)	1(0)	7(3)	16(7)	45(19)	61(25)	95(39)	30(12)	28(12)	96(40)	62(26)	68(28)	5(2)	6(2)
	70歳以上	318(100)	175(55)	12(4)	50(16)	30(9)	20(6)	8(3)	22(7)	23(7)	68(21)	39(12)	107(34)	24(8)	33(10)	120(38)	51(16)	85(27)	13(4)	7(2)
3 (3) ③住まいの地域(歴史地区)	合計	1089(100)	520(47)	40(4)	171(16)	65(6)	58(5)	24(2)	49(4)	63(6)	223(20)	233(21)	430(39)	107(10)	131(12)	409(37)	263(24)	306(28)	57(5)	24(2)
	権山地区	336(100)	147(44)	8(2)	49(15)	21(6)	14(4)	12(4)	10(3)	11(3)	68(20)	69(21)	125(37)	78(23)	25(7)	112(33)	89(26)	89(26)	21(6)	7(2)
	今村地区	216(100)	102(47)	12(6)	30(14)	14(6)	12(6)	3(1)	19(9)	10(5)	44(20)	38(18)	101(47)	10(5)	22(10)	91(42)	48(22)	57(26)	11(5)	3(1)
	赤津地区	26(100)	3(35)	-(-)	7(27)	2(8)	3(12)	1(4)	-(-)	1(4)	6(23)	7(27)	8(31)	2(8)	2(8)	11(42)	3(12)	8(31)	1(4)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	62(38)	2(1)	39(24)	19(8)	8(5)	1(1)	5(3)	3(2)	33(20)	38(23)	69(42)	7(4)	14(8)	70(42)	26(16)	64(39)	8(4)	5(3)
	水野地区	269(100)	162(60)	14(5)	39(14)	11(4)	10(4)	7(3)	11(4)	30(11)	54(20)	52(19)	109(38)	8(3)	28(10)	99(37)	75(28)	69(26)	16(6)	6(2)
品野地区	87(100)	38(44)	4(5)	7(8)	4(5)	6(7)	-(-)	4(5)	8(9)	18(21)	29(33)	24(28)	2(2)	40(46)	26(30)	23(26)	19(22)	2(2)	2(2)	
3 (3) ④居住歴	合計	1089(100)	522(48)	39(4)	169(15)	65(6)	52(5)	25(2)	49(4)	63(6)	224(20)	233(21)	431(39)	106(10)	129(12)	412(38)	266(24)	306(28)	56(5)	23(2)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	175(47)	15(4)	66(18)	29(8)	17(5)	9(2)	12(3)	15(4)	102(27)	99(27)	151(41)	36(10)	52(14)	122(33)	89(24)	111(30)	11(3)	8(2)
	転入してきた	601(100)	208(40)	20(3)	86(14)	31(5)	23(4)	13(2)	31(5)	43(7)	96(16)	112(19)	233(39)	58(10)	65(11)	235(39)	148(24)	170(28)	38(6)	10(2)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	61(48)	4(3)	17(13)	5(4)	12(10)	3(2)	6(5)	5(4)	26(21)	22(17)	47(37)	12(10)	12(10)	55(44)	31(25)	25(20)	7(6)	5(4)
3 (3) ⑤あなたと、やきもの関わりを教えてください	合計	1088(100)	519(48)	39(4)	168(15)	64(6)	59(5)	24(2)	47(4)	62(6)	216(20)	228(21)	430(40)	106(10)	128(12)	408(38)	266(24)	302(28)	55(5)	22(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	92(48)	11(6)	28(15)	19(7)	8(4)	5(3)	16(8)	9(5)	35(18)	66(34)	87(45)	9(5)	22(11)	70(36)	37(19)	57(30)	7(4)	4(2)
	趣味がやきものである	24(100)	18(87)	4(17)	4(17)	3(13)	2(8)	-(-)	-(-)	-(-)	4(17)	9(38)	5(21)	1(4)	3(13)	12(50)	4(17)	5(21)	-(-)	-(-)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	150(43)	10(3)	60(17)	28(8)	13(4)	8(2)	18(4)	18(5)	74(21)	62(18)	149(41)	38(11)	51(15)	142(41)	91(26)	97(28)	19(5)	5(1)
生活で使う程度	520(100)	261(50)	14(3)	76(15)	20(4)	30(6)	11(2)	16(3)	35(7)	103(20)	91(18)	195(38)	57(11)	52(10)	184(35)	134(26)	143(28)	29(6)	13(3)	
3 (3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	525(48)	39(4)	171(15)	65(6)	59(5)	25(2)	48(4)	63(6)	228(20)	234(21)	432(39)	107(10)	130(12)	415(38)	268(24)	307(28)	57(5)	24(2)
	10年未満	101(100)	41(41)	5(5)	16(16)	1(1)	5(5)	4(4)	8(8)	3(3)	15(15)	13(13)	36(36)	7(7)	18(18)	34(34)	24(24)	21(21)	9(9)	3(3)
	10～19年	158(100)	72(46)	6(4)	28(18)	8(5)	9(6)	4(3)	3(2)	15(9)	31(20)	19(12)	66(42)	13(8)	13(8)	66(42)	49(31)	41(26)	9(6)	3(2)
	20～29年	159(100)	73(46)	3(2)	21(13)	7(4)	6(4)	6(4)	3(2)	8(5)	35(22)	22(14)	59(37)	18(11)	19(12)	66(42)	48(30)	39(25)	10(6)	2(1)
	30～39年	175(100)	81(46)	7(4)	23(13)	11(6)	8(5)	2(1)	6(3)	3(2)	41(23)	37(21)	69(39)	22(13)	16(9)	71(41)	43(25)	55(31)	10(6)	1(1)
	40年以上	512(100)	258(50)	18(4)	83(16)	38(7)	25(5)	9(2)	28(5)	28(5)	104(20)	143(28)	202(39)	47(9)	64(13)	178(35)	104(20)	151(29)	19(4)	15(3)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

参考資料1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

- ・「よく知っている」と回答した人だけに着目し、人にPRしたいものとしてあげた人の割合をみると、「定光寺本堂・源敬公廟」69%、「セトノベルティ」50%、「窯垣の小径」47%となり、全体よりもその割合は高くなります。また、「六角陶碑」は「よく知っている」人の48%がPRしたいものとしてあげており、窯垣の小径よりも多くなっています。
- ・なお、「旧山繁商店」及び「本地大塚古墳」は、よく知っている人でもPRしたいものとしてあげた人は11%に留まっている状況です。



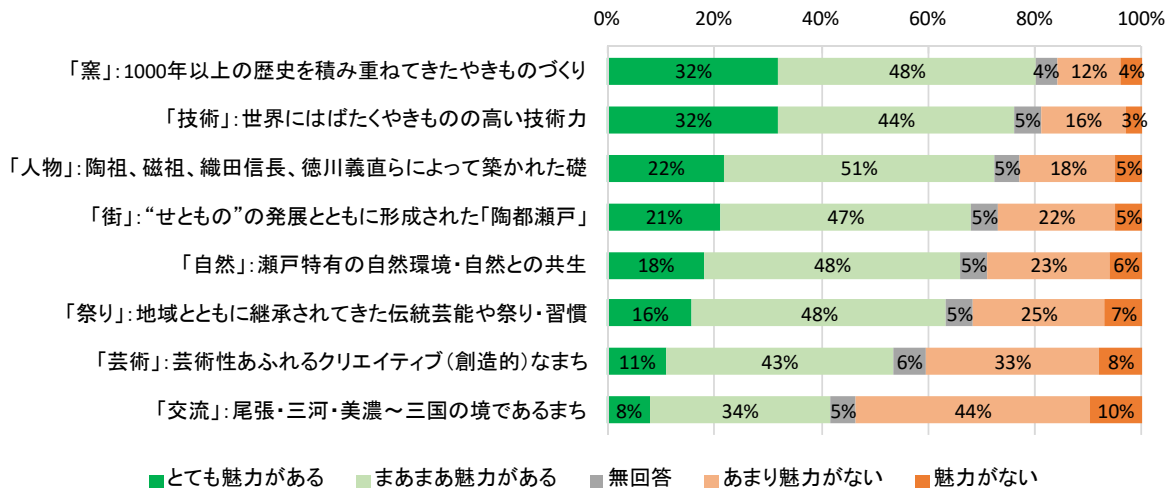
	「よく知っている」と回答した数	「PRしたい」と回答した数	よく知っている人を母数としたPRしたい人の割合	全体
定光寺本堂・源敬公廟	182	126	69%	48%
セトノベルティ	335	169	50%	39%
窯垣の小径	234	111	47%	38%
陶土・珪砂採掘場	303	112	37%	28%
オオサンショウウオ	228	74	32%	24%
六角陶碑	204	97	48%	21%
陶製狛犬	224	76	34%	20%
洞本業窯・一里塚本業窯	102	38	37%	15%
品野祇園祭	207	58	28%	12%
警固祭り	141	48	34%	10%
馬ヶ城浄水場	87	18	21%	6%
殿様街道	63	17	27%	6%
小長曾陶器窯跡	35	11	31%	5%
今村城跡	70	13	19%	4%
旧山繁商店	75	8	11%	4%
本地大塚古墳	55	6	11%	2%

4 歴史文化ストーリー

(1) ストーリーの魅力度

別紙「瀬戸市における歴史文化ストーリーの素材」をご一読いただき、それぞれの素材について魅力があると思いますか。【それぞれ1つに〇】

- ・「窯」についてのストーリーが魅力に関して一番高い評価を受けた結果でした。「とても魅力がある」「まあまあ魅力がある」のいずれかに回答した人が、全体の80%となっています。2番目に高い評価を受けたのが「技術」であり、魅力を感じている人の割合が76%となっています。
- ・一方で、「交流」「芸術」はあまり魅力を感じてもらえなかったようで、「魅力がない」「あまり魅力がない」と回答した人の合計が、4～5割となっています。



① 「窯」：1000年以上の歴史を積み重ねてきたやきものづくり

- ・「とても魅力がある」「まあまあ魅力がある」と回答した人の割合の合計（以下「魅力度」という）は80%です。
- ・年齢別にみると、30歳未満の若い世代と、間を置いて70歳以上の年配の世代の「とても魅力がある」がそれぞれ39%、37%となり高い割合となりました。
- ・やきものとの関係別でみると、「生活で使う程度」の人の魅力度は76%にとどまり、相対的には低い値となっています。

度数(%)		2(1)①窯					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3(3)①性別	合計	1093(100)	354(32)	520(48)	130(12)	44(4)	45(4)
	男性	487(100)	148(30)	233(48)	70(14)	19(4)	17(3)
	女性	606(100)	206(34)	287(47)	60(10)	25(4)	28(5)
3(3)②年齢	合計	1104(100)	360(33)	522(47)	131(12)	45(4)	46(4)
	30歳未満	103(100)	40(39)	42(41)	12(12)	6(6)	3(3)
	30歳代	107(100)	31(29)	57(53)	13(12)	5(5)	1(1)
	40歳代	163(100)	46(28)	85(52)	23(14)	8(5)	1(1)
	50歳代	170(100)	52(31)	86(51)	21(12)	9(5)	2(1)
	60歳代	243(100)	73(30)	124(51)	33(14)	5(2)	8(3)
	70歳以上	318(100)	118(37)	128(40)	29(9)	12(4)	31(10)
3(3)③住まいの歴史地区(瀬戸地区)	合計	1099(100)	359(33)	518(47)	131(12)	45(4)	46(4)
	幡山地区	336(100)	101(30)	154(46)	50(15)	18(5)	13(4)
	今村地区	216(100)	79(37)	100(46)	19(9)	11(5)	7(3)
	赤津地区	26(100)	10(38)	12(46)	2(8)	1(4)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	63(38)	71(43)	18(11)	4(2)	9(5)
	水野地区	269(100)	78(29)	140(52)	31(12)	9(3)	11(4)
	品野地区	87(100)	28(32)	41(47)	11(13)	2(2)	5(6)
3(3)④居住歴	合計	1098(100)	360(33)	517(47)	130(12)	45(4)	46(4)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	138(37)	166(45)	41(11)	12(3)	14(4)
	転入してきた	601(100)	174(29)	294(49)	81(13)	24(4)	28(5)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	48(38)	57(45)	8(6)	9(7)	4(3)
3(1)あなたとやきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	358(33)	516(48)	127(12)	43(4)	42(4)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	87(45)	69(36)	16(8)	6(3)	14(7)
	趣味がやきものである	24(100)	8(33)	12(50)	1(4)	1(4)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	140(40)	163(47)	33(9)	8(2)	6(2)
生活で使う程度	520(100)	123(24)	272(52)	77(15)	28(5)	20(4)	
3(3)⑤居住年数	合計	1105(100)	360(33)	522(47)	131(12)	45(4)	47(4)
	10年未満	101(100)	24(24)	58(57)	12(12)	5(5)	2(2)
	10～19年	158(100)	49(31)	83(53)	20(13)	4(3)	2(1)
	20～29年	159(100)	55(35)	67(42)	21(13)	11(7)	5(3)
	30～39年	175(100)	49(28)	94(54)	20(11)	6(3)	6(3)
	40年以上	512(100)	183(36)	220(43)	58(11)	19(4)	32(6)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

② 「技術」：世界にはばたくやきもの高い技術力

- ・魅力度は76%です。
- ・年齢別にみると、30歳未満の魅力度は80%となり、平均よりも高い数値でした。また、30歳代と40歳代の「とても魅力がある」と回答した割合がそれぞれ24%、25%となり、平均を下回っていることも特徴的です。

度数(%)		2(1) ④技術					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3(3) ①性別	合計	1099(100)	349(32)	479(44)	174(16)	37(3)	54(5)
	男性	487(100)	147(30)	211(43)	93(19)	17(3)	19(4)
	女性	606(100)	202(33)	268(44)	81(13)	20(3)	35(6)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	354(32)	482(44)	176(16)	39(4)	53(5)
	30歳未満	103(100)	41(40)	41(40)	15(15)	3(3)	3(3)
	30歳代	107(100)	26(24)	53(50)	23(21)	4(4)	1(1)
	40歳代	163(100)	41(25)	85(52)	30(18)	5(3)	2(1)
	50歳代	170(100)	58(34)	74(44)	29(17)	6(4)	3(2)
	60歳代	243(100)	76(31)	111(46)	43(18)	6(2)	7(3)
	70歳以上	318(100)	112(35)	118(37)	36(11)	15(5)	37(12)
3(3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	352(32)	481(44)	174(16)	39(4)	53(5)
	幡山地区	336(100)	105(31)	148(44)	55(16)	11(3)	17(5)
	今村地区	216(100)	72(33)	95(44)	34(16)	8(4)	7(3)
	赤津地区	26(100)	7(27)	13(50)	4(15)	1(4)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	64(39)	86(40)	18(11)	8(5)	9(5)
	水野地区	269(100)	82(30)	118(44)	48(18)	9(3)	12(4)
	品野地区	87(100)	22(25)	41(47)	15(17)	2(2)	7(8)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	353(32)	481(44)	172(16)	39(4)	53(5)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	145(39)	142(38)	52(14)	13(4)	19(5)
	転入してきた	601(100)	161(27)	290(48)	99(16)	22(4)	29(5)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	47(37)	49(39)	21(17)	4(3)	5(4)
3(1) ⑤あなたも「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	350(32)	476(44)	175(16)	37(3)	48(4)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	73(38)	74(39)	20(10)	8(4)	17(9)
	趣味がやきものである	24(100)	11(46)	8(33)	3(13)	-(-)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	134(38)	156(45)	50(14)	4(1)	6(2)
	生活で使う程度	520(100)	132(25)	238(46)	102(20)	25(5)	23(4)
3(3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	352(32)	484(44)	176(16)	39(4)	54(5)
	10年未満	101(100)	23(23)	53(52)	18(18)	4(4)	3(3)
	10～19年	158(100)	47(30)	81(51)	25(16)	3(2)	2(1)
	20～29年	159(100)	49(31)	75(47)	25(16)	6(4)	4(3)
	30～39年	175(100)	45(26)	77(44)	38(22)	6(3)	9(5)
	40年以上	512(100)	188(37)	198(39)	70(14)	20(4)	36(7)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

③ 「人物」：陶祖、磁祖、織田信長、徳川義直らによって築かれた礎

- ・魅力度は73%です。
- ・年齢別にみると、30歳未満の魅力度の合計値が64%で、他の世代と比べて一番低い値ですが、「とても魅力がある」だけに着目すると70歳以上の29%に次いで2番目に値の大きい25%を占めます。他の世代に比べ、好き嫌いが分かれる素材であったと思われます。
- ・やきものとの関係別にみると、「生活で使う程度」の人の27%が「魅力がない」「あまり魅力がない」と感じており、やきものとの関わりが薄くなるほど魅力がないと感じる傾向がみられます。

度数(%)		2(1) ②人物					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3(3) ①性別	合計	1099(100)	241(22)	552(51)	194(18)	52(5)	54(5)
	男性	487(100)	113(23)	240(49)	90(18)	25(5)	19(4)
	女性	606(100)	128(21)	312(51)	104(17)	27(4)	35(6)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	244(22)	557(50)	195(18)	53(5)	55(5)
	30歳未満	103(100)	26(25)	40(39)	24(23)	10(10)	3(3)
	30歳代	107(100)	20(19)	59(55)	22(21)	5(5)	1(1)
	40歳代	163(100)	31(19)	88(54)	34(21)	9(6)	1(1)
	50歳代	170(100)	35(21)	92(54)	30(18)	10(6)	3(2)
	60歳代	243(100)	40(16)	143(59)	43(18)	6(2)	11(5)
	70歳以上	318(100)	92(29)	135(42)	42(13)	13(4)	36(11)
3(3) ③住まいの通区(歴史地区)	合計	1099(100)	244(22)	551(50)	196(18)	53(5)	55(5)
	礪山地区	336(100)	60(18)	182(54)	58(17)	20(6)	16(5)
	今村地区	216(100)	58(27)	94(44)	40(19)	16(7)	8(4)
	赤津地区	26(100)	5(19)	13(50)	5(19)	-(-)	3(12)
	瀬戸地区	165(100)	38(23)	81(49)	28(17)	7(4)	11(7)
	水野地区	269(100)	59(22)	144(54)	48(18)	7(3)	11(4)
	品野地区	87(100)	24(28)	37(43)	17(20)	3(3)	6(7)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	244(22)	550(50)	196(18)	53(5)	55(5)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	95(26)	172(46)	64(17)	21(6)	19(5)
	転入してきた	601(100)	120(20)	312(52)	113(19)	25(4)	31(5)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	29(23)	66(52)	19(15)	7(6)	5(4)
3(1) ⑤あなたとやきもの関わりを教えてください。	合計	1088(100)	240(22)	551(51)	193(18)	52(5)	50(5)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	54(28)	89(46)	21(11)	10(5)	18(9)
	趣味がやきものである	24(100)	9(38)	7(29)	5(21)	-(-)	3(13)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	83(24)	190(54)	57(16)	13(4)	7(2)
生活で使う程度	520(100)	94(18)	265(51)	110(21)	29(6)	22(4)	
3(3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	243(22)	557(50)	196(18)	53(5)	56(5)
	10年未満	101(100)	17(17)	55(54)	21(21)	6(6)	2(2)
	10～19年	158(100)	28(18)	92(58)	28(18)	8(5)	2(1)
	20～29年	159(100)	36(23)	74(47)	32(20)	11(7)	6(4)
	30～39年	175(100)	30(17)	96(55)	31(18)	8(5)	10(6)
	40年以上	512(100)	132(26)	240(47)	84(16)	20(4)	36(7)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

④ 「街」：「せともの」の発展とともに形成された「陶都瀬戸」

- ・魅力度は68%です。
- ・年齢別にみると、若い世代ほど評価が高くなる傾向がありますが、30歳未満に着目すると、「とても魅力がある」と回答する割合が特に高く、平均値より14ポイント高い35%となります。
- ・居住年数別にみると、10年未満と回答した人の「とても魅力がある」と回答した割合が27%となり一番高いことが特徴的です。居住年数が短い人にとっても、素材は魅力的に感じられるようです。

度数(%)		2 (1) ◎街					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3 (3) ①性別	合計	1093(100)	233(21)	511(47)	242(22)	55(5)	52(5)
	男性	487(100)	100(21)	220(45)	121(25)	25(5)	21(4)
	女性	606(100)	133(22)	291(48)	121(20)	30(5)	31(5)
3 (3) ②年齢	合計	1104(100)	237(21)	517(47)	242(22)	56(5)	52(5)
	30歳未満	103(100)	36(35)	36(35)	24(23)	4(4)	3(3)
	30歳代	107(100)	21(20)	61(57)	19(18)	5(5)	1(1)
	40歳代	163(100)	33(20)	82(50)	38(23)	8(5)	2(1)
	50歳代	170(100)	34(20)	83(49)	40(24)	10(6)	3(2)
	60歳代	243(100)	48(20)	112(46)	63(26)	8(3)	12(5)
	70歳以上	318(100)	65(20)	143(45)	58(18)	21(7)	31(10)
3 (3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	236(21)	514(47)	241(22)	56(5)	52(5)
	礪山地区	336(100)	68(20)	154(46)	79(24)	17(5)	18(5)
	今村地区	216(100)	57(26)	105(49)	39(18)	7(3)	8(4)
	赤津地区	26(100)	7(27)	13(50)	5(19)	1(4)	- (-)
	瀬戸地区	165(100)	37(22)	73(44)	33(20)	11(7)	11(7)
	水野地区	269(100)	49(18)	131(49)	65(24)	15(6)	9(3)
	品野地区	87(100)	18(21)	38(44)	20(23)	5(6)	6(7)
3 (3) ④居住歴	合計	1098(100)	237(22)	514(47)	240(22)	55(5)	52(5)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	87(23)	167(45)	78(21)	19(5)	20(5)
	転入してきた	601(100)	126(21)	285(47)	132(22)	30(5)	28(5)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	24(19)	62(49)	30(24)	6(5)	4(3)
3 (1) あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	236(22)	513(47)	236(22)	54(5)	47(4)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	49(26)	87(45)	31(16)	11(6)	14(7)
	趣味がやきものである	24(100)	5(21)	12(50)	5(21)	- (-)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	90(26)	181(52)	64(18)	8(2)	7(2)
	生活で使う程度	520(100)	92(18)	233(45)	136(26)	35(7)	24(5)
3 (3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	238(22)	516(47)	242(22)	56(5)	53(5)
	10年未満	101(100)	27(27)	45(45)	20(20)	6(6)	3(3)
	10～19年	158(100)	29(18)	89(56)	32(20)	4(3)	4(3)
	20～29年	159(100)	42(26)	65(41)	41(26)	7(4)	4(3)
	30～39年	175(100)	31(18)	88(50)	38(22)	9(5)	9(5)
	40年以上	512(100)	109(21)	229(45)	111(22)	30(6)	33(6)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑤ 「自然」：瀬戸特有の自然環境・自然との共生

- ・魅力度は66%です。
- ・年齢別にみると、30歳未満の人は、「とても魅力がある」と回答する割合が高く、28%を占めます。
- ・居住年数別にみると、「10～19年」「20～29年」と回答した人の「とても魅力がある」と回答した人の割合の平均が24%となり、他の人よりもやや高い割合であることも見受けられます。

度数(%)		2(1)の自然					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3(3)①性別	合計	1099(100)	194(18)	526(48)	256(23)	66(6)	51(5)
	男性	487(100)	78(16)	231(47)	128(26)	32(7)	18(4)
	女性	606(100)	116(19)	295(49)	128(21)	34(6)	33(5)
3(3)②年齢	合計	1104(100)	195(18)	530(48)	261(24)	67(6)	51(5)
	30歳未満	103(100)	29(28)	38(37)	28(27)	5(5)	3(3)
	30歳代	107(100)	18(17)	55(51)	26(24)	6(6)	2(2)
	40歳代	163(100)	34(21)	76(47)	41(25)	11(7)	1(1)
	50歳代	170(100)	33(19)	78(46)	47(28)	10(6)	2(1)
	60歳代	243(100)	23(9)	143(59)	48(20)	19(8)	10(4)
	70歳以上	318(100)	58(18)	140(44)	71(22)	16(5)	33(10)
3(3)③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	194(18)	526(48)	261(24)	67(6)	51(5)
	幡山地区	336(100)	55(16)	160(48)	84(25)	22(7)	15(4)
	今村地区	216(100)	41(19)	100(46)	54(25)	13(6)	8(4)
	赤津地区	26(100)	5(19)	15(58)	3(12)	3(12)	(-)
	瀬戸地区	165(100)	23(18)	77(47)	38(23)	11(7)	10(6)
	水野地区	269(100)	50(19)	126(47)	67(25)	15(6)	11(4)
	品野地区	87(100)	14(16)	48(55)	15(17)	3(3)	7(8)
3(3)④居住歴	合計	1098(100)	194(18)	529(48)	257(23)	67(6)	51(5)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	74(20)	173(47)	86(23)	19(5)	19(5)
	転入してきた	601(100)	102(17)	289(48)	142(24)	38(6)	30(5)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	18(14)	67(53)	29(23)	10(8)	2(2)
3(1)あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	192(18)	525(48)	257(24)	66(6)	46(4)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	31(16)	91(47)	46(24)	9(5)	15(8)
	趣味がやきものである	24(100)	6(25)	11(46)	5(21)	(-)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	71(20)	185(53)	69(20)	18(5)	7(2)
生活で使う程度	520(100)	84(16)	238(46)	137(26)	39(8)	22(4)	
3(3)⑤居住年数	合計	1105(100)	195(18)	531(48)	260(24)	67(6)	52(5)
	10年未満	101(100)	16(16)	47(47)	28(28)	6(6)	4(4)
	10～19年	158(100)	43(27)	69(44)	34(22)	10(6)	2(1)
	20～29年	159(100)	33(21)	75(47)	34(21)	12(8)	5(3)
	30～39年	175(100)	22(13)	93(53)	38(22)	13(7)	9(5)
	40年以上	512(100)	81(16)	247(48)	126(25)	26(5)	32(6)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑥ 「祭り」：地域とともに継承されてきた伝統芸能や祭り・習慣

- ・魅力度は64%です。
- ・年齢別にみると、30歳未満の人が「とても魅力がある」と回答した人の割合が一番高く22%となる一方で、40歳代の人々の割合が一番低い11%にとどまります。若い世代の方が祭に参加する割合が高かったり、それで愛着が出るということも考えられます。
- ・住まいの連区別にみると、品野地区の人々の「とても魅力がある」と回答した人の割合が高く、平均より10ポイント高い26%となります。品野祇園祭の影響が考えられます。

度数(%)		2(1) ◎祭り					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	172(16)	521(48)	273(25)	77(7)	50(5)
	男性	487(100)	74(15)	227(47)	136(28)	34(7)	16(3)
	女性	606(100)	98(16)	294(49)	137(23)	43(7)	34(6)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	177(16)	525(48)	274(25)	78(7)	50(5)
	30歳未満	103(100)	23(22)	44(43)	29(28)	4(4)	3(3)
	30歳代	107(100)	18(17)	50(47)	30(28)	8(7)	1(1)
	40歳代	163(100)	18(11)	87(53)	41(25)	15(9)	2(1)
	50歳代	170(100)	25(15)	83(49)	45(26)	15(9)	2(1)
	60歳代 70歳以上	243(100) 318(100)	31(13) 62(19)	123(51) 138(43)	65(27) 64(20)	15(6) 21(7)	9(4) 33(10)
3(3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	175(16)	524(48)	272(25)	78(7)	50(5)
	幡山地区	338(100)	62(18)	157(47)	84(25)	18(5)	15(4)
	今村地区	216(100)	33(15)	98(45)	57(26)	21(10)	7(3)
	赤津地区	28(100)	4(15)	15(58)	3(12)	3(12)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	21(13)	86(52)	40(24)	8(5)	10(6)
	水野地区	269(100)	32(12)	127(47)	75(28)	24(9)	11(4)
	品野地区	87(100)	23(26)	41(47)	13(15)	4(5)	6(7)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	175(16)	525(48)	271(25)	78(7)	49(4)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	67(18)	176(47)	84(23)	25(7)	19(5)
	転入してきた 市外に転出したが戻ってきた	601(100) 126(100)	94(16) 14(11)	275(46) 74(59)	157(26) 30(24)	48(8) 5(4)	27(4) 3(2)
3(1) あなたと「やきもの」の関わりを教えてください。	合計	1086(100)	173(16)	524(48)	266(24)	77(7)	46(4)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	34(18)	82(43)	47(24)	12(6)	17(9)
	趣味がやきものである	24(100)	6(25)	9(38)	6(25)	1(4)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	68(19)	185(53)	74(21)	16(5)	7(2)
生活で使う程度	520(100)	65(13)	248(48)	139(27)	48(9)	20(4)	
3(3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	176(16)	527(48)	273(25)	78(7)	51(5)
	10年未満	101(100)	16(16)	47(47)	28(28)	8(8)	2(2)
	10～19年	158(100)	25(16)	76(48)	44(28)	10(6)	3(2)
	20～29年	159(100)	27(17)	88(43)	46(29)	13(8)	5(3)
	30～39年 40年以上	175(100) 512(100)	21(12) 87(17)	92(53) 244(48)	41(23) 114(22)	13(7) 34(7)	8(5) 33(6)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑦ 「芸術」：芸術性あふれるクリエイティブ（創造的）なまち

- ・魅力度は54%です。
- ・年齢別にみると30歳未満の人については魅力度が61%で他の年代に比べて一番高い割合で概ね若い世代になるにつれ魅力を感じる割合が高くなる傾向がみえます。
- ・やきものとの関わり別にみると、趣味がやきもの人の「とても魅力がある」と回答した人の割合が29%となり、平均値より18ポイントも高くなっていると同時に、「魅力がない」と回答した人はいませんでした。

度数(%)		2(1) ⑤芸術					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	117(11)	465(43)	366(33)	84(8)	61(6)
	男性	487(100)	43(9)	194(40)	182(37)	46(9)	22(5)
	女性	606(100)	74(12)	271(45)	184(30)	38(6)	39(6)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	117(11)	467(42)	369(33)	88(8)	63(6)
	30歳未満	103(100)	11(11)	52(50)	30(29)	7(7)	3(3)
	30歳代	107(100)	14(13)	42(39)	41(38)	9(8)	1(1)
	40歳代	163(100)	14(9)	79(48)	56(34)	11(7)	3(2)
	50歳代	170(100)	25(15)	67(39)	59(35)	14(8)	5(3)
	60歳代	243(100)	21(9)	111(46)	86(35)	14(6)	11(5)
	70歳以上	318(100)	32(10)	116(36)	97(31)	33(10)	40(13)
3(3) ③住まいの市区(歴史地区)	合計	1099(100)	116(11)	465(42)	367(33)	88(8)	63(6)
	幡山地区	336(100)	27(8)	145(43)	121(36)	25(7)	18(5)
	今村地区	216(100)	22(10)	100(46)	65(30)	17(8)	12(6)
	赤津地区	28(100)	5(19)	9(35)	9(35)	2(8)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	19(12)	75(45)	44(27)	16(10)	11(7)
	水野地区	269(100)	31(12)	106(39)	97(36)	21(8)	14(5)
	品野地区	87(100)	12(14)	30(34)	31(36)	7(8)	7(8)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	117(11)	467(43)	364(33)	87(8)	63(6)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	46(12)	161(43)	107(29)	31(8)	26(7)
	転入してきた	601(100)	62(10)	253(42)	210(35)	44(7)	32(5)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	9(7)	53(42)	47(37)	12(10)	5(4)
3(1) あなたがやきものに関わりを教えてください。	合計	1086(100)	117(11)	463(43)	365(34)	83(8)	58(5)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	25(13)	77(40)	54(28)	13(7)	23(12)
	趣味がやきものである	24(100)	7(29)	10(42)	5(21)	-(-)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	49(14)	160(46)	112(32)	19(5)	10(3)
	生活で使う程度	520(100)	36(7)	216(42)	194(37)	51(10)	23(4)
3(3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	116(10)	468(42)	369(33)	88(8)	64(6)
	10年未満	101(100)	11(11)	39(39)	38(38)	10(10)	3(3)
	10～19年	158(100)	17(11)	83(53)	47(30)	8(5)	3(2)
	20～29年	159(100)	21(13)	64(40)	56(35)	12(8)	6(4)
	30～39年	175(100)	12(7)	71(41)	68(39)	14(8)	10(6)
	40年以上	512(100)	55(11)	211(41)	160(31)	44(9)	42(8)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

⑧ 「交流」：尾張・三河・美濃～三国の境であるまち

- ・魅力度は42%にとどまり、8つあるストーリーの中で唯一半数以下の割合となりました。
- ・やきものとの関わり別でみると、趣味がやきものの人には設問全般で概ね「とても魅力がある」「まあまあ魅力がある」を選択する割合が高い傾向が見られるにも関わらず、本設問においては平均値よりも4ポイント低く、合計しても一番評価の低い37%という割合にとどまっています。

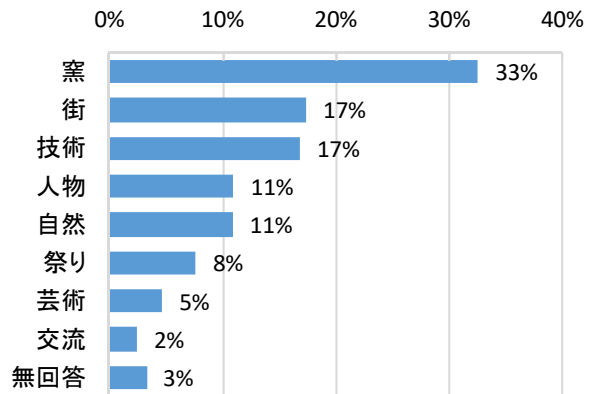
度数(%)		2(1) ⑧交流					
		合計	とても魅力がある	まあまあ魅力がある	あまり魅力がない	魅力がない	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	82(8)	368(34)	482(44)	108(10)	53(5)
	男性	487(100)	36(7)	155(32)	222(46)	53(11)	21(4)
	女性	606(100)	46(8)	213(35)	260(43)	55(9)	32(5)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	83(8)	373(34)	486(44)	109(10)	53(5)
	30歳未満	103(100)	5(5)	35(34)	46(45)	14(14)	3(3)
	30歳代	107(100)	10(9)	27(25)	56(52)	13(12)	1(1)
	40歳代	163(100)	5(3)	55(34)	86(53)	16(10)	1(1)
	50歳代	170(100)	10(6)	57(34)	79(46)	22(13)	2(1)
	60歳代	249(100)	15(6)	90(37)	111(46)	17(7)	10(4)
	70歳以上	318(100)	38(12)	109(34)	108(34)	27(8)	36(11)
3(3) ③住まいの連区(歴史地区)	合計	1099(100)	82(7)	368(33)	486(44)	110(10)	53(5)
	幡山地区	336(100)	24(7)	103(31)	160(48)	34(10)	15(4)
	今村地区	216(100)	20(9)	65(30)	92(43)	28(13)	11(5)
	赤津地区	28(100)	-(-)	14(54)	10(38)	1(4)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	13(8)	58(35)	69(42)	17(10)	8(5)
	水野地区	269(100)	15(6)	95(35)	125(46)	23(9)	11(4)
	品野地区	87(100)	10(11)	33(38)	30(34)	7(8)	7(8)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	83(8)	370(34)	483(44)	109(10)	53(5)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	32(9)	140(38)	147(40)	29(8)	23(6)
	転入してきた	601(100)	44(7)	187(31)	277(46)	66(11)	27(4)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	7(6)	43(34)	59(47)	14(11)	3(2)
3(1) あなたとやきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	80(7)	369(34)	480(44)	108(10)	49(5)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	21(11)	71(37)	65(34)	13(7)	22(11)
	趣味がやきものである	24(100)	2(8)	7(29)	11(46)	2(8)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	25(7)	113(32)	178(51)	29(8)	5(1)
生活で使う程度	520(100)	32(6)	178(34)	226(43)	64(12)	20(4)	
3(3) ⑤居住年数	合計	1105(100)	82(7)	372(34)	487(44)	110(10)	54(5)
	10年未満	101(100)	6(6)	24(24)	57(56)	12(12)	2(2)
	10～19年	158(100)	5(3)	59(37)	77(49)	15(9)	2(1)
	20～29年	159(100)	12(8)	51(32)	73(46)	19(12)	4(3)
	30～39年	175(100)	14(8)	57(33)	75(43)	21(12)	8(5)
	40年以上	512(100)	45(9)	181(35)	205(40)	43(8)	38(7)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

(2) 市外の人へPRしたいと思うもの

ストーリーの中で、市外の人へPRしたいと思うものはどれですか。【1つに〇】

- ・全体では「窯」をPRしたいと思う人の割合が33%という結果となり、2位の「街」、「技術」と比べて約2倍の数値となりました。瀬戸市民の方に受け入れてもらえる素材であったとともに、「窯」に対しての愛着が高いことが感じられます。一方「芸術」、「交流」は5%以下にとどまります。
- ・属性ごとに割合を示した下の表に注目すると、「自然」については世代が若くなるにつれPRしたいと考える人の割合が増えることや、「街」については居住年数が10年未満という短い期間である人がPRしたいと考える割合が一番高いことがわかります。



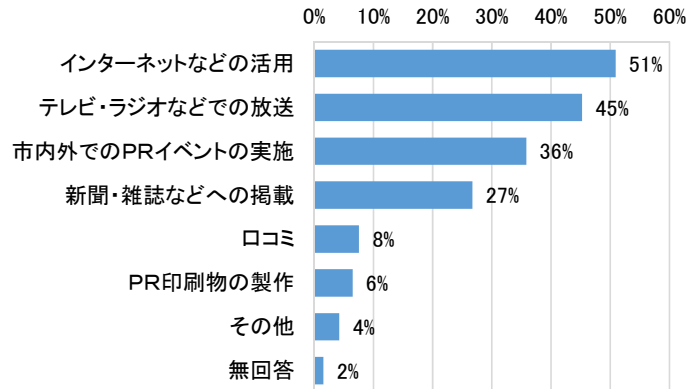
度数(%)		2(2) ストーリーの中で、市外の人へPRしたいと思うものはどれですか。									
		合計	窯	人物	街	技術	芸術	交流	自然	祭り	無回答
3(3) ①性別	合計	1099(100)	357(33)	120(11)	186(17)	184(17)	51(5)	25(2)	120(11)	85(8)	34(3)
	男性	487(100)	154(32)	56(11)	89(18)	76(16)	22(5)	15(3)	51(10)	43(9)	11(2)
	女性	606(100)	203(33)	64(11)	97(16)	108(18)	29(5)	10(2)	69(11)	42(7)	23(4)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	362(33)	121(11)	190(17)	186(17)	51(5)	27(2)	121(11)	84(8)	35(3)
	30歳未満	109(100)	26(25)	12(12)	18(17)	16(16)	4(4)	1(1)	16(16)	10(10)	3(3)
	30歳代	107(100)	39(36)	12(11)	19(18)	8(7)	6(6)	1(1)	14(13)	8(7)	3(3)
	40歳代	169(100)	51(31)	17(10)	34(21)	23(14)	12(7)	2(1)	19(11)	15(9)	3(2)
	50歳代	170(100)	47(28)	18(11)	30(18)	32(19)	8(5)	2(1)	21(12)	13(8)	4(2)
	60歳代	249(100)	83(34)	14(6)	37(15)	58(24)	15(6)	8(3)	25(10)	20(8)	6(2)
	70歳以上	318(100)	118(38)	48(15)	52(16)	49(15)	6(2)	13(4)	27(8)	18(6)	16(5)
3(3) ③住まいる地区(歴史地区)	合計	1099(100)	357(32)	121(11)	190(17)	186(17)	51(5)	27(2)	120(11)	83(8)	35(3)
	榑山地区	336(100)	111(33)	34(10)	50(15)	57(17)	18(5)	4(1)	41(12)	33(10)	10(3)
	今村地区	216(100)	83(38)	22(10)	41(19)	33(15)	8(4)	3(1)	20(9)	13(6)	3(1)
	赤津地区	26(100)	9(35)	3(12)	4(15)	3(12)	-(-)	-(-)	5(19)	2(8)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	58(35)	18(11)	29(18)	26(16)	4(2)	6(4)	15(9)	12(7)	9(5)
	水野地区	269(100)	68(25)	37(14)	51(19)	54(20)	16(7)	9(3)	34(13)	12(4)	10(4)
	品野地区	87(100)	28(32)	7(8)	15(17)	13(15)	3(3)	5(6)	5(6)	11(13)	2(2)
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	358(33)	120(11)	190(17)	187(17)	51(5)	27(2)	119(11)	85(8)	34(3)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	111(30)	37(10)	71(19)	74(20)	14(4)	12(3)	32(9)	37(10)	12(3)
	転入してきた	601(100)	202(34)	71(12)	91(15)	93(15)	29(5)	11(2)	75(12)	39(6)	17(3)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	45(36)	12(10)	28(22)	20(16)	8(6)	4(3)	12(10)	9(7)	5(4)
3(1) ⑤あなたやまものの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	355(33)	116(11)	189(17)	186(17)	50(5)	25(2)	117(11)	84(8)	35(3)
	やまものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	67(35)	24(13)	45(23)	42(22)	6(3)	8(4)	17(9)	16(8)	8(4)
	趣味がやまものである	24(100)	10(42)	3(13)	3(13)	7(29)	1(4)	-(-)	1(4)	2(8)	2(8)
	やまものづくりの体験をしたことがある	350(100)	107(31)	35(10)	64(18)	55(16)	24(7)	8(2)	42(12)	17(5)	7(2)
	生活で使う程度	520(100)	171(33)	54(10)	77(15)	82(16)	19(4)	9(2)	57(11)	49(9)	18(3)
3(3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	362(33)	120(11)	181(17)	187(17)	51(5)	26(2)	121(11)	85(8)	35(3)
	10年未満	101(100)	30(30)	9(9)	26(26)	15(15)	5(5)	-(-)	9(9)	9(9)	2(2)
	10～19年	158(100)	50(32)	18(11)	20(13)	21(13)	11(7)	1(1)	28(18)	13(8)	2(1)
	20～29年	159(100)	56(35)	17(11)	19(12)	21(13)	7(4)	4(3)	29(18)	8(5)	3(2)
	30～39年	175(100)	65(37)	22(13)	31(18)	18(10)	5(3)	2(1)	21(12)	14(8)	6(3)
	40年以上	512(100)	161(31)	54(11)	95(19)	112(22)	23(4)	19(4)	34(7)	41(8)	22(4)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

(3) 瀬戸の魅力を市外の人にPRするための有効な方法

瀬戸市の魅力を市外の人へPRするためにどんな方法が有効だと思いますか。【2つに〇】

- ・「インターネットなどの活用」と回答した人の割合が全体のおよそ半数の51%の割合でした。
- ・年齢別にみても、インターネットなどの活用については70歳以上は30%にとどまりますが、70歳未満の場合、概ね60%前後の水準となることから、70歳を境として評価に大きな差が出てきます。
- ・その他(49人)の内容は、「街並みを美しくする」「既存の各文化財の魅力を高める」「PR出来る人材の育成」「観光大使をつくる」「瀬戸を題材にした映画、ドラマ等の制作」「人気作家の誘致や若手作家の育成」「瀬戸のツアー旅行の企画」などでした。



度数(%)		2(3) 瀬戸市の魅力を市外の人へPRするためにどんな方法が有効だと思いますか。								
		合計	市内外でのPRイベントの実施	PR印刷物の製作	新聞・雑誌などへの掲載	テレビ・ラジオなどでの放送	インターネットなどの活用	口コミ	その他	無回答
3(3) ①性別	合計	1093(100)	390(36)	71(6)	291(27)	494(45)	560(51)	84(8)	46(4)	17(2)
	男性	487(100)	166(34)	37(8)	124(25)	211(43)	260(53)	40(8)	23(5)	9(2)
	女性	606(100)	224(37)	34(6)	167(28)	283(47)	300(50)	44(7)	23(4)	8(1)
3(3) ②年齢	合計	1104(100)	395(36)	72(7)	294(27)	499(45)	585(51)	84(8)	46(4)	17(2)
	30歳未満	103(100)	36(35)	5(5)	28(27)	44(43)	60(58)	11(11)	4(4)	2(2)
	30歳代	107(100)	32(30)	6(6)	24(22)	44(41)	67(63)	12(11)	10(9)	-(-)
	40歳代	163(100)	59(36)	8(5)	49(30)	65(40)	96(59)	14(9)	7(4)	-(-)
	50歳代	170(100)	53(31)	5(3)	37(22)	78(46)	108(64)	18(11)	10(6)	2(1)
	60歳代	243(100)	97(40)	14(6)	51(21)	119(49)	140(58)	15(6)	8(2)	3(1)
	70歳以上	318(100)	118(37)	34(11)	105(33)	149(47)	94(30)	14(4)	9(3)	10(3)
3(3) ③住まいの市区(歴史地区)	合計	1099(100)	394(36)	71(6)	293(27)	497(45)	561(51)	82(7)	46(4)	17(2)
	檀山地区	336(100)	121(36)	19(6)	94(28)	152(45)	167(50)	26(8)	11(3)	4(1)
	今村地区	216(100)	64(30)	15(7)	62(29)	105(49)	117(54)	15(7)	9(4)	3(1)
	赤津地区	26(100)	13(50)	1(4)	9(35)	10(38)	9(35)	3(12)	1(4)	1(4)
	瀬戸地区	165(100)	64(39)	16(10)	30(18)	73(44)	82(50)	10(6)	6(4)	4(2)
	水野地区	289(100)	89(37)	14(5)	75(26)	113(42)	142(53)	21(8)	18(7)	4(1)
品野地区	87(100)	33(38)	6(7)	23(26)	44(51)	44(51)	7(8)	1(1)	1(1)	
3(3) ④居住歴	合計	1098(100)	395(36)	71(6)	293(27)	497(45)	561(51)	82(7)	46(4)	16(1)
	生まれてからずっと市内に居住	371(100)	145(39)	22(6)	97(26)	161(43)	194(52)	26(7)	17(5)	5(1)
	転入してきた	601(100)	206(34)	43(7)	171(28)	277(46)	294(49)	47(8)	25(4)	8(1)
	市外に転出したが戻ってきた	126(100)	44(35)	6(5)	25(20)	59(47)	73(58)	9(7)	4(3)	3(2)
3(1) ⑤あなたと、やきもの関わりを教えてください。	合計	1086(100)	392(36)	71(7)	286(26)	494(45)	560(52)	83(8)	44(4)	17(2)
	やきものに関わる仕事をしている・していた	192(100)	72(38)	16(8)	57(30)	82(43)	80(42)	12(6)	5(3)	5(3)
	趣味がやきものである	24(100)	12(50)	2(8)	6(25)	6(25)	10(42)	1(4)	1(4)	2(8)
	やきものづくりの体験をしたことがある	350(100)	130(37)	21(6)	92(26)	163(47)	196(56)	29(8)	20(6)	1(0)
生活で使う程度	520(100)	178(34)	32(6)	131(25)	243(47)	274(53)	41(8)	18(3)	9(2)	
3(3) ⑥居住年数	合計	1105(100)	397(36)	71(6)	294(27)	500(45)	564(51)	84(8)	46(4)	17(2)
	10年未満	101(100)	36(36)	7(7)	31(31)	40(40)	54(53)	10(10)	4(4)	-(-)
	10~19年	158(100)	33(21)	11(7)	49(31)	77(49)	90(57)	10(6)	8(5)	2(1)
	20~29年	159(100)	59(37)	9(6)	34(21)	70(44)	92(58)	21(13)	11(7)	-(-)
	30~39年	175(100)	75(43)	9(5)	39(22)	75(43)	93(53)	12(7)	9(5)	2(1)
	40年以上	512(100)	194(38)	35(7)	141(28)	238(46)	235(46)	31(6)	14(3)	13(3)

注：合計値は表側項目の無回答の数値を除いた値。

5 自由回答

自由回答では、219人、225件の意見が寄せられました。ストーリーへの意見については、「やきものの長い歴史を総合的なストーリーに仕上げる」ことや「技術」について分かりやすく伝える工夫が必要であるといった意見が出るとともに、おすすめの歴史文化も幅広く提案をいただきました。またその他にも、文化財・文化遺産の教育や市内外へのPRの重要性について、まちづくりの方向性についての意見などもありました。

項目	意見例	意見数	
ストーリーへの意見	全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ網羅されているので、それぞれの内容の充実が重要になる ・「行きたい、見たい、やってみたい」と思えるようなストーリーにしてもらいたい ・それぞれの強味を合体させてストーリーを構成するのはどうか ・陶にこだわりすぎないようにすべき ・新しい未来への進展や構想が貧弱だと思う 	28
	窯	<ul style="list-style-type: none"> ・「陶磁器」＝「せともの」にした人々の思いや背景など、ドラマ性を打ちだしたストーリーにするのはどうか ・「やきもの」の歴史を細切れにしてとりあげるのではなく、総合的なストーリーとして描くべき 	8
	人物	<ul style="list-style-type: none"> ・地名度の高いキーワード「せともの」と「織田信長」をからめるのはどうか 	5
	街	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中に陶器が生きついているのが素敵なところである 	1
	技術	<ul style="list-style-type: none"> ・高い技術力を客観的に理解してもらえるストーリーづくりが必要 	3
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・三国の境の地だからこそ生まれて来た文化の魅力を伝えるべき 	1
	祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸もの祭を全面に押し出すのはどうか 	2
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーを読んでからはじめて知り、行ってみたい所が出てきた 	12
おすすめの歴史文化	窯	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸キャニオンの「水の青さ」、やきものの生産者 など 	8
	街	<ul style="list-style-type: none"> ・尾張瀬戸駅～深川神社～宝泉寺周辺のレトロな雰囲気のある街並み、瀬戸川中心に発展した街並み など 	7
	技術	<ul style="list-style-type: none"> ・陶磁器などの伝統技術、セトノベルティ など 	4
	自然	<ul style="list-style-type: none"> ・岩屋堂、猿投山 など 	6
	交流	<ul style="list-style-type: none"> ・源敬公廟、定光寺の見晴し台から見える名古屋の街の風景 など 	3
	祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・せともの祭、山口八幡社郷社祭、招き猫まつり など 	4
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・食文化の歴史、B級グルメ、瀬戸陶磁器会館、みこし、陶貨 など 	8
歴史文化に関する意見	PR	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと積極的に魅力を発信すべき ・市民から応援、協力されるPRを考えてほしい 	29
	教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校で地元のことを教える時間を増やした方が良い 	13
	改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ・見せ方を工夫するなど、今ある文化財等の魅力を上げるべきではないか 	16
	整備提案	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸キャニオンを活用して新たな文化施設をつくるのはどうか 	9
	その他提案	<ul style="list-style-type: none"> ・地域街おこしイベントでやきものの街を外部にうりこむ 	21
	感想	<ul style="list-style-type: none"> ・祭りを通して焼きもの文化が発展したらいい ・長年この瀬戸市に住んでいても知らなかったことが多かった 	15
その他	まちづくりの方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの整備、景観の整備の方が先だと思う ・施設を巡回する様なバス等があれば観光客が増えるのではないかな 	16
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・岩屋堂の整備はないのでしょうか 	6

ストーリーへのご意見や、おすすめの歴史文化があれば教えてください。

■ストーリーへの意見 (60件)

項目	記述内容	性別	年齢
全般	せとものを人物から街からと関連付けてまとめてありよかった。私が無知なだけかもしれませんが、知らないものばかりで新たな瀬戸の歴史文化を確認することができた。	女性	20歳代
	ほぼ網羅されており、それぞれの内容の充実が重要と思う。	男性	60歳代
	ストーリーは便宜上8つに分けられているが(と思うが)、それぞれの強味を合体させてストーリーを構成する事も検討されたい。	男性	60歳代
	簡潔で興味関心を持たせ、「行きたい、見たい、やってみたい」と思えるようなストーリーにしてもらいたい。	男性	60歳代
	堅苦しい教育的なものではなく、アニメーションと実写を組み合わせたもので、謎の人物を追いかけてながら瀬戸市内を駆け巡るラブサスペンスを希望。	男性	60歳代
	認定のため、というよりも、瀬戸が魅力ある場所として発展することについての意見ですが、現状のものだけで発信しても魅力が欠ける(伝わらない故の不足もあると思うが)。広がり、発展するベースが必要。個々の魅力が集まり、新しいものごとが始まっていくきっかけがあって、その中に(軸に)歴史文化がある、というようでないと思えるように思う。	男性	40歳代
	簡潔にまとまっているところは良いと思うけど、単調でおもしろみがない。集中線などを使ってもう少しインパクトのある感じにした方が良いと思う。	男性	10歳代
	集中的にやった方が効果があると思う。	男性	70歳以上
	ストーリーの素材①～⑧までももちろん瀬戸の強みを活かしたものはなっているが、どれもインパクトがない……。歴史や伝統は変えることができないので、これから「芸術性あふれるクリエイティブ(創造的)なまち」にしていくしかない。名古屋、栄から乗り換えなしで30分の好立地にある瀬戸。全くといっていいほど観光振興ができていない。瀬戸より遠い多治見→本町オリベストリート、ギャルリ百草、土岐→アウトレットに人は行っている。市議員ではなく、現場の市役所職員が成功している自治体に視察出張を!!良いところを学び、まねる。	男性	30歳代
	アンケート送付ではじめて知ったものも多数ありもう少し若い世代への魅力が欲しい。こういったものが自分の親世代目線が多く団塊ジュニア以降の世代や若者には「あー瀬戸には古いものがあるんだ、はじめて知ったという印象になってしまう様に思います。(実際私も感じました)	男性	30歳代
	徳川義直だと、名古屋との協力が必要。瀬戸だけでは弱い。瀬戸物～ノベルティでのストーリー作りが一番。老人→やき物、若者→ノベルティを明確に。	男性	50歳代
	温故知新と言いますが、新しい未来への進展や構想が貧弱だと思います。瀬戸はすばらしい歴史があるのですから。そこに立脚した新構想があればと思うのですが、一方、それにこだわらずに全く異なった観点から考えることも必要だと思われまます。	女性	70歳以上
	戦時中の街の様子、歴史、文化を守ってきた経過が分かると良い。ほたる等の生物保護とからめる事ができると良いと思う。今後の瀬戸の展望とも合わせてPRすべき。(水野の防空壕等は聞いた事がある)→上本町の軍需工場跡?各PRには宿泊施設の充実も必要。各ストーリーに印象的、感動的なエピソード(ストーリー)を付かできない?といけないのでは。	男性	30歳代
	世界の陶磁器の歴史の中で瀬戸がどんな役割を担ってきたか、どんな位置づけにあるか知りたいです。瀬戸で陶磁器がつけられるようになってから繁栄期を実際に足でたどることはとても興味があります。	女性	40歳代
	どれも歴史文化遺産の見学物ばかりです。他にも陶芸やガラス工芸の体験案内などの内容と、なぜそういったものが盛んなのかわかればな……。と思いました。食事ができる場所やどういった郷土食があるかなど……。食事のルーツも知りたいと個人的に思いました。	女性	20歳代
	古い歴史のある町で素材もたくさんあるのに観光資源として生かしきっていない。陶にこだわり過ぎず、まだ残っている自然と文化財をリンクさせて3つ	男性	20歳代

参考資料1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

全般	くらいに絞ったストーリーを作って、歩いて回れるとかりピートしたいと思わせる「シカケ」が必要だと思う。		
	陶器、陶磁器に頼りすぎていると思います。近隣合併町村の知られざる歴史文化があると思います。例えば、本地大坂登り切った旧道、お地藏様が方向を指しております。	男性	60 歳代
	地元の間人が内々で満足するものはいらない。⑧は外の間人からみれば特に魅力はないただの田舎の祭り。⑦は貴重だが、一般人にはインパクトがない。⑥については「だから何？」レベルの話。その点「やきもの」は国内で5指に入るウリ。ぜひ生かしてほしい。ただ①②地味で現在につながらないように思う。現在“今”の瀬戸を魅力的に思わせるストーリー（って何？）をまとめてほしい。	女性	40 歳代
	ストーリーの④と⑤は実感がない。多分、やきもの産業でかつてうらやまの時代の事等言いたいのだろうか。近隣地域の発展の方に目がうばわれてしまいがちだが、陶器産業の町としてむりやり作ったストーリーにも感じる。“世界にはばたく・・・”“芸術性あふれる・・・”というタイトルが逆に淋しく感じる。	女性	50 歳代
	窯業と自然（瀬戸にしかないもの）をアピールすること。石樋の奇跡の玉石（数年前の大雨で石樋の上に乗っている軽がりそうで、安定している石）・・・受験生のお守りに！	男性	60 歳代
	それぞれのストーリーに強いものがないと感じます。他の焼きものとは違うセトの土でしかできないものがあるとうれしい。	女性	40 歳代
	全体的に地味だと思います。魅力を感じるレベルに達していない。	女性	50 歳代
	単体としては、魅力があるように感じますが、他県、他市町村と比較すると、さして特別な歴史文化があると思えない。	女性	50 歳代
	名古屋市、尾張旭市に20年以上住んでいましたが、3年前から瀬戸市に住み始めました。瀬戸市の文化、歴史について隣市に居た頃でも、焼物のイメージしか無く、他の事はまったく知りませんでした。まして今回のアンケートで知った事の方が多かったです。関心を持たなくてはいけないとは思いましたが、読んでみても、関心が持てる感じはしませんでした。	女性	40 歳代
	写真も古く感じ、全く魅力を感じない。この紙面からは感じるものはない。	女性	40 歳代
	興味がなければ読まないと思う。楽しさが伝わってこない。子供が読める様な物も作成して欲しい。歴史文化について市はどの様な取り組みをして後世に名を残す為に何をしているか知りたい。	女性	30 歳代
	1000年以上の歴史を“食”とコラボするとPRしやすいと思います。	女性	60 歳代
	食文化と組み合わせると世間を発信できるといいと思います。“文化”とまでは言えないかもしれませんが、給食も瀬戸市は陶器の器のため、おいしそうに見えます。	女性	20 歳代
	窯	“せともの”が陶磁器の通称になったのは衆民の使うものでブランド価値がない一方、日本の歴史において大きな影響があったからだと思います。せともの自体よりも陶磁器＝せとものにした人の思いや背景などドラマ性をうったえる方が人の心をつかめるのではないのでしょうか。	男性
瀬戸の「やきもの」の発展過程は他の陶業地に比べ格段の規模と多様な歴史性を持っている。「やきもの」の歴史を細切れにしてとりあげるのではなく、歴史的、総合的なストーリーとして描くべきである。「せともの」以外の文化財・文化遺産・地形・自然は他地域と比べ特色を持っているとは言い難い。ただ、それらは「やきもの」を通して見ると他地域とは異なる特色が浮かび上がる。「せともの」の中心軸をしっかり立て、「せともの」の瀬戸を歴史的、総合的にとらえる必要がある。		男性	60 歳代
千年以上のやきもの歴史を中心とする明確なストーリーができ上がると良いと思います。そして源敬公の廟のすばらしさやオオサンショウウオの貴重な存在もストーリーの中に含まれればと思います。		女性	50 歳代
日本遺産としては、東濃地区、常滑とも連携、さらに近代陶業の代表的企業ノリタケとも連携し、中世から近代、現代と続いた東海陶業の歴史を一つのストーリーとして展開していくべきだと考えます。		男性	70 歳以上

参考資料1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

窯	1000年以上の歴史があるやきものづくりを、国内でもっとアピールできればと思います。最近では常滑のイメージに押されている印象を受けます。日々の生活の中で陶器がどれ程身近にあるか、また、割れてしまうからこそ、育まれた日本人の精神のルーツも、やきものづくりの都として、継承していければと思います。ノベルティの技術は世界に誇るものなので、もっと世界に向けてアピールできればと思います。	女性	20歳代
	「せともの」は全国どこでも通じるやきもの器（うつわ）を表わす唯一無二のことばです。日本遺産認定を目指すとのことならば長い歴史をもつこの瀬戸の「せともの」に特化した遺跡（土壌）、人物（歴史上の）、技術（過去から現在）、商家（栄えた頃の）、作品（美術品、工芸品）、職人（特技）、後継者育成の学校設立、時代変遷の中で占領下ではOccupied JAPANとしてせとものが造られたこと、実際には使用されなかったこと。そして暮らしの中からうまれた商売繁盛を祈願した神社寺、行事、祭、食、方言、盆おどりには必ず聞こえる「瀬戸音頭」作詞？作曲？唄都はるみ・・・を深掘し、著わすことでほかのやきもの産地とのなりたち、製品などの比較ができ面白く興味をそそり瀬戸の知名度、魅力度向上に繋がるのでは。	女性	70歳以上
	歴史的には“せともの”が一番わかりやすく、アピールしやすいが、現在の瀬戸市は、どうなのでしょう。伝統を継続して現在につながっているという点が弱いと、ただの歴史遺構になってしまう。下半田川町はサンショウウオがとりあげられています、この地は町をとりまく山々と集落のたたずまいが美しく調和したおだやかな町です。風景画を趣味とする私は下半田川町に散在する古民家・土蔵を題材に何枚も書きました。古い大きなお屋敷が多い、歴史を感じる町です。下半田川町は歴史も古く、今もなお、もう他では失われた無形の文化も残っています。月に一度の観音堂（十一面観音）参りや十四日念仏順番を決めて行なう念仏集会でお念仏の後、連絡やら相談やら打ち合わせが行なわれ、地域の絆が保たれています。名古屋からさほど遠くないのにこういう伝統が残っている事、そういう集落だからサンショウウオも守られてきたのではないのでしょうか。サンショウウオ＝自然環境というとらえ方でなく、そこに生きている住民・文化も含めて総合的にクローズアップしていただけないかと思います。	女性	60歳代
	陶土の入手等の関連記事	女性	70歳以上
人物	織田信長に興味を持っています。信長が茶器の収集をしていたことはよく知っていますが、信長と「せともの」との詳しい関係までは知りません。ともに知名度の高いキーワードだと思います。地域的に知られているものよりも全国的に知られているものを強くアピールすることで遠方の人でもすぐに理解できることだと思います。信長とせともの、私も知りたいです。 ※ご苦労さまです。	男性	40歳代
	今、歴史が人気なので城跡を上手く紹介すると良いと思う。織田信長を絡めれば注目されるし、できれば城を再建するのが一番いいが・・・	男性	30歳代
	藤四郎にはじまり加藤民吉による陶器生産によって今日の瀬戸があることに、市民が誇りに思うべき。焼物のことを他の地域で瀬戸物と言われることは喜ばしい。	男性	50歳代
	父母からはよく瀬戸物祭りの雨に加藤民吉さんの技術修得の為の裏話をきかされました。あれは女の人の涙雨だと。父からは永仁の壺の話をよくきかされました。又、お薬師のあめんぼう祭りは幼い頃、母と雪の降る日に（今より気温が低かった60年前）出かけた記憶があります。	女性	60歳代
	意外と「人物」について無知な事が多く、詳しく知ることが出来れば歴史を知ることになり、興味を持つ人が増えていくかとも思いました。	男性	40歳代
街	路地に入れば大きな陶製の火鉢が置かれている。雨樋の先をたどれば側溝に流れる前に大きなかめにためられる。喫茶店に入ればたなの上にノベルティの人形が飾られている。それはとても自然で瀬戸の長い歴史がうみ出したものだと思います。生活の中に陶器が生きづいているところがとても素敵な町（街）だと思います。個人のミュージアムの紹介	女性	70歳以上
技術	高い技術力で出来た作品は見られるが、どこが高い技術力なのか何をもって高い技術力と云うのが理解されるストーリーが大事。瀬戸にしか無い技術とは	男性	60歳代

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

技術	何か、瀬戸の技術が如何に高いかどう知らせるか、理解させるかの工夫が必要。		
	①の窯→③の「技術」 ①の背景、めぐまれた環境から日本人の性格、器用さにより高い技術力へとつながっていると思います。	女性	40 歳代
	現在の瀬戸に技術がありますか？昔の瀬戸の技術はよい物がありました	女性	70 歳以上
交流	三国の境である地だからこそ生まれて来た文化、戦略、技術と情報収集の力、など歴史と文化、人との交流を交ぜあわせた瀬戸の色々な魅力を伝えて欲しい！	男性	50 歳代
祭り	瀬戸もの祭を全面に押し出すのが 1 番分かりやすく、魅力があると思う。ストーリーに書いてあるのは、正直、あまり興味を引かれるものがない気がした。でも、静かで、焼き物があって、あたたかい雰囲気という所が好きなので、そこをキチンと保存して行ってほしいと思います。	女性	20 歳代
	⑧品野祇園祭もあめんぼ祭も太子祭も子供の頃に比べると今は全然規模が小さく、今後の発展が見込めないのでは？祭り自体がもっと活発になる様にしてからストーリーにもりこんだ方が良いと思う。	女性	30 歳代
その他	長年この瀬戸市に住んでいても知らなかったことが多く、歴史文化ストーリー、瀬戸市文化財・文化遺産マップを初めて手にしてとても興味深い内容でした。もっと瀬戸市の事を知りたいと思いました。市外の友人にも誇れる瀬戸市を案内出来そうです。	女性	60 歳代
	ストーリーを読んで自分が瀬戸市の歴史文化について知らないことが多かったので、知ることが出来て良かった。行ってみたい所もあった。(自分が関心のある文化、歴史遺産は奈良県だったので)	女性	40 歳代
	質問へのお応えではありませんが歴史文化の見学、体験のツアーがあったら是非参加したいです。他県の者です、知らない事ばかりです。知りたいです！！	女性	60 歳代
	歴史文化ストーリーを結ぶ街道を整備、拡充は如何ですか。	男性	70 歳以上
	場所がわかりにくい	男性	20 歳代
	写真の撮り方で、もっと魅力ある場所にみえる様、工夫すると、いろいろな世代から興味がわくと思う。	女性	20 歳代
	ストーリーですが、市の職員の方は全て見て訪れているのでしょうか。	女性	60 歳代
	ほとんどといっていいくらい資料にある内容を知らない。今の時代に合っていない古くさい内容のものだと思う。もっとご年配向けの内容でなく中年、若年、子供までが魅力を感じるものにすべきでは？ダサイ。瀬戸で生まれ育ちその小さな世界で過ごした人が考えてる？もっと国内外に目を向け活動している人にプロデュースしてもらったら？瀬戸はイヤになるくらい閉鎖的！！	女性	40 歳代
	土岐や多治見が陶器の街として有名になってきたのは何が原因(何をやってきた?) なののでしょうか？	男性	70 歳以上
	ストーリーよくわかりません。	男性	40 歳代
	「ストーリー」が何なのか、どうなるのか、何を目的としているのかチンプンカンで良く分かりません。良質な陶土の産地でありながら地場産業が低迷と言う情ない「瀬戸」だと思います。	女性	60 歳代
	特にありません。現行のテーマの推進を全力で！！	男性	70 歳以上

■おすすめの歴史文化 (40 件)

項目	記述内容	性別	年齢
窯	「せともの」	男性	20 歳代
	見たことのない景色にあこがれをもつ方が多いので、瀬戸キャニオンの「水の青さ」を発信するとよいと思う。	男性	20 歳代
	陶土・珪砂採掘場の観光ツアー	男性	20 歳代
	グランドキャニオンの観光ができればいいと思っていました。	女性	20 歳代
	瀬戸市はやきものの「せと」代名詞になって古くから陶器、磁器の食器などやきものづくりで知られていますが、時代が変り現在は電気窯で良質の和洋食器などをブランド化している窯元がありますので広く P R をしてください。(交通機関の車内や駅の待合室など)	男性	70 歳以上
	せと市には「せと蔵ミュージアム」という「せともの」を知るにはとても素晴らしい博物館があります。ミュージアムを「せとの入り口」に位置づけた	男性	60 歳代

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

窯	うえて、本件を展開されれば、せとのファン、リピーターも増加するでしょう！また「体験型コース」の受入体制の充実も急務だと考えます。ろくろ、染料、鋳込み、etc・・・		
	歴史文化は大切だが、そこからの発展が感じられず古くさいイメージだけが街に残っているように思う。陶磁美術館もせっかくきれいな建物なのにPR不足に思う。	男性	30歳代
	現在活動されている若い生産者を全面にPRした方がいいと思う。	男性	40歳代
街	特にはないが、小生はよく「窯垣の小径」に足を運ぶ。静けさと昔のたたずまい、古民家のたたずまいに“いやしと安らぎ”を感じる。散策には適していると思う。	男性	70歳以上
	瀬戸の街並みの素敵などをもっとアピールできればと思う。(県外からきた人たちも瀬戸の街並みはとてもおちついた雰囲気があるという声をよく聞くため)	女性	30歳代
	窯垣の小路やエンゴロの路などをもっとアピールしたらいいと思う。瀬戸蔵の文化財をもっとアピールしたら	男性	70歳以上
	瀬戸川中心に発展した街並みは景観とともに瀬戸の歴史が感じられ、すごくみりよ的です。	男性	50歳代
	瀬戸の町など(蛸などあり、岩や堂)PRして欲しい！住みよい街にして下さい。(緑の多い街ですよ)	女性	70歳以上
	他から転入して9年たちます。尾張瀬戸駅～深川神社～宝泉寺周辺の雰囲気はレトロでやきものの街の感じでありとても好きです。景観の保存と同時に、商店街の空き家対策等もっと力を入れられないのでしょうか？また観光客が出るはずの正月等に市の駐車場が休みになっていたりと残念な部分が多いです。「せともの」という言葉(日本人なら誰でも知っている)があるはずなのに、生かしてないと思います。	男性	40歳代
	本アンケート調査に関連し、貴重な資料を拝見することができ、感謝です！瀬戸に関わる書籍を瀬戸蔵ミュージアムで購入しているが、むつかしくて本棚でねむっている。新愛知タイムズ、とうめい新聞にかつて掲載された瀬戸関連記事がなつかしい。ようきてちよーた瀬戸、広報せとの瀬戸に文化財、瀬戸百景などやさしく解説した紹介本がほしい。瀬戸川にかかる「やきものの橋」が抜けている。内外へPRできる文化財である。	男性	70歳以上
技術	陶磁器などの伝統技術をもっと国内外へPRする。	男性	70歳以上
	50～60年に瀬戸で作られているセトノベルティ お人形 レースの服を着たかわいらしい人形を父親が瀬戸出張で戴きました。今はどうなっていますか。瀬戸焼も良いと思いますがノベルティもすばらしいので広めて皆様に見る機会を作ってくださいませようお願いします。	女性	70歳以上
	学生時代、レース人形のレース付けのバイトをした事があります。とてもすばらしい物なので世界にPRしてほしい。	女性	60歳代
	せともの歴史やノベルティはとても魅力がある。もっと発信してほしい。「ノベルティ創造館」は子どもとよく行く。粘土で遊べる施設はかなり珍しいと思う。子育て世代(市外も含めて)にもっとPRすれば若いお母さんに受けると思う。ただ、施設が地味なので何らかのひと工夫が欲しい。中味はすばらしいので。スタッフの方も親切だけでもっと明るく元気な雰囲気があるといいと思う。スタッフの質でリピーターになるかが決まると思う。ノベルティ創造館をきっかけにせとものに興味を持ってもらえるかも。	女性	30歳代
自然	長年瀬戸に住んでますが、知らない所、場所があり、おどろきました。岩屋堂はどうでしょうか。	女性	60歳代
	きれいな川の水の流れと涼しさ(特に夏)の岩屋堂は子供も大人も楽しくさせてくれる所だと思います。	男性	70歳以上
	オオサンショウウオは昔の清流とはほど遠い悪環境に泣いている。岩屋堂は瀬戸のすばらしい自然の売り物です。もっと目を向けるべきだ。	男性	70歳以上
	最近の山ブームで若い人や女性が猿投山に増えていると思う。歴史ある猿投山を愛知の高尾山的にPRすれば良いと思う。自然をこわさないように海上の森から寂しくない入山ルート、近くにアクアイグニスのような温泉施設を	女性	50歳代

参考資料1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

自然	作れば良いPRになるし、そこから文化財、文化遺産のPRにつなげれば若い人に興味を持ってもらえるのでは・・・。		
	赤津地区での大目神社、猿投山はどうでしょうか！	男性	60歳代
	定光寺付近のホテルが人気と聞いたことがある。	女性	30歳代
交流	定光寺源敬公廟	男性	70歳以上
	自分の知らない瀬戸の歴史的な建物、場所を発見でき、機会があれば是非自分の目で見たいと思いました。僕は建造物が好きなので、源敬公廟などがすばらしいと思います。	男性	10歳代
	定光寺の見晴し台から見える名古屋の街の風景がお勧めです。この名古屋を見渡させる定光寺の山に尾張藩初代の藩主廟があると思うと感慨深いです。	女性	40歳代
祭り	瀬戸市へは転入してきた為、歴史文化はほとんど知りません。ただ、せともの祭だけはTVなどのマスコミにより知っていました。そこをアピールポイントにするとよいのではと思います。	女性	40歳代
	当市に在住して40年弱ですがまだまだ知らない所があったのだと痛感致しました。瀬戸と言えば“せともの祭”が有名でまっ先に浮かぶ市だと思っています。やきものにたずさわる人達、ロクロ師や絵付師、焼き手等の職人さんの職人文化も今後せともの歴史を継承していく上で大切な1つなのではないかと思っています。	女性	70歳以上
	山口八幡社郷社祭り！	男性	60歳代
	少し違った形かもしれませんが瀬戸に来ていただくきっかけとして招き猫まつりはとても良いイベントだと思います。ただ、年々訪問される方が増えてもそれを受け入れる体制、次へつながる瀬戸のアピールがもっときちんとあると良いと思います。受け入れ体制があればもっと大きなイベントになる気がします。	女性	40歳代
その他	私は女性なので郷土に根づく料理は他にない特色ある文化のひとつとして見逃せないと考える。幸い、瀬戸市には五目めしをはじめとしてとても特色ある料理が数多く存在しますよ！もったいない！マスコミが飛びつく格好の材料のひとつになるう～	女性	60歳代
	食文化の歴史 うなぎ屋、和菓子屋	男性	60歳代
	B級グルメの宣伝	男性	40歳代
	水野川、矢田川沿いの古墳群	男性	70歳以上
	昭和30年頃使用したみこしが印所公民館にあるはずです。	男性	70歳以上
	陶貨	男性	50歳代
	ねこなし皿-自己を犠牲にしてまでお客様のために作る。その心こそ「もてなし」の原点であり、瀬戸の文化遺産です。今はその心がなくなって金金金、金のために作って来たから瀬戸のやきものは斜陽の一途をまっしぐらに進んでいる。	男性	60歳代
	水野小学校の校歌はきれいな風景が目には浮かんでくる。	男性	60歳代

■歴史文化に関する意見 (103件)

項目	記述内容	性別	年齢
PR	瀬戸はPRがへた。もっと積極的に魅力を発信すべき。	女性	60歳代
	瀬戸焼は他府県の焼き物とちがいが知名度が有りません。もっと瀬戸焼の名前をPRすべきです。	男性	60歳代
	「瀬戸物」としての知名度はあると思うし、今なお高い技術を継承してるとは思う。ただ、「瀬戸物」=瀬戸市という認識がない方も少なくはないと感じる。(特に他府県民)せっかくセントレアが有り、近い将来リニアも開通するのだから、もっと「瀬戸物」をアピールすべき。	女性	30歳代
	長年住んでいても知らない所がとても多いです。もっと瀬戸をPRしてもいいと思います。ストーリーを見てこれから行ってみたいと思います。	女性	60歳代
	瀬戸市に永く居住(途中転勤等により離れていた)しているが瀬戸市の魅力について話したり聞いたりする事はほとんどない。駅前の一部の川(河原)を整備する等全く不要、歴史文化をもっと強くPR(表に出す)が必要。	男性	70歳以上
	瀬戸に来て9年ですが、知らないものばかりでした。魅力があるので、もっと	女性	40歳代

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

PR	P Rしたらいいと思います。		
	もう少し市外の人へP Rした方がいいと思う。私は市外から瀬戸にきましたが、ほとんど知らなかったです。⑧の祭りは今には珍しくいい経験だなと思います。	女性	30 歳代
	市民の方は文化財文化遺産の事知っておられますか。P Rが不足していると思います。	女性	60 歳代
	市民から応援、協力されるP Rをお願いします。	男性	30 歳代
	瀬戸住民自身が何もない「まち」だと思いこんでるようです・・・まずは住民に対してのP R必要。尾張瀬戸駅にある円形のビル（名前さえ忘れまして）ここにこそ瀬戸を発信する基地にすべきと思います。	男性	70 歳以上
	ストーリーを読んで、瀬戸に住んでいるけれど知らないことが多くて驚きました。オオサンショウウオや殿様街道など、初めて知って興味を持ったものがあつたので、市外にP Rする前に市内に住んでいる人にP Rすることが大切かなと思いました。ずっと住んでいる人は知っているのかな？	女性	20 歳代
	瀬戸へは移り住んでまだ6年程のため、まだまだ知らないことばかりです。市民へのP Rへも必要だと思います。瀬戸は自然が多く子育てにはいいと思いますが、正直あまり魅力は感じられません。（現在のところ）	女性	30 歳代
	市外にP Rする以前に市民が歴史文化を重要と考えている事が発展、保存につながると思います。外にP Rする必要性は？疑問です。	女性	50 歳代
	瀬戸には歴史も文化もあり、魅力的な資産は十分あると思うが、私自身アンケートに答えながら知らない事が多いなど感じた。行政が率先して宣伝していくのもよいが、まず市民に瀬戸の歴史や良いところを知ってもらい、市民自身の手で瀬戸の魅力を広めてもらうのが効果的だと思う。	男性	30 歳代
	県外の人で「せともの」は知っていてもそれが瀬戸市等で作られていることがあまり知られていないことが以前ありました。	男性	20 歳代
	加藤民吉を紹介したオペラや小学校等へ配布された小冊子を見たことがあります。とてもわかりやすく親しみがもてました。他の歴史上の人物においても瀬戸市にとどまらず、せめて愛知県の人々に知ってもらえるようにP Rできないでしょうか。校外学習のひとつとして来ていただくのも、愛知の産業を知る上で勉強になると思います。	女性	50 歳代
	このアンケート調査は当市の活性化考察の一助かと思えます。確かに市は千年有余の歴史と文化、多くのストーリー、その素財はご案内の如く山積され好筆者には垂涎財です。「見せる」「見られる」この刺激的な「場」こそ人と人との出会いがあり、交流が始まり「にぎわい」活力の源となるかと思えます。従って対外的に「この」情報を組織的、長期的に発信し公開P Rをして頂きたい。	男性	70 歳以上
	瀬戸のまちのドキュメントストーリーを有名人によってP Rしてもらおう。（テレビなどで）	女性	60 歳代
	朝の連ドラになると知名度がUPすると思われれます。私も連ドラ、大河ドラマで興味をそそられ舞台になった場所へ行きたくなります。	男性	50 歳代
	まずは人が来ること。NHK大河ドラマや朝ドラで少しでも使ってもらえると観光客が増える。いかにお金を使わずにP Rするかを考えるのが市政の仕事ですよ。	男性	40 歳代
	他地域からの転入者であり、知らない内容が多かった。P R（ラジオ・テレビなどで番組として採用してもらおう）が必要ではないでしょうか。	男性	60 歳代
	質問の答にはなりません長久手がどんどん発展するのにくらべて瀬戸は反対にずんできています。お金がかかってもせとものをテレビでコマーシャルすべきと思う。瀬戸キャニオンもオオサンショウウオも人々が興味をもつものをもっとコマーシャルしたらと思う。そうしないと瀬戸は忘れられてしまう。	女性	70 歳以上
	Opinion 全市の各地区に「おらが地域の自慢話！」などの名目で補助金を出して地区おこしを応援して町の活性化を促し知名度を上げる。ピンポイントの活動は大きな力となって成長するのでは？ただのビラ配りでは（打ち上げ花火的宣伝）一時的な効果しかない。各地域から地道に盛り上げてこそその地域に根ざした文化遺産であろうと考える。	女性	60 歳代

参考資料1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

PR	①～⑧への参加として巡回バス等で参加を呼びかける。もっと関心が持てるように！！	女性	60歳代
	若い女性が興味をそそるようなパンフレット作り、PR方法を考えるべきだと思います。	男性	50歳代
	猫祭りに毎年参加させていただいています。(移住して3年目)ベルギーの猫祭りのようにインターネットなどでどんどん広まると他県や海外からも人が集まると思います。	女性	40歳代
	歴史的建築物を活用、アピールできなかったのがとても残念。(旧尾張瀬戸駅、市民会館等・・・)芸術としてはではなく、生活必需品としての陶磁器を戦略的にアピールする。瀬戸もの祭の縮小は失敗だと思います。地形的にももっと発展させれます瀬戸市は。	男性	40歳代
	瀬戸が元気になるようにがんばりたいです。リピーターに必要な要素が欠けていると思うのですが、次回につなげる何かを見つけることができると良いですね。個人ではなかなかむりがあり、陶芸の仲間もつかれはてしています。何か新しいPRすることと、陶芸が組み合わされると魅力がふくらむのではないのでしょうか。	女性	50歳代
	若い人はおそらくまったくと言っていいほど文化財を知らないと思うので、何か若い人を取りこめる活動をすればよいのでは？あと、市外の人でなく市内の人を多くよびこめるイベントとかあればいい。(イベントとか市外の人が多く来るが、市内の人はあまりこないことが多いのでは？)	女性	20歳代
教育	知らないことが多かったです。市立の小・中学校で地元のことを教える時間を増やした方が良くと思います。社会見学で(6)の項目全部見学するとか。	女性	40歳代
	①、②、⑥など歴史的な面をもっと子どもたちに知ってもらうことが瀬戸の愛着につながっていくと思う。	女性	30歳代
	定光寺の事をもっと子供達に伝えて行くべき。	女性	50歳代
	瀬戸市の子供達に郷土の特産に親しむため、授業に組み入れ例えば卒業記念用に子供達自分がこれから毎日使うご飯茶碗を作成したりするのはいかがでしょうか。	女性	70歳以上
	ずっと瀬戸で生活されている方は良さ(古さ)をあまり感じてないと思う。また、途中から住んでる者には、今の生活状況への不満、希望だけで歴史まで思い及ばない。外に向かって発信するのも良いが、住人から盛り上げるべきだと思う。瀬戸の子ども達へ(学校で)どういうことまで教えているのか知らないけれど、小さい頃に歴史の話(良いところ悪いところも)を学習させるのが必要があるのでは？!	女性	50歳代
	瀬戸の文化財、遺産は知らない事ばかりです。子供(小学校)のころから教えていたら、興味がでたかも知れないが・・・。	男性	60歳代
	ストーリーの書籍化希望(次世代に伝える為に伝記のような本にして子供たちに分かりやすい形にしたら興味をもってもらえていいと思う。各小、中学校にも置くとか・・・)大人の方に興味を持ってもらうのも大事ですが、小中学校でもっと授業にとり入れたり名所をたずねたり、夏休みで瀬戸に関する自由研究的なコンテストみたいなのをやってみてはいかがでしょうか？(瀬戸に関する読書感想文コンクールとか)瀬戸焼キッズも上級、中級、入門みたいにしてもいいかも・・・もっと子どもたちが瀬戸について知ろう、知りたいと思うきっかけ作りが出来ると地元愛が出て自然といい方向に行くと思います。	女性	40歳代
	ストーリーを読んで、いろんな要素があることを知った。ほとんど知らないことであるので(夫婦ともに瀬戸出身でない)、子供達への学校教育で知ったり、広報のイベント(オオサンショウウオ)で知っている限りの知識で答えました。もっと子供達への校外学習を通してなど伝承していくことが必要ですね。どの場所に行くにもアクセスが容易でなければ人が集まりにくいので、そういった点を整備してもらえると物理的、金銭的にもいいと思います。	女性	40歳代
	新しくできた橋などに陶器のパネルがくっつけてあるのがとてもよい。小中学生に郷土の授業などを行っていることがとてもよい。小中学生にやきもの体験の機会を与えているのがとてもよい。	女性	50歳代
小・中学生の授業、校外学習等で瀬戸にはこんなに多くの文化財・文化遺産があるという事を教えていく。大人はグループ、地域の集会等でビデオ録画の鑑	女性	60歳代	

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

教育	賞、文化財・文化遺産を数ブロックにわけてコース巡りをする。全コースをまわられたら何か記念品を出す。広報に数点ずつ作りかえし掲載して覚えてもらう。		
	瀬戸市の小学5年生がキャンプに行く時に山をのぼり野外活動センターに行きます。その時に歴史のことまで考える教員は殿様街道を通らせています。しかし危険やトイレのことを考えて最近ではここを通らないことが多いです。もっと、このように、瀬戸の子どもにもまず歴史にふれるように努力することが必要だと思います。地元の子が知らないのに市外の人が興味をもつとは考えにくいです。もっと、瀬戸市の教員に伝え、活用させるべきです。このストーリーをくぼるだけでは何も伝わらないので真剣に取り組むのなら小学生への通知をどこかでやってみてはどうですか。品野には行基などが来ているというおもしろい歴史もあるのだから深めるとおもしろいです。伝え方しだいでしょう。	男性	40 歳代
	②を読んで自分が小学生の時、せともの祭が近づくと、せとものについてのプリントをもらったことを思い出しました。瀬戸の町に生まれたので、小さな頃からせとものが近くにありました。今のこどもたちにもたくさんふれあえる機会をつくったらいいなと思いました。	女性	30 歳代
	学校の社会でも瀬戸市の勉強をしているのを知り、びっくりした。もっと違う事を学校では教えて欲しい（意味がないと思う）瀬戸市にはイオンや大きなショッピングセンターがない為、歴史だけでは魅力にはつながらないと思う。せともの町として知られているなら、もっとみんなが使いたいと思うせとものや世界へ、PRがいると思います。今のままでは日進市の通り道にしかならない。（イオンやIKEAが出来るため）はっきりと書いてすみません。でも、名古屋にいる友人も長久手は、よく行くよとかIKEAが楽しみと話しています。瀬戸の人達もです。保存や歴史も大事ですがそれを見てもらう為には何か無いとわざわざ歴史の一つを見に来るとは思えません。オオサンショウウオだけかと思えます。	女性	40 歳代
改善提案	ストーリーづくりもいいと思いますが、瀬戸の“やきもの”をもっと魅力的なものに発展させ、たとえば住宅の内装に「アクセントとしての陶壁など」やきものを中心とした瀬戸を発展させてほしいと思います。	男性	60 歳代
	瀬戸市の歴史文化の素材はあまり生かされていないと思います。もっと魅力的にみせる工夫がほしい。品野祇園祭の山車に昔はからくり人形があったそうですが、今は見られません。ぜひ復活してほしい。	女性	60 歳代
	窯垣の小径や岩屋堂など実際に見る、訪れることができる名所は見せ方を工夫すれば、とても魅力的になると思います。タイムスリップした様な感覚になれる雰囲気があると行きたいなと思います。	女性	30 歳代
	紹介ビデオや印刷物など、ちゃんとした物は必要だと思うが（文化財、文化遺産マップ）、読んでいても人を引きつける様な魅力がない。これでは外部に売り出すのは無理だと思う。現地に見に行ってもおもしろくない。もっと紹介だけではなく、その場所も良くする様にすべきと思う。	女性	50 歳代
	「瀬戸物」はみんな知っているのでやきものが一番だと思います。古い街並みがオンボロになっているので、できれば、きれいになるよう条例をつくる（京都みたいに？）とか。解体して、小学生のやきものをたくさんおく。新しい小径をつくるとかして。これからも歴史をつくっていく方向が良いと思う。	男性	40 歳代
	瀬戸全体がさみしい貧乏くさい（ケチ）の町に感じます。明るい町にして下さい。そうすると文化財が生きます。	女性	60 歳代
	少しピントが外れますが、観光客を呼ぶのであれば、私は瀬戸蔵をもう少し、明るく魅力ある場所になったら良いと思う。（発信元）若い人も熟年の人にも。又、行って見たいと思える場所になったら良いなと思います。（友人も陶器の販売品ももう少し品数もあると良いなと陶器好きの人の意見もあり。）	女性	60 歳代
	見に来た人のために、文化財をきれいな状態で保存し、また来たいというリピーターを増やすことが大切。瀬戸は街並みが全体的に暗く、せまく、汚ない印象で、他の観光地と比較して、かなり劣っている。そもそも諸悪の原因は全体ストラテジーがないことでは？景観区を中心を大型トラックがバンバン走っているのは瀬戸くらいでは？場当たりの手当てでなく、全体的、長期的に考えることが重要では？	男性	30 歳代

参考資料1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

改善 提案	岩屋堂は学生の頃によく連れていってもらいました。雲興寺もとても立派で歴史的な魅力もあると思います。瀬戸近辺には武田信玄にまつわる土地や記念碑が沢山あるようです。こう云った場所をつないでハイキングツアーを計画するなどどうでしょうか？それとは別に瀬戸市民の側に観光の場所としての自覚が足りないと思うことがありました。本業窯、窯垣の小径へ行った折、近くのものや風のお土産屋さんにより陶器を数点購入しました。家へ帰って買物袋を開いてみると品物が一品足りません。品物は新聞紙に包まれ、スーパーの袋に入り、お店のレシートもなく、連絡の取り様もなく、仕方ないので又店迄行きましたが信用されず、まるでお店の人をだまして品物を寄せ・・・と云われている様なあつかいを受け、とても不ゆかいな気になりました。瀬戸を観光で楽しませようとする態度とは思われず本当に残念でした。	女性	40 歳代
	瀬戸といえば「せともの」ですが・・・近代で焼きものだけではアピールできないと思います。ただ、逆に近代に造った物では価値が無いのも瀬戸ものの良さだとも思いますので・・・古い物と今現在ある自然とのコラボを企画するのも良いと思います。	男性	40 歳代
	沢山瀬戸市には歴史があり、国内や国外にも情報を知ってもらい旅行などに来てもらえるようになればいいと感じました。	女性	30 歳代
	瀬戸ならではのやきもの体験とかあれば良いと思う。	女性	50 歳代
	「イケメンの仏像がある！！」とか・・・何か女子を引きつける魅力が必要かと思う。〇〇女子、〇〇ガール等はどこかおしゃれ。そういった部分が欲しい。あと、ご朱印帳などコレクションになるものが欲しい。文化遺産マップは写真が暗く、楽しくない。「地球の歩き方」のごとく「瀬戸の歩き方」みたいだと、楽しそう。	女性	40 歳代
	個人的には好きですが、城や町には木や土などを感じられる大きな物がほしいなと思います。（モニュメント）	男性	30 歳代
	せとものには茶道具として価値のあるものや作家がいる。茶道の町として例えば北野大茶会のような誰でも参加できる、全国から人を招く大茶会をひらくとか、茶道の結び付きで、コアなおたくな人々を呼ぶ。瀬戸の価値を再構築する。若手作家の育成にもつながると思う。	女性	40 歳代
整備 提案	街歩きは楽しいけれども、市外の方からは「食事をするところがない」などと、陶磁器と郷土料理、瀬戸のやきものを使ったカフェがあると良いかと思います。たとえば、和菓子とお抹茶を頂けるカフェなど、古民家を利用して新しい感覚を取り入れたお店がふえるといいなと思います。	男性	50 歳代
	瀬戸市民でもその場所が知らない人が多い。例えば陶祖（瀬戸）公園よって六角陶碑の場所が分からない。他市・県から来られる際に赤津インターから市内に入ってくる時、文化財を紹介する看板すら見かけない。車で窯垣の小径に行く時、道が非常に狭く、駐車場も狭い。大勢の人を誘致するなら、まず駐車を完備する事が必要です。	男性	60 歳代
	nexco 中日本が以前やっていた城のスタンプラリーがおもしろかったし、けっこう色んな地方へ行った。東海環状道があるのに瀬戸で降りる人が少ない。nexco などの企業とのコラボで集客はいいと思う。サービスエリアもないし瀬戸は通過するだけの街になってしまっていると思う。まずは岡崎サービスエリアに負けないサービスエリアを作りたい。（歴史文化を活かしたサービスエリアが欲しい）	男性	30 歳代
	同じようなやきもの街である常滑や高浜等参考にされてはいかがですか？商業施設が少ない事で人々の流れができにくいと考えます。思い切った商業施設誘致や豊田市街地のような変換が必要な時期だと思います。伝統のある茶器でお抹茶をいただける伝統的な茶室や懐石料理が頂ける本格的な池や庭のある料亭等遠くからも人が集まると思います。	女性	40 歳代
	英国のエデンプロジェクトは陶土の採掘が終わった鉱山の自然を回復する取り組み。瀬戸キャニオンを活用して新たな文化施設を作り、次の世代へつなぐ事業を行ってほしい。	男性	50 歳代
	瀬戸は「文化」と「自然」の街づくりと思う。だが実態は弱者で、民間の土地開発に計画性もなく狭くてきたない。いまの瀬戸に必要な優先されるものは、例えば、岩屋堂の再開発（民間資本を導してレストラン等を入れる）それと教	男性	70 歳以上

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

整備 提案	育強化を通じ、県下一の教育の街をつくって欲しい。(瀬戸は客観的にみて貧しい、外部から若い人が入ってくる魅力がある街づくりが必要だ)		
	瀬戸黒 古瀬戸 祖母懐等日本を代表する焼物があるにもかかわらず全国的に焼物と言えば多治見・美濃焼になってしまったていたらく、六古窯でも一番格の高い瀬戸は今までの政策の失敗によりこの様な過去の町になってしまった。多治見のオリベストリートのような人の集まる観光地などがあると良いと思います。	無回答	無回答
	テレビでの旅番組で焼物地区の出る時、旅人が記念に焼物に絵を書いて焼成し旅人宅に郵送する番組があります。瀬戸もこのような施設を大きく確保する。完成品を売るだけではダメです。観光案内所をもっと目につく所に設置する。(なさすぎる)	男性	60 歳代
	近隣地域を抱合した研究組織、施設が必要と思います。	男性	70 歳以上
その他 提案	一つの例として、瀬戸蔵の中には昔のせとの様子再現されているが現実性を欠いている。あそこでろくろを始めとした制作の実演を行い、その作品を手年に1回か2回、瀬戸公園あたりに登り窯を作焼成するとその様子を見に来る人を増加し、作品を購入する人もあるのではないか。	男性	70 歳以上
	陶磁器資料館で以前ボランティアガイドさんがいたが、ああやって説明してくれたのはわかりやすく有り難かった。ウォーキングイベント等で市外の人に参加してくれる時にせと蔵入場料 100~200 円程度にしてくれたら良いと思った。	女性	50 歳代
	瀬戸には水野・品野・赤津・洞・山口と別々にイベントをしている。研究も瀬戸市としてまとまる。	男性	70 歳以上
	地域街おこしイベントで、もり上がりがほしい。やきものの街として瀬戸以外に売り込みたい。	女性	70 歳以上
	海外の人を招いて文化交流。陶器技術を自信を持って発信。新しい作風を考えられる若者の教育、育成(陶器関係では生活が成りたない現状)支援。作品展を開き、賞金を出す。	女性	60 歳代
	新しくあるデジタルタワーにて新しい中での見学者に今回の地図付にて色々な歴史がある事を広くつたえてはどうか?	男性	60 歳代
	絶景スポットっぽく見せると観光客が増える。	男性	30 歳代
	私自身は瀬戸ですと生活しているのでセットモノの価値に評価が低いのですが、遠方の親せきや友人にプレゼントするととても喜びます。瀬戸蔵の1Fのショップやアイトーのショップに連れていくととても(安さなどにも)おどろきます。NHKの日曜美術館で宮川香山の紹介がありました、10月に瀬戸美術館に来るらしいです。とてもたのしみです。著名芸術作品展をどんどん企画して集客をねらってはどうか?	女性	50 歳代
	瀬戸市の歴史を語る中で、窯、人物など全てが説明できるのではないか。そのあることは知っていても何故そこにあるのかとか知らないので、マンガ等でわかりやすく学べると良いと思う。	女性	50 歳代
	地域の人がそれほど関心を持っていない気がする。ストーリーを考えるにしても、市民の協力が得られる様、もっと多くの人にこの活動を知ってもらえる場で意見を求めた方が良いのではないのでしょうか。私は瀬戸の歴史はすてきだと思うが無理に残す必要を感じていません。	女性	20 歳代
	④技術について、高い技術力で作られた製品が各陶器会社に保管され、人目に付かない所で眠っています。年月が過ぎこのままで良いのかと疑問を感じます。そうした製品、作品を一ヶ所に集め、技術の説明、展示販売、等々勉強にもなるし、後継者に技術を継承することも出来る・・・その他、そうした陶器会社の製品を一同に展示、公開出来ないだろうか。1部の会社では自社製品を展示している所も有が?	男性	70 歳以上
	歴史的遺産と瀬戸の誇る伝統工芸の一体的利活用を図る方策検討	男性	70 歳以上
	瀬戸陶磁器資料館(東松山町)を復活 図書館と一体化させ水南小のマメナシの一部を移植し、市民文化の森(仮称)として取り上げてはどうか	男性	70 歳以上
	今回の歴史文化基本構想関連事業の一環で、瀬戸市が本年2月14日に赤津地域において実施した「瀬戸の魅力発見:赤津地域」と同様の「赤津まちめぐり」の企画を、東明地区としては自治会挙げて平成24年10月に実施しています。	男性	70 歳以上

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

その他 提案	結果、多くの反響がありましたが、一連区が継続して毎年実施するには体力的な限界もあり、(多くの補助金事業同様に)一回こっきりの焼け石に水的効果でした。しかしながら、その時の私たちは、少し視野を広げ「1300年の歴史と文化の一端を見せる」、あるいは「焼き物小京都的な赤津の環境」を背景に、「本物を紹介する」といった強い狙いで取り組み、3人の有名作家や伝統工芸士の方々多数のご協力も得て、造形体験、焼き物講話、陶房見学等々をしました。それらの手ごたえは、今も強く記憶と記録に残っておりますが、やるならば全市、担当部局挙げての継続的かつ実効性のある取り組みをお願いします。		
	日本遺産、世界遺産等により市が活性化すると思います。「陶芸」などの関連施設を中心に「認定」に向けた運動が市民一人一人の協力を得る事がとても必要だと思えます。	女性	20歳代
	「せともの」という言葉に象徴されるように瀬戸の焼き物について知識を持つことは瀬戸市民として誇りでもある。(例)問題集を作る。「せともの知り博士」1000問集 問(1)この写真はどこの何という生き物でしょう。・・・問(15)「ゴモ」とは何でしょう。・・・など 小学4年生以上大人まで対象。易から難へ。全問正解「せともの知り博士」授与、800問正解8級など	男性	70歳以上
	瀬戸市のみんなが歴史文化をよく知って、地域資源を誇りに思うような街のとりくみを瀬戸市としての方向性を示して、積極的にとりくむようにしてはどうか。	男性	20歳代
	総表的にならない様に、パンフレット等も「古窯」「自然」「行事」に分類し、あれもこれも一つのパンフレットにしない方が良くかも。	男性	70歳以上
	せともの祭りがだんだん盛り上がらなくなっている様気がします。瀬戸蔵を核に。商店街(朝日町、末広町)を活性化できないでしょうか?長浜の黒壁スクエアみたいの日帰りで観光客を寄る様に・・・三回目行ってきましたが平日でもバスが数台。商店街を人が歩いている様に!子供の頃は人ごみで歩けなかったね。懐かしいなあー。	女性	50歳代
	この様なすばらしい土地の中にも産業廃棄物の違法投棄などによる公害もあります。良い事を世間に公表するだけでなく、問題点も同時に改善することも重要かと思えます。	男性	40歳代
	陶磁器産業は衰退の一途をたどっていますが、市をはじめ、県、国がしっかりと歴史ある産業を守って欲しい。	男性	50歳代
	他の地域と同じ事していたらあかん!!本気でやる気があるならもっと違う物を作るはず!!	男性	40歳代
	感想	瀬戸は観光客がわいわいと来る場ではなく、落ちつきたい人、人生を振り返りたい人が心を休めるために来そうな町だと思います。ただの私の主観ですが。答えになっておらずすみません。	女性
祭りを通して焼きもの文化が発展したらいいなと思います。		女性	20歳代
交流・自然などについて知らなかったのがよかった。せともの以外のことについても触れられていて、勉強になった。		女性	20歳代
瀬戸に生まれ育ってきたのですが知らないことが多く恥ずかしい事です。ストーリーの中でひとつだけ知らなかったのは今村城跡です。こんど尋ねたいと思います。資料を有難うございました。		女性	70歳以上
永年瀬戸に住んでいるのに、文化財文化遺産マップにのっている事、子供の頃に住んでいた地区、遠足に行った場所 観光地以外知らない事が多すぎる。はずかしいなー		女性	70歳以上
瀬戸市に居住して40年。瀬戸市の歴史文化に関して知らない事ばかりであることがわかりました。		女性	60歳代
結婚してから瀬戸へきたのですが、しょっちゅう通っている図書館の陶壁が北川民次さんという方が作られたのだと、資料を見て初めて知りました。		女性	30歳代
結婚を機に瀬戸市に転入して来ました。小生は名古屋方面に勤め、妻は瀬戸市内の医療関係に携わり今日まで瀬戸市に住んで40年近くになります。住めば都と申します様に家内共々瀬戸市をとても愛しています。今年を迎え、今二人で瀬戸市の産業、文化財について学んでいる最中です。今回この機会に瀬戸市の文化財遺産等のマップを同封して頂き、新たためて瀬戸市の探訪に興味を湧いてきました。ありがとうございました。		男性	60歳代

参考資料 1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

瀬戸の文化財、文化遺産を見学しようと思います。	女性	60 歳代
瀬戸のグランドキャニオンとすばらしい所を陶器にかんする事と老人、子供達の沢山の人の来て頂ける場所になるといいですネ（憩い）果樹園、公園など瀬戸の陶土は本当に良いですネ。染付は最高の技術ですヨ	女性	70 歳以上
瀬戸には何があるの？とよく聞かれるので、ストーリーをよく読んで答えたく。	男性	50 歳代
定光寺本堂は春日井市と思っている人が多いのでは。地味な仕事（取組み）ですが、大切なことですので頑張ってください。	男性	70 歳以上
瀬戸市の「歴史文化基本構想」の策定を進められて、これに関する色々な資料やご質問には皆様方の御構想に心から敬服致しました。この様なことは、毎日御世話になりながら心から考えた事もなく改めて勉強させていただいている思いです。私は生れは大阪、その後北海道（札幌）に移動就職は三菱電機にお世話になり名古屋制作所に勤務して愛知県にお世話になった次第です。そして愛知県の住み心地の良さをしみじみ味わわせていただきました。現在 88 才の高齢者で耳が遠く物忘れも激しく周囲方々にはお世話をおかけしています。瀬戸市の住まいは 10 年足らずで瀬戸市は歴史的にも由緒ある街と存じますが、ご質問の名所旧籍も殆ど記憶になく十分なお答えも出来ずすみませんが何卒よろしくお願ひします。	男性	70 歳以上
一言申し上げます。瀬戸の焼物は全国にも知れているが、どうしておりべ、赤津焼、志野等々の作者 人間国宝が 1 人もいないのが残念でならない。一時、陶芸作家にかきまわされ日展だとか鈴木青々などあまり参考にならない。器はつかってそれで食べてよいもの、残念。	男性	70 歳以上
私は祖父が瓦を作っていて、徳川美術館の瓦は祖父が焼いたものです。いとは陶芸作家をしていまでも活躍してします。今瀬戸とやきものの関係は昔とはちがって希薄です。時代の流れでしょうがないですが多治見や土岐に負けたくないです。何とかしてください。	男性	60 歳代

■その他 (22 件)

項目	記述内容	性別	年齢
まちづくりの方向性	まちの整備、景観の整備の方が先だと思う。	女性	40 歳代
	アンケート協力の依頼が来て驚きました。歴史遺産を大事にすることは大切だとは思いますが、この街に転入してきて 3 年、市の税金の使われ方が見えてこないことに不満があります。生活の中でもっと税金の使われ方が見える街にしてほしい。例えば道路、公園の整備や街灯の増設等。市役所、支所の人員削減	女性	30 歳代
	日本遺産の認定よりももっと市民生活の充実できるような事を考えて欲しい。例、交通の便、図書館の充実、もっと便利で使い勝手のよい町作りをめざしてほしい。	女性	50 歳代
	全体的に整備が必要と思う。→観光的に良くない。定光寺公園の整備して、野鳥等の観光名所になると思います。	男性	60 歳代
	環境整備が不十分。すべてが中途半端。基本が出来てない。(道が狭くて車で行けない。駐車場が少ない。案内標識がわかりづらいなどなど。) 行き着けずガッカリした事が何度かある。	男性	50 歳代
	陶器市が行われる尾張瀬戸駅から品野方面に向う国道 248 号線の矢田川を挟んだ両側の景観整備が必要なのでは？時々車で通るが川の土手に雑草が生い茂っており、寂れた風景で他の所から来た人には瀬戸の町並みを自慢できない。	男性	60 歳代
	尾張瀬戸駅前が開発の際、瀬戸市がどの方向に向いているのかよくわからなかった。(幼少～陶原連区で育っていたため) 古くなっていたのはわかっていたが新しい＝よいではなく古い街並とどう共存させていくか見えなかった。	女性	50 歳代
	瀬戸市は交通が不便、各施設を巡回する様なバス等があれば観光客が増えて来る様に思いますが。	女性	60 歳代
	瀬戸駅から伝統産業のある赤津・品野・水野へのアクセスがほとんどないのがとても残念です。	男性	60 歳代
	陶磁器関連は過去の遺産でこれ以上発展性は余り期待出来ないと思う。歴史、	男性	70 歳以上

参考資料1 「瀬戸市の歴史文化に関するアンケート」調査結果

りの方向性	文化とは異なるセラミック技術の可能性やIT産業への貢献による方向性や技術力で発信していくのが都市力が上ると思う。		
	転入して20年近いですが、年寄りの街という気がします。焼き物の高度な伝統技術もある街でもっと若者たちも集まる魅力のある街でないとなれば若者は転出していってしまいます。	女性	50歳代
	地元の方々がどのくらいこういったものについて存じているのか分かりませんが、他所から来た者にとっては「せもの」という言葉程度しか知っているものがないというのが現実だと思います。歴史文化は大切ですが、過去のものととらわれすぎると瀬戸が古いままのこされる町になってしまわないかと心配です。「今の瀬戸って何があるの？」	男性	30歳代
	しっかりとした冊子を作成するのであれば、写真はプロを利用すべき。画像鮮明度や背景などの使用方法が素人である。どうしても「やきもの」にこだわるのなら、売れる商品を作るべき。デザインが古すぎて本当に売れているのか？（瀬戸蔵の店など）	男性	30歳代
	商店街に力を入れてください 悲しくなります	女性	70歳以上
	文化課の日常の業務をこなして、その情報を広報（中味は行事、案内のみ）をかいして文化財の情報をシリーズ化して市民に伝える。文化庁の「日本遺産」はよいが、そのうらで海外からの観光客の誘致を考えている、セコイ考えで、一部の事業者が豊かになるだけで文化課が商店街に利用されているだけです。深く考えてください。	男性	70歳以上
	魅力がないのは魅力がある街づくりが下手だから。頑張っって盛り上げている方々もいる様ですが、盛り上げ方がダサイ。文化遺産があってもそれを魅力的に見せるのが下手。	女性	30歳代
その他	岩屋堂の整備はないのでしょうか。	女性	50歳代
	海上の森の太陽光によって壊された遺跡はその後どうなったのでしょうか。	女性	60歳代
	アンケートの返送は定形内（大）でなくA4版もしくはB5で返送できる様考えてほしかった。・・・次回の参考へ	男性	60歳代
	このような活動に私は個人的に協力する意志は全くないし、こういった事に余分な税金を使うのも反対	女性	50歳代
	市内でも瀬戸物くらいしか魅力がないという印象が強い。日本遺産の認定を目指すのはいいことだと思いますが、アンケートに意味があると思えませんし、税金のムダ使いだと思います。	女性	20歳代
	税金が高い。	女性	40歳代

6 調査票

瀬戸市の歴史文化に関するアンケート

1 歴史文化への関心について

(1) 文化財・文化遺産に関心はありますか。【1つに○】

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 関心はある | 2. どちらかと言えば関心はある |
| 3. どちらかと言えば関心はない | 4. 関心はない (→ (3) の質問にお進みください) |

(2) 関心のある文化財・文化遺産はどのようなものですか。【当てはまるもの全てに○】

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 遺跡(窯跡・住居跡・古墳など) | 2. 城・城跡 |
| 3. 神社仏閣 | 4. 伝統的な建物・古民家 |
| 5. 近代建築・橋・鉄道 | 6. 歴史的な町並み・街道 |
| 7. 絵画や彫刻・工芸品 | 8. 陶磁器などの伝統技術 |
| 9. 祭りや民俗芸能・習慣 | 10. 古文書や歴史資料 |
| 11. 歴史上の人物 | 12. 天然記念物や自然 |
| 13. その他 () | |

(3) 文化財・文化遺産の保存・活用は重要だと思いますか。【1つに○】 ←

- | | |
|--------------------|--------------------------------|
| 1. 重要である | 2. どちらかと言えば重要である |
| 3. どちらかと言えば重要と思わない | 4. 重要と思わない (→ (5) の質問にお進みください) |

(4) 瀬戸市の文化財・文化遺産の保存・活用の方向性について、重要だと思うものは何ですか。【2つに○】

- | |
|----------------------------|
| 1. 市民がまちを誇りに思う郷土愛の育成 |
| 2. やきものをはじめとした多様な産業の活性化 |
| 3. 国内外への知名度向上などによるまちのブランド化 |
| 4. 観光振興などによる賑わい創出 |
| 5. 地域ごとの特色を活かしたまちづくり |
| 6. 歴史文化の次世代への継承 |
| 7. その他 () |

(5) 瀬戸市にとって自然を含めた歴史文化は魅力があると思いますか。【1つに○】 ←

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても魅力がある | 2. まあまあ魅力がある |
| 3. あまり魅力がない | 4. 魅力がない |

文化財・文化遺産：今日までの長い歴史の中において、人々が生活し、暮らす中でつくり出され、また伝えられてきた有形、無形の文化的な遺産を指します。指定の有無にかかわらず、幅広くとらえます。

歴史文化：文化財・文化遺産とそれらを取りまく環境（文化財がおかれている自然環境や周囲の景観、文化財を支える人々の活動など）とが一体となったものを指します。

(6) 市内にある次の文化財・文化遺産をどの程度知っていますか。【それぞれ1つに○】

文化財・文化遺産	いよく知って	見に行ったりある	聞いたことがある	知らない
① 定光寺本堂・源敬公（徳川義直）廟【国指定建造物】	1	2	3	4
② 旧山繁商店【国登録建造物】	1	2	3	4
③ 洞本業窯・一里塚本業窯【市指定建造物】	1	2	3	4
④ 馬ヶ城浄水場【建造物・構造物】	1	2	3	4
⑤ 小長曾陶器窯跡【国指定史跡】	1	2	3	4
⑥ 本地大塚古墳【市指定史跡】	1	2	3	4
⑦ 今村城跡【史跡】	1	2	3	4
⑧ 殿様街道【史跡】	1	2	3	4
⑨ 陶製狛犬【国指定工芸品】	1	2	3	4
⑩ 六角陶碑【市指定工芸品】	1	2	3	4
⑪ セトノベルティ【工芸品】	1	2	3	4
⑫ 警固祭り(菱野・山口ほか)【市指定有形民俗・無形民俗】	1	2	3	4
⑬ 品野祇園祭【有形民俗】	1	2	3	4
⑭ 窯垣の小径【有形民俗】	1	2	3	4
⑮ オオサンショウウオ【国指定特別天然記念物】	1	2	3	4
⑯ 陶土・珪砂採掘場（瀬戸キャニオン）【文化的景観】	1	2	3	4

(7) 瀬戸らしい文化財・文化遺産として、人にPRしたいものはどれですか。【3つに○】

1. 定光寺本堂・源敬公（徳川義直）廟	2. 旧山繁商店
3. 洞本業窯・一里塚本業窯	4. 馬ヶ城浄水場
5. 小長曾陶器窯跡	6. 本地大塚古墳
7. 今村城跡	8. 殿様街道
9. 陶製狛犬	10. 六角陶碑
11. セトノベルティ	12. 警固祭り(菱野・山口ほか)
13. 品野祇園祭	14. 窯垣の小径
15. オオサンショウウオ	16. 陶土・珪砂採掘場（瀬戸キャニオン）
17. その他（	）

(8) 文化財・文化遺産の保存・活用のために、あなたが協力できることはありますか。
【当てはまるもの全てに○】

1. イベントや祭りなどへの参加	2. ボランティアガイド
3. インターネット・SNSなどで情報発信	4. 伝統技術などの継承
5. 保全のための寄付	6. その他 ()
7. 協力できることはない	

2 瀬戸の魅力的な歴史文化ストーリー（物語）について

(1) 別紙「瀬戸市における歴史文化ストーリーの素材」をご一読いただき、それぞれの素材について魅力があると思いますか。【それぞれ1つに○】

ストーリー（物語）の素材	あ と も 魅 力 が	が あ る ま あ 魅 力	な あ ま り 魅 力 が	魅 力 が な い
① 「窯」：1000年以上の歴史を積み重ねてきたやきものづくり	1	2	3	4
② 「人物」：陶祖、磁祖、織田信長、徳川義直らによって築かれた礎	1	2	3	4
③ 「街」：“せともの”の発展とともに形成された「陶都瀬戸」	1	2	3	4
④ 「技術」：世界にはばたくやきもの高い技術力	1	2	3	4
⑤ 「芸術」：芸術性あふれるクリエイティブ（創造的）なまち	1	2	3	4
⑥ 「交流」：尾張・三河・美濃～三国の境であるまち	1	2	3	4
⑦ 「自然」：瀬戸特有の自然環境・自然との共生	1	2	3	4
⑧ 「祭り」：地域とともに継承されてきた伝統芸能や祭り・習慣	1	2	3	4

(2) ストーリーの中で、市外の人へPRしたいと思うものはどれですか。【1つに○】

1. 「窯」：1000年以上の歴史を積み重ねてきたやきものづくり
2. 「人物」：陶祖、磁祖、織田信長、徳川義直らによって築かれた礎
3. 「街」：“せともの”の発展とともに形成された「陶都瀬戸」
4. 「技術」：世界にはばたくやきもの高い技術力
5. 「芸術」：芸術性あふれるクリエイティブ（創造的）なまち
6. 「交流」：尾張・三河・美濃～三国の境であるまち
7. 「自然」：瀬戸特有の自然環境・自然との共生
8. 「祭り」：地域とともに継承されてきた伝統芸能や祭り・習慣

(3) 瀬戸市の魅力を市外の人へPRするためにどんな方法が有効だと思いますか。【2つに○】

1. 市内外でのPRイベントの実施	2. PR印刷物の製作
3. 新聞・雑誌などへの掲載	4. テレビ・ラジオなどでの放送
5. インターネットなどの活用	6. 口コミ
7. その他 ()	

(4) ストーリーへのご意見や、おすすめの歴史文化があれば教えてください。

3 あなた自身について

(1) あなたと“やきもの”との関わりを教えてください。【1つに○】

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. やきものに関わる仕事をしている・していた | 2. 趣味がやきものである |
| 3. やきものづくりの体験をしたことがある | 4. 生活で使う程度 |

(2) あなたが関心を持っているものはありますか。【当てはまるもの全てに○】

- | | |
|---------------------------------|---------------------------|
| 1. 歴史シミュレーションゲーム | 2. 歴史ドラマ |
| 3. 古地図 | 4. 名所図会 <small>ずえ</small> |
| 5. 路上観察や世間遺産 <small>せけん</small> | 6. 昔の地形の名残 |
| 7. 言い伝え、民話 | 8. 郷土料理 |
| 9. 戦国武将 | 10. 戦争遺跡 |
| 11. 特にない | |

(3) それぞれ1つに○を付けてください。

①性別	1. 男性	2. 女性		
②年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	
③住まいの 連区	1. 道泉	2. 深川	3. 古瀬戸	4. 東明
	5. 祖母懐	6. 陶原	7. 效範	8. 水野
	9. 水南	10. 品野	11. 長根	12. 西陵
	13. 八幡台	14. 原山台	15. 萩山台	16. 下品野
	17. 山口	18. 本地	19. 菱野	20. 新郷
	21. わからない(町名を記入) 町・台・通・坂			
④居住歴	1. 生まれてからずっと市内に居住		2. 転入してきた	
	3. 市外に転出したが戻ってきた			
⑤居住年数 (通算)	1. 4年以下	2. 5～9年	3. 10～19年	
	4. 20～29年	5. 30～39年	6. 40年以上	

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて、7月19日(火)までに投函してください。

参考資料2 パブリックコメントの実施結果

1 意見募集期間 平成28年12月1日(木)から12月28日(水)まで

2 意見提出者数 4人

3 意見件数 5件

4 意見件数の内訳

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| (1) 意見を踏まえて、案の修正を検討するもの | 0件 |
| (2) 今後の事業実施の参考とするもの | 4件 (No.1~4) |
| (3) 意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済であるもの | 1件 (No.5) |
| (4) その他(本案に対する意見でないもの等) | 0件 |

5 意見の概要及び市の考え方

(2) 今後の事業実施の参考とするもの

番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>I. 瀬戸の歴史文化について 観光資源としての歴史文化の活用は、外部向けの情報発信を考える前に住んでいる市民自身が「瀬戸の文化」を実感 誇りをもとう!!</p> <p>①基本となる基礎知識 情報の共有化 ②窯業を支えてきた技術 努力の歴史を具体的に見せる ③最良の引き倒しを前向きのパワーに ④真の魅力を正しく伝えるエキスパートに期待</p> <p>II. 思い付き ○市民参加による登り窯の実演会(イベント) ○せと検定・やきもの検定は内容・方法で盛り立てる</p> <p>III. その他 ○「ようきてちょうた」情報誌(市民レベルの情報誌) ○瀬戸のひな巡り 企画・案内方法に総合力を ○職人文化のまち ○本物の「まるっとミュージアム」を目指す</p>	<p>第6章「歴史文化を活かした今後の展開」においてシビックプライドの醸成をあげており、市民自身が「瀬戸の文化」に誇りを持つことが重要としています。いただいたご意見は、今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>上品野町に存在する菩提寺の記載が他の物と比べ少ないと思います。当市の数有る寺の中でも最も古い寺です。この文化財をどのように内外に周知させるかをみんなで考えアピールをしていくか。東海自然歩道とリンクさせ赤津のパーキングを利用し、鳳山椿園をスタートして雲興寺、岩屋堂、岩巢山から上品野菩提寺から上半田川養鱒場そして沓掛経由定光寺のルートを自然と文化財めぐりコースとして作り上げたらどうでしょうか。サイクリングのレンタル拠点をコース出発点・終着点の双方に設置する。出来ればその周辺の遺跡も紹介しパンフレットも専門的に作られたらどうでしょうか。</p>	<p>ご提案いただいた菩提寺の歴史的価値に注目したご意見を、今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>

3	<p>今後の事業展開において、性別や国籍を始め、いずれの属性にもとらわれない事業の姿、社会的に弱い立場にある方々の参加に配慮した事業の姿等、多様な生き方を認め合う事業の姿を示し続け、すべての市民の参加を視野に入れた事業展開が出来ればと思います。</p> <p>現在の瀬戸市に暮らす一人でも多く人々の力を借りることで、過去の瀬戸で暮らした一人でも多くの人々と関わるための「手がかり」を見つけられるのではないのでしょうか。</p> <p>瀬戸市教育大綱で示された、「誰もが参加出来る交流や体験の機会を創出」する努力の姿勢を示し続けることで、本構想の多くの市民の理解に繋がれたらと思っています。</p>	<p>基本理念において市民の主体的参加を打ち出しています。誰もが参加できる事業実施に向けて、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
4	<p>地域における歴史・文化はそれを育む自然ときってもきれない関係にあり、その三者を結びつけるとともに、そこに生活する人たちが自分たちの地域（故郷）に対する理解を深め、情報を外部に発信することにより、持続可能な地域のありかたを模索していく。</p> <p>地域コミュニティという発想と地域の中で歴史・文化・自然を記録し情報発信するボランティア組織を育成する。</p> <p>水野地区を例にすると、地域の情報を管理し発信するボランティア組織＝水野の里探検隊（仮称）を組織し地域にある歴史遺産と自然史遺産を探検マップ（仮称）を通して紹介し、併せて地域にある集客施設（喫茶店、レストラン、コンビニなど）を利用してもらおう。</p>	<p>第2章「瀬戸市の歴史文化の特性」において7地区の地区区分を示し、その特徴を整理しています。</p> <p>いただいたご意見は、今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>

(3) 意見の趣旨や内容について、考え方を盛り込み済であるもの

番号	意見の概要	市の考え方
5	<p>瀬戸の歴史・観光については、おもてなしボランティア等に参加して断片的に接する機会がありましたが、もう一つ足りない何かを感じて来ました。今回の基本構想の策定を見て、背景・目的・特性等総合的に検討されており、さすが瀬戸文化と賞賛申し上げ、官民一丸となり真剣に取り組む事がさらに歴史を刻む事につながると期待します。</p>	<p>第5章「歴史文化基本構想の実現に向けての推進体制」に示しているように、様々な主体と行政が連携した取り組みを進めていきます。</p>

瀬戸市歴史文化基本構想

発行年月 平成 29 年 2 月
編集・発行 瀬戸市交流活力部文化課
〒489-0884 愛知県瀬戸市西茨町 113 番地の 3
瀬戸市文化センター内
TEL (0561) 84-1093

